

R 桃色サンドイッチ

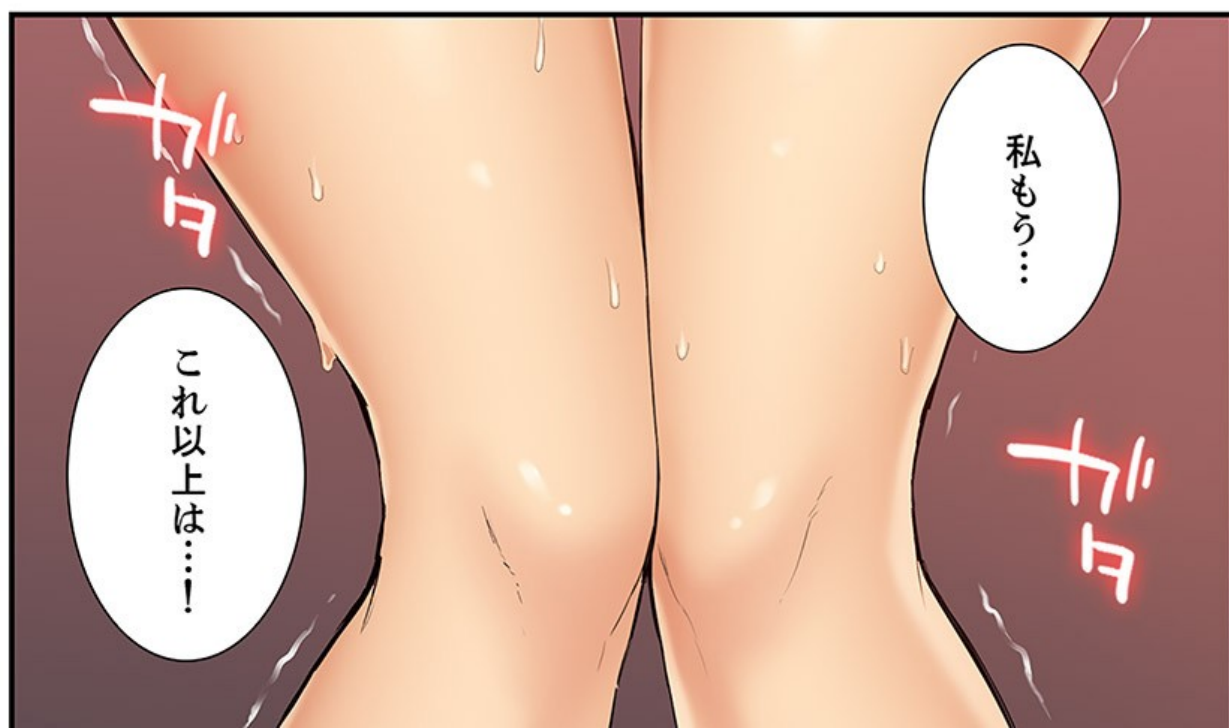
SSAEM

桃色

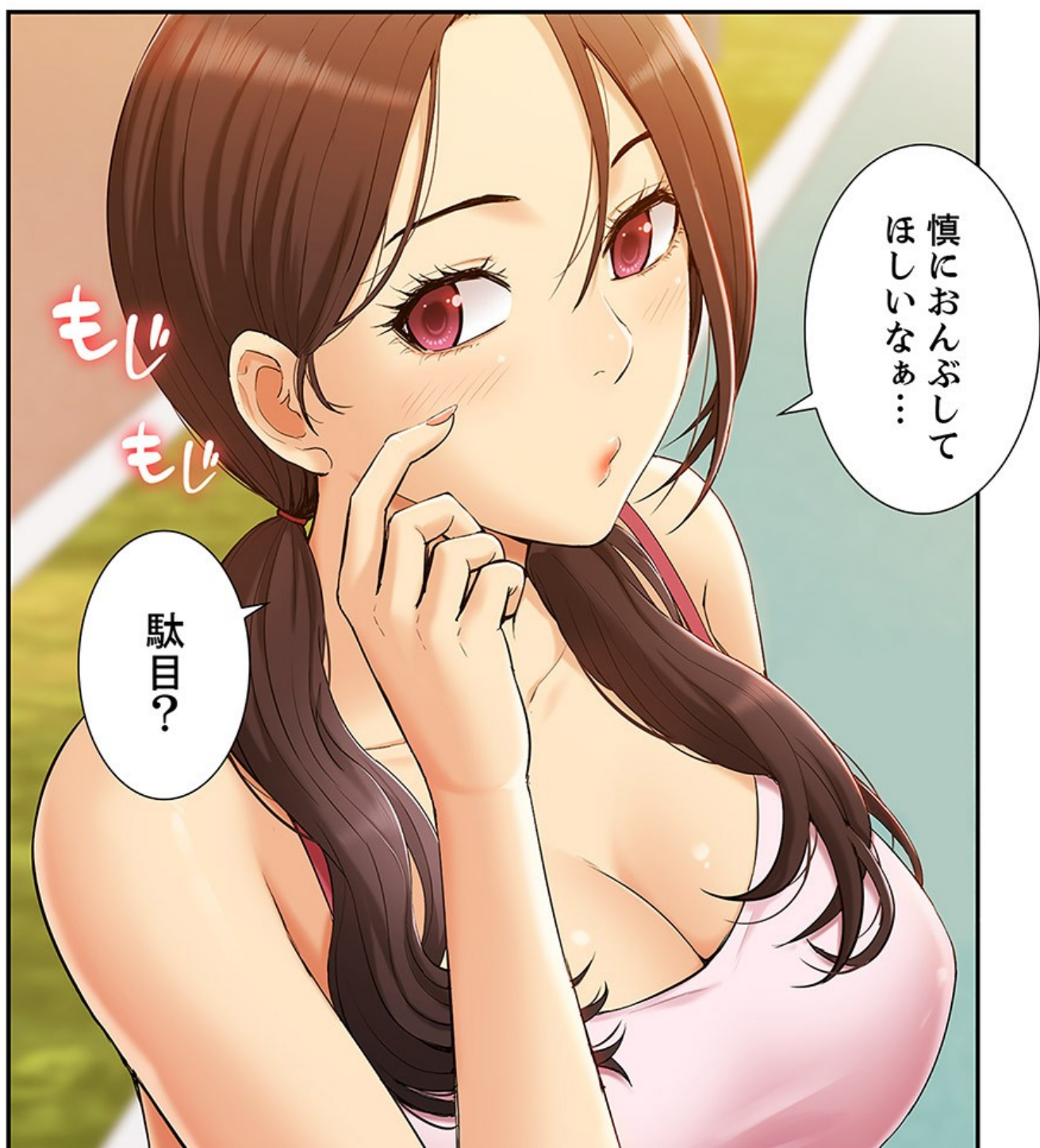
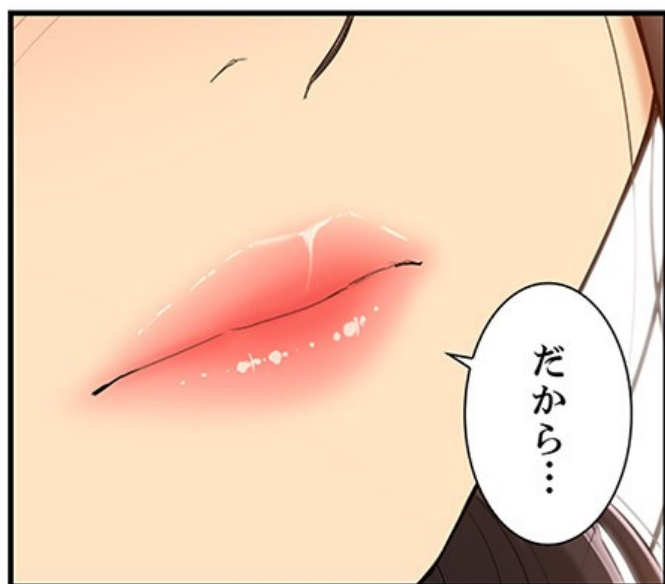
サンドイッチ

by
SSAEM

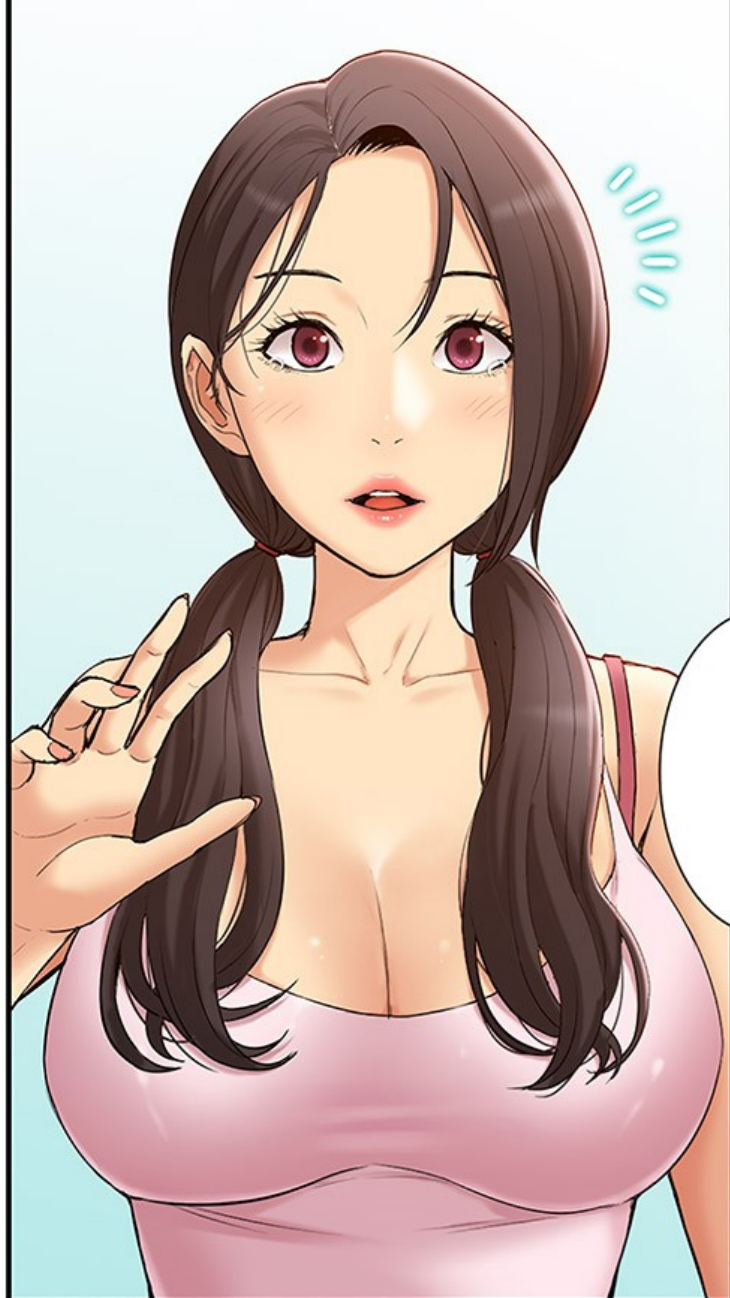
合本版 1











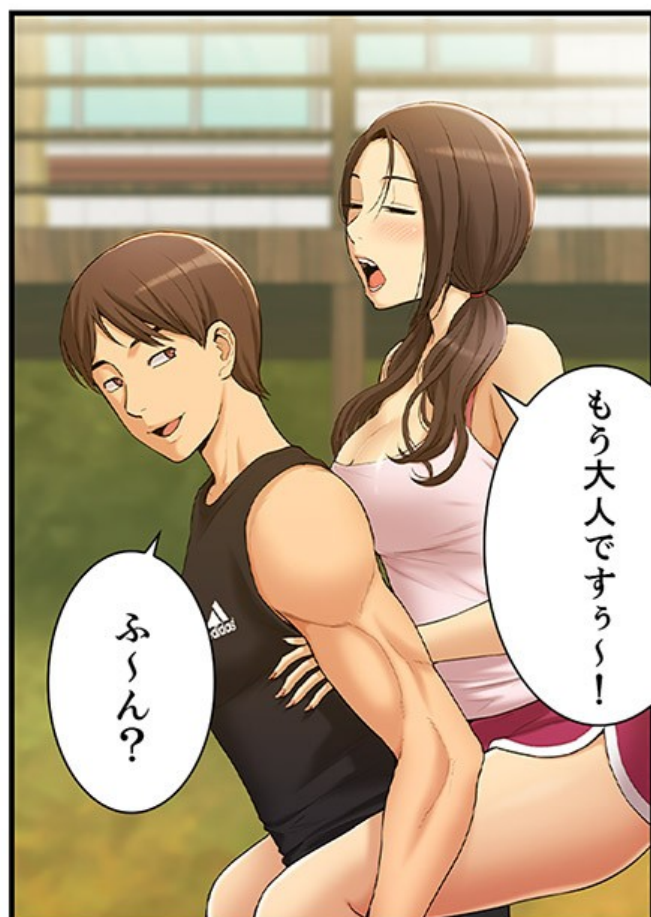
仕方ないな



今回だけだぞ?

スッ

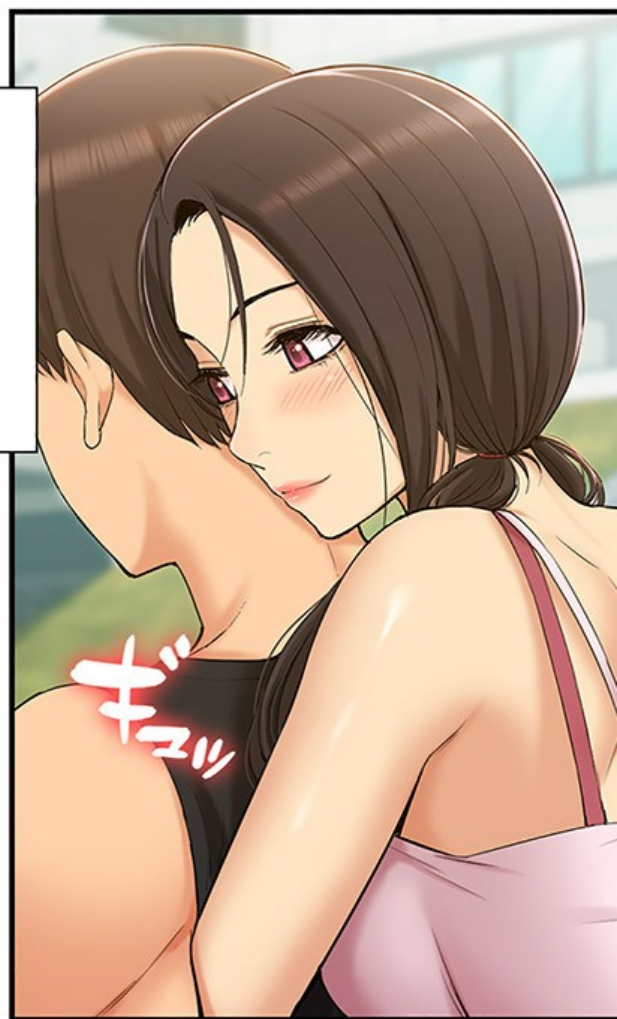






どう？
大人でしょ？

...







最近おかずが沢山で
嬉しいです

俺の分の食費
足りてますか？
もっと出しますよ



私もそれ
食べたい

涼子さんは早くに
莉奈を生んで
一人で育てている

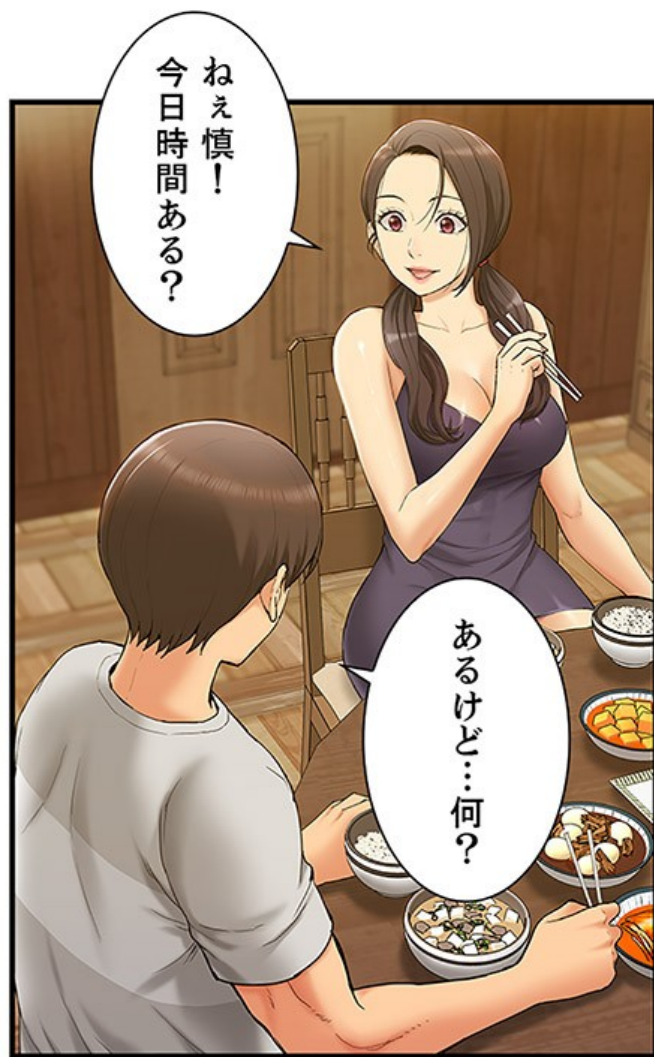


二人と俺は
すぐに
打ち解けて

いいのよ

気にせず
好きなだけ
食べてね

今では本当の
家族のように
暮らしている





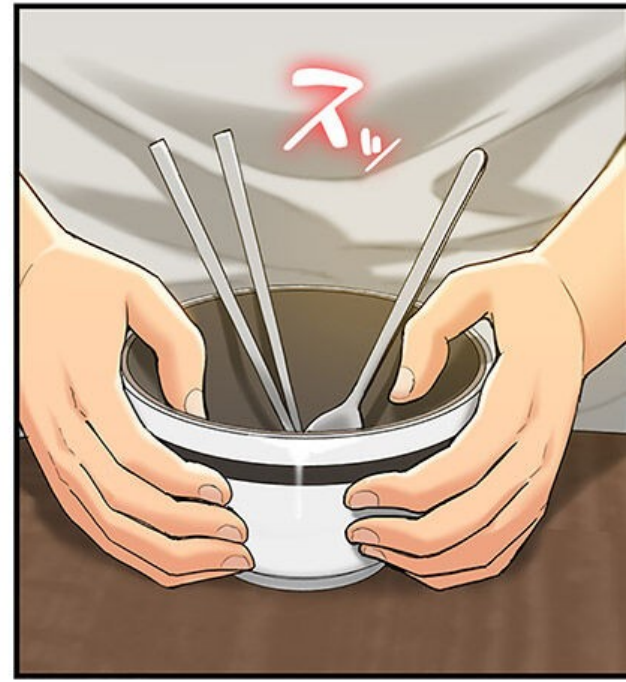


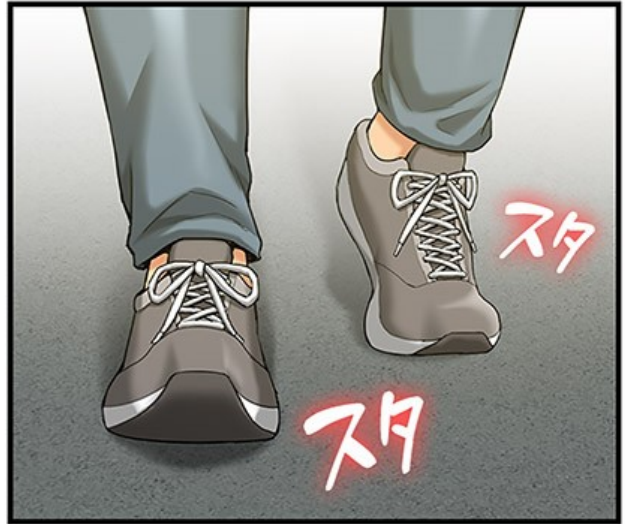


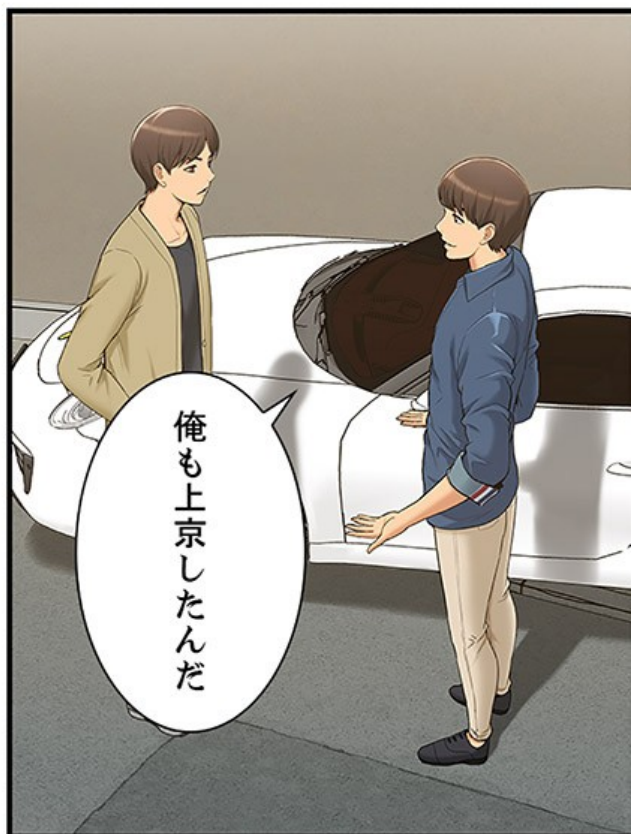
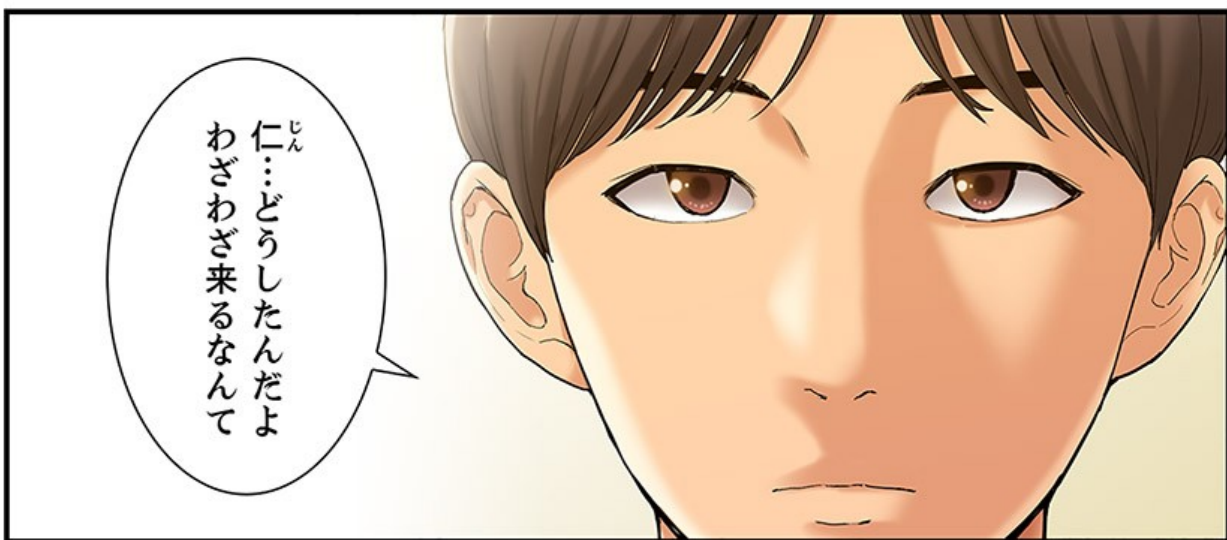


莉奈の事は

本当の妹みたいに
思っています









ギョッ

兄さんも
もっと人生
楽しめよ

顔は俺に似て
良いんだし

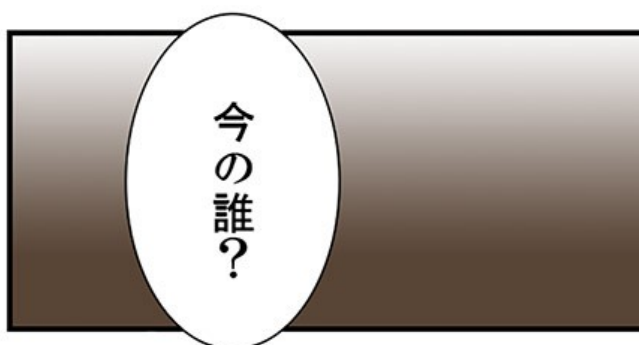
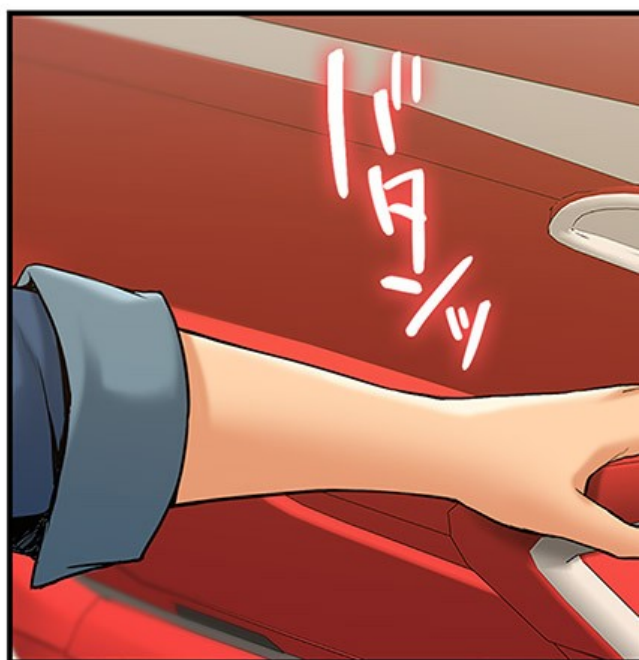
まあいいさ

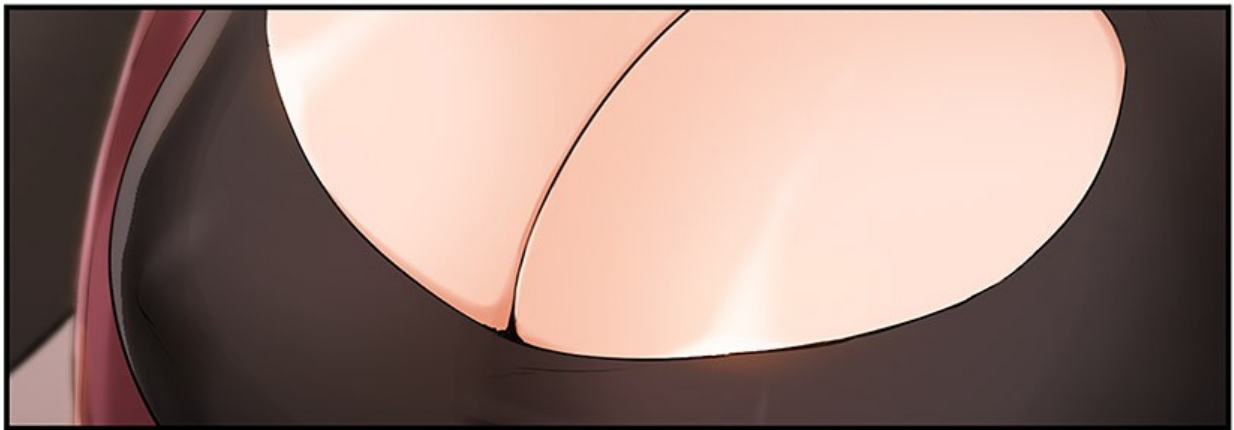
お前の人生は
お前が好きに
すればいい

もちろん！
好きにするさ

落ち着いたら
連絡するから
遊びに来てよ



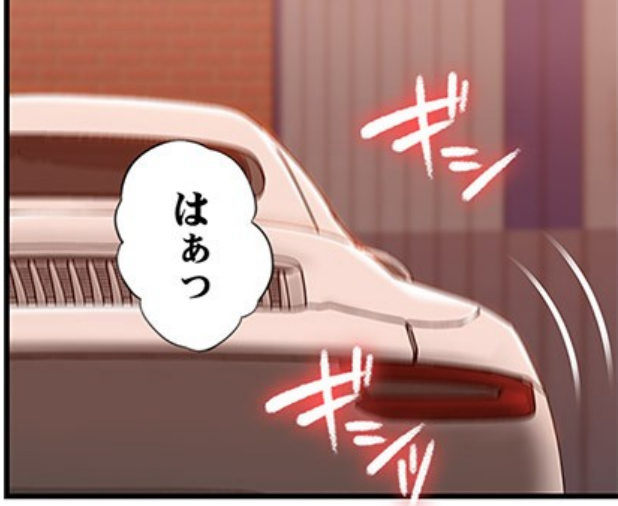


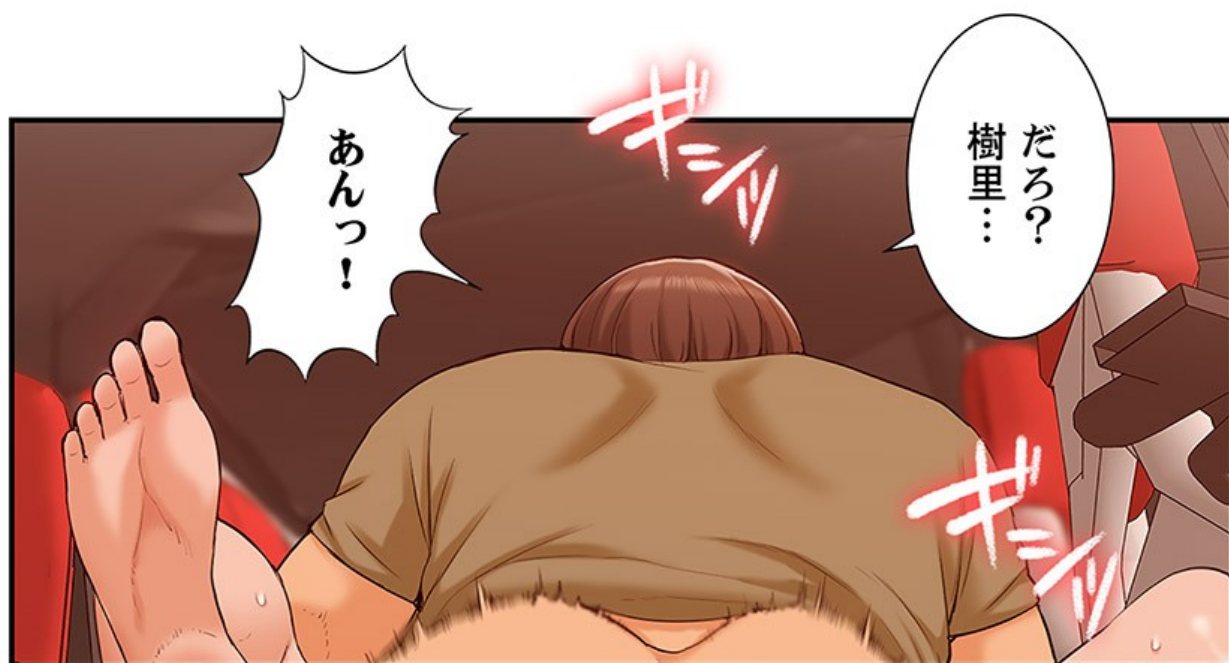








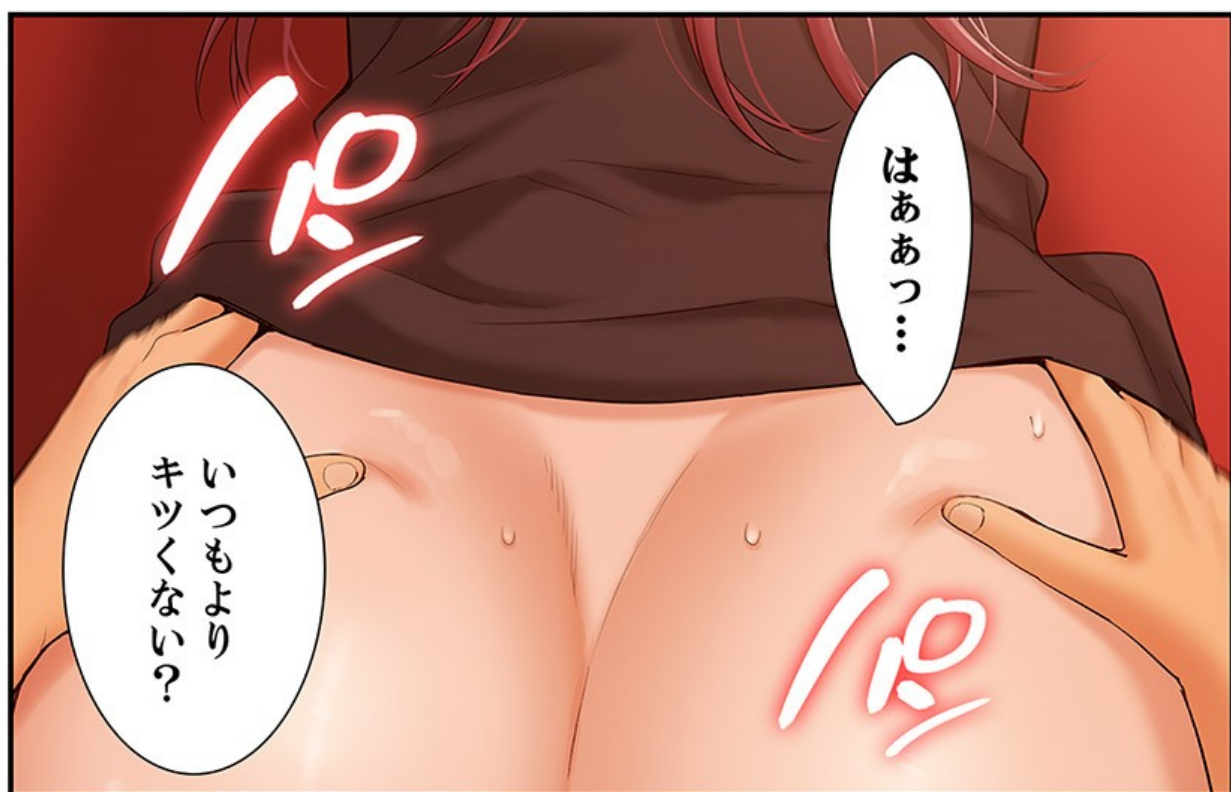
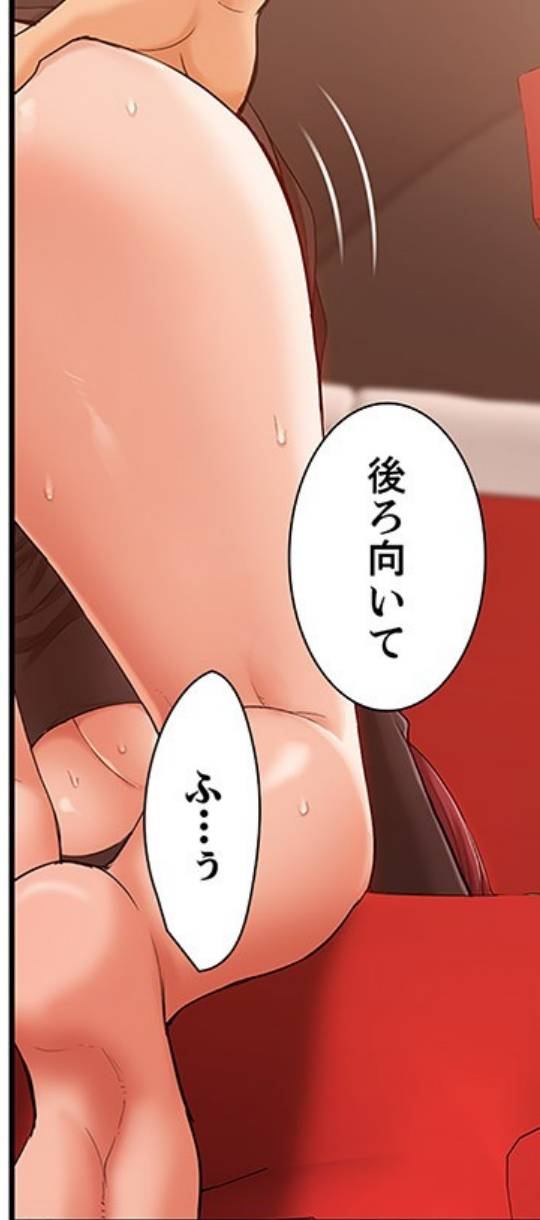






ふうん？
樹里はコレさえ
挿れれば何処でも
いいの？

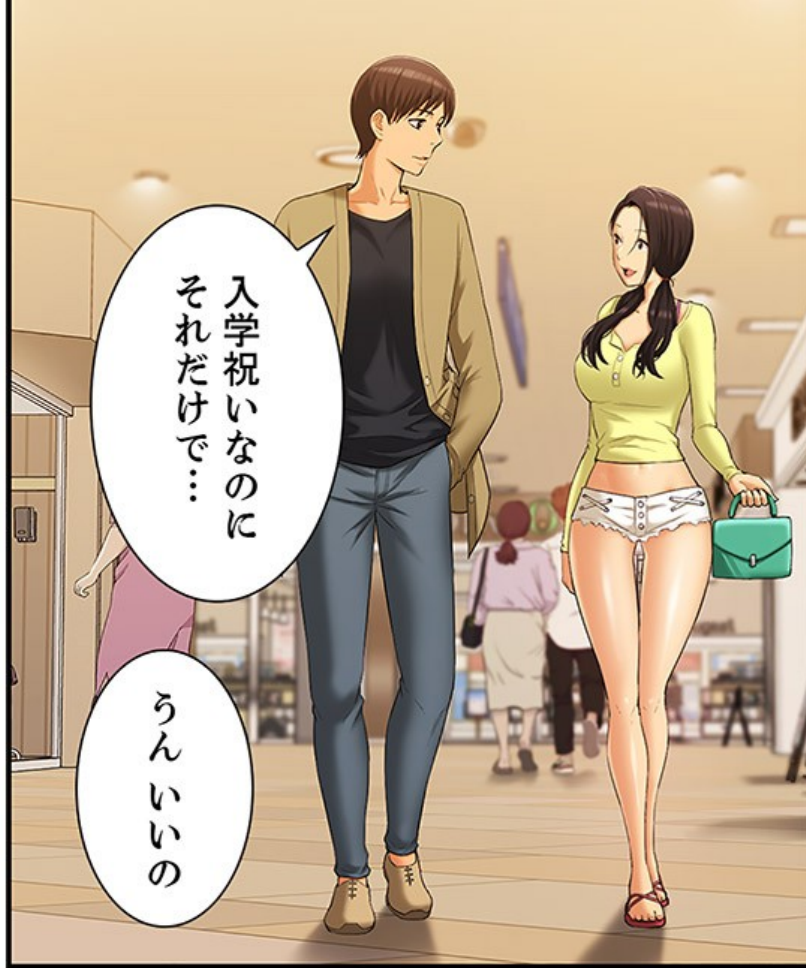
ああっ！



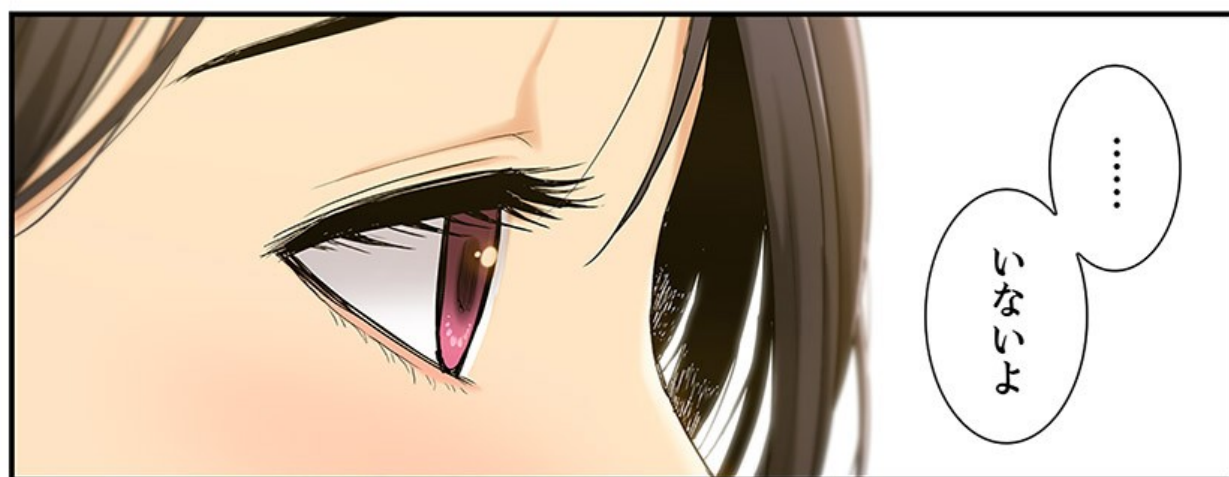
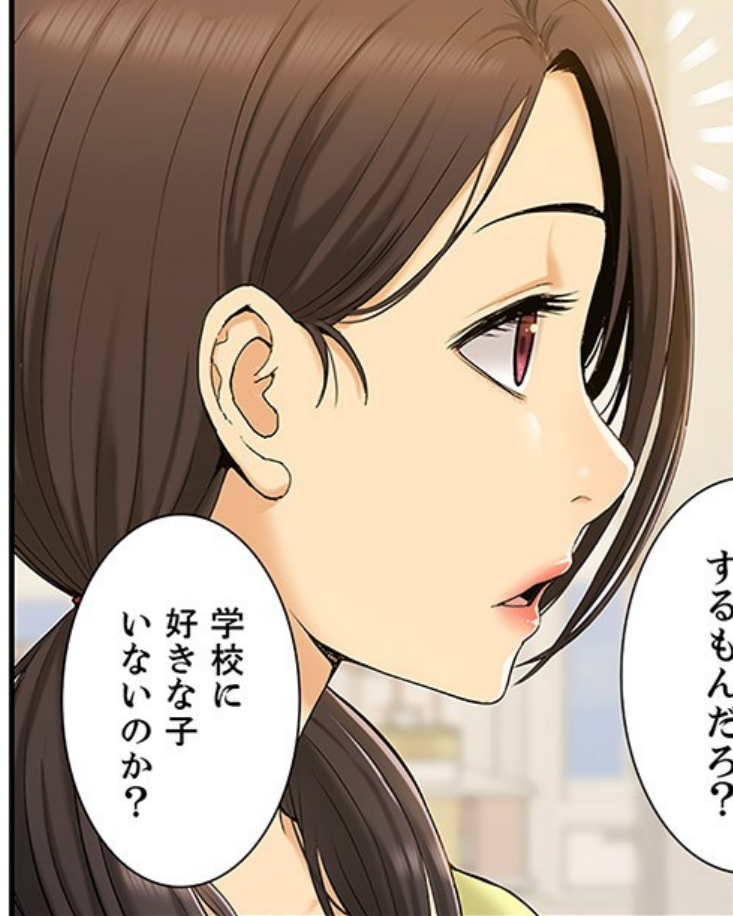












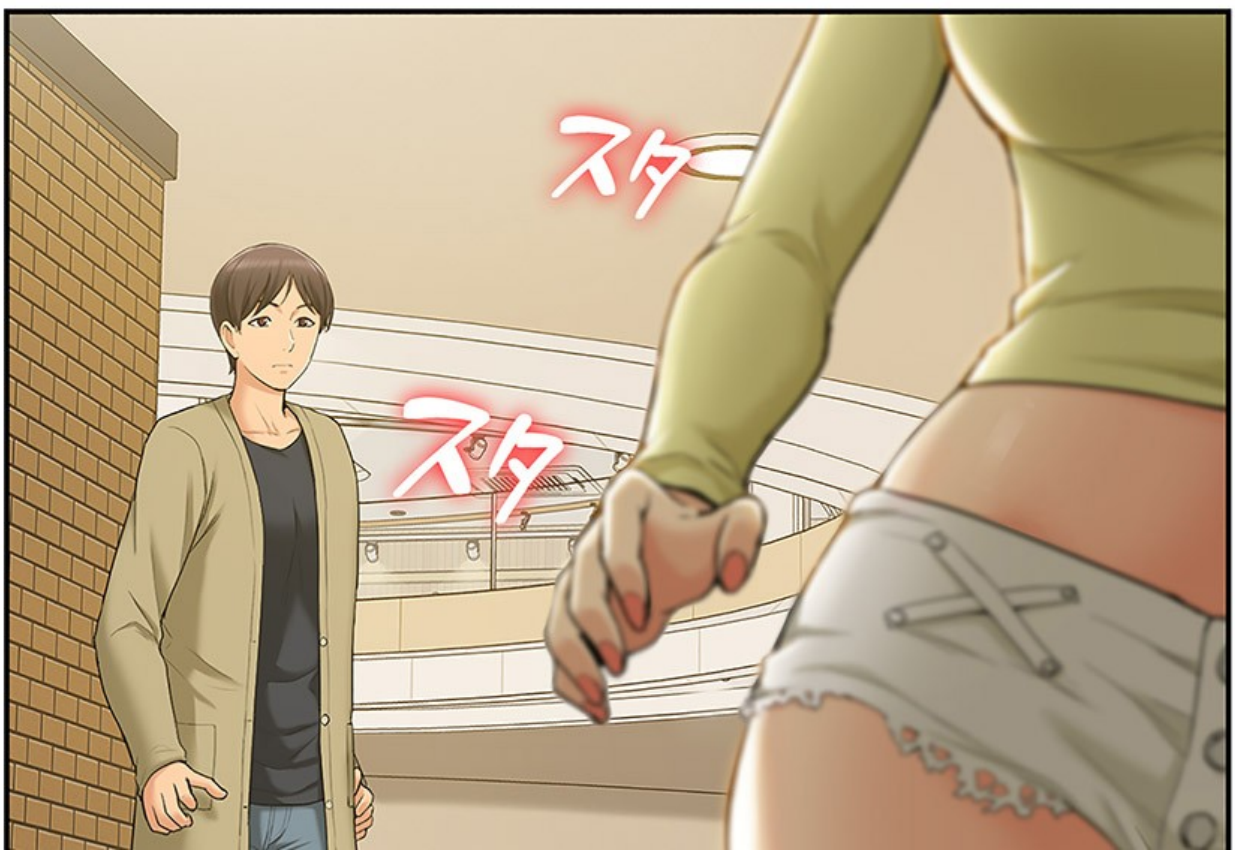
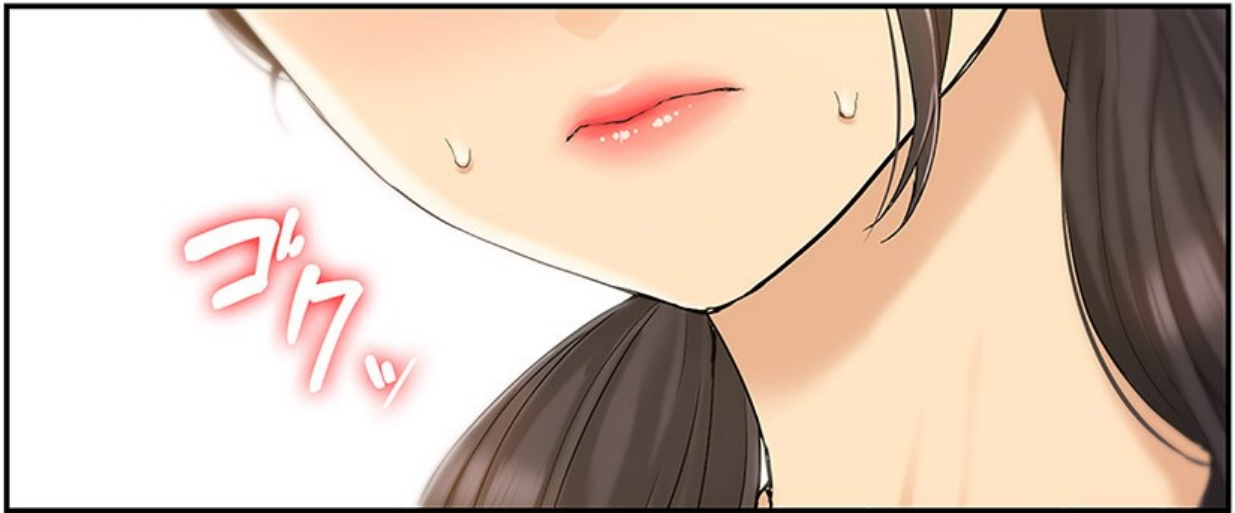


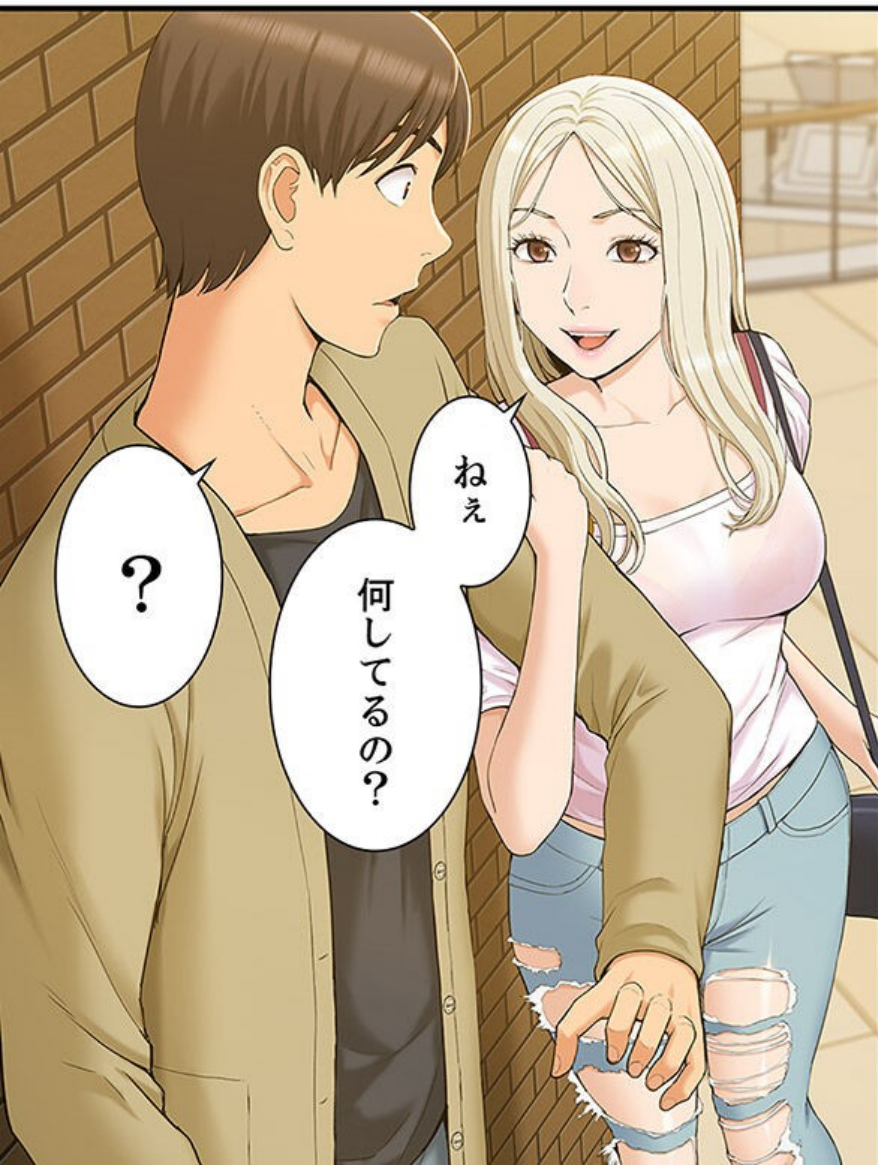
だって…

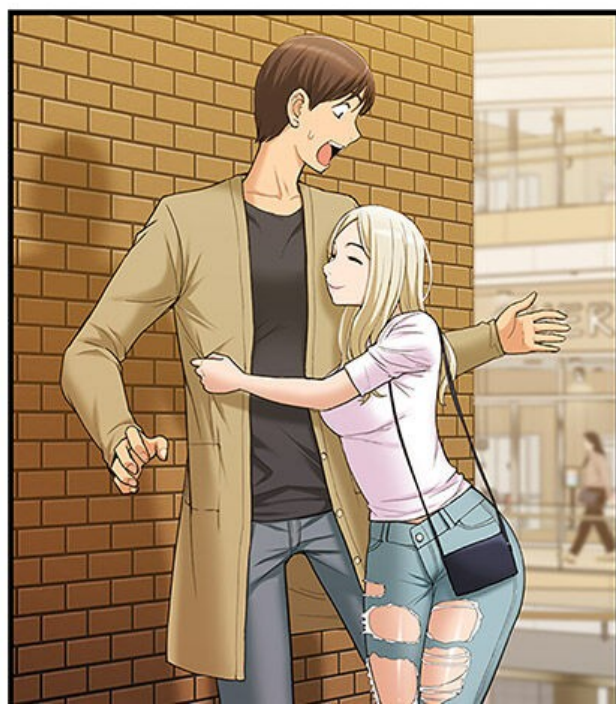
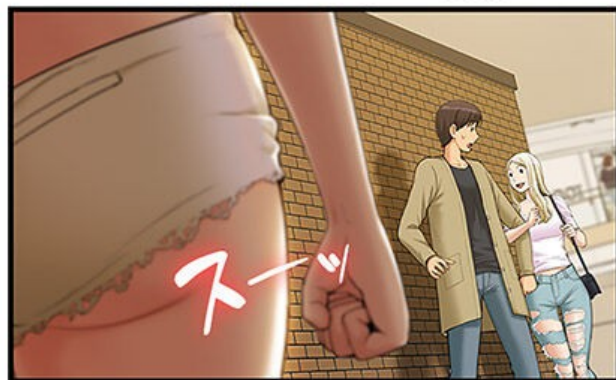
私は…

ドキ

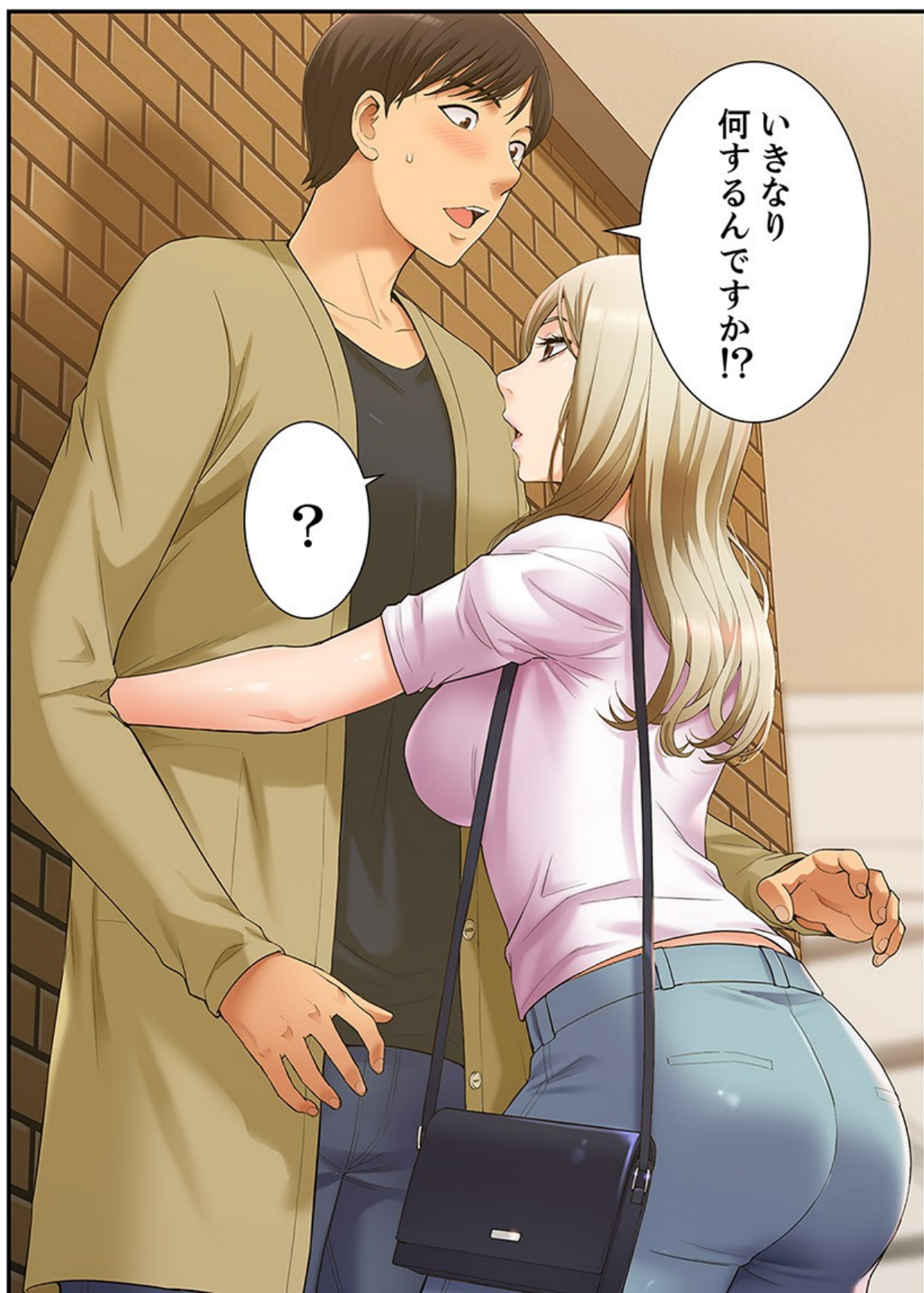
ドキ

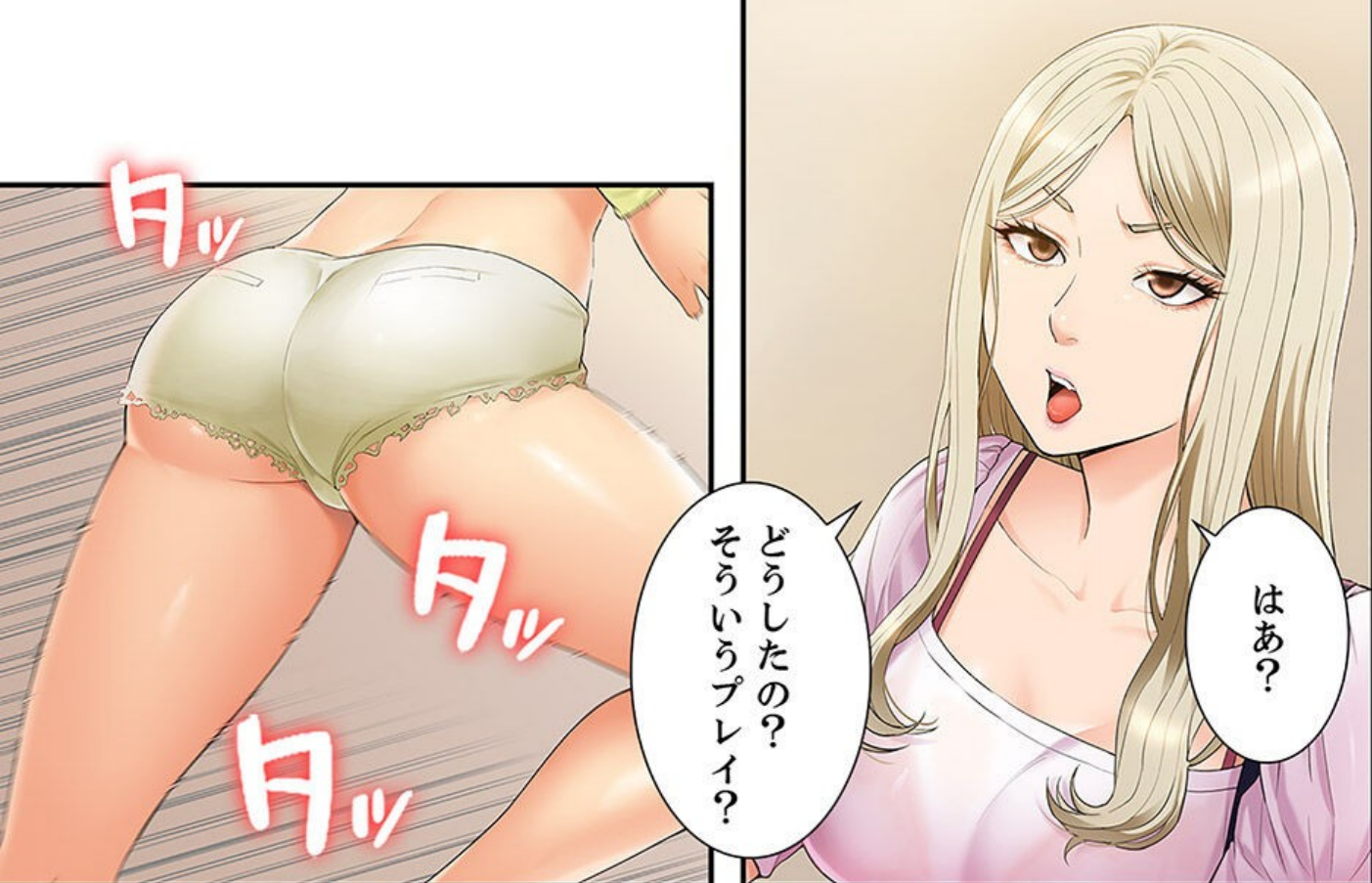




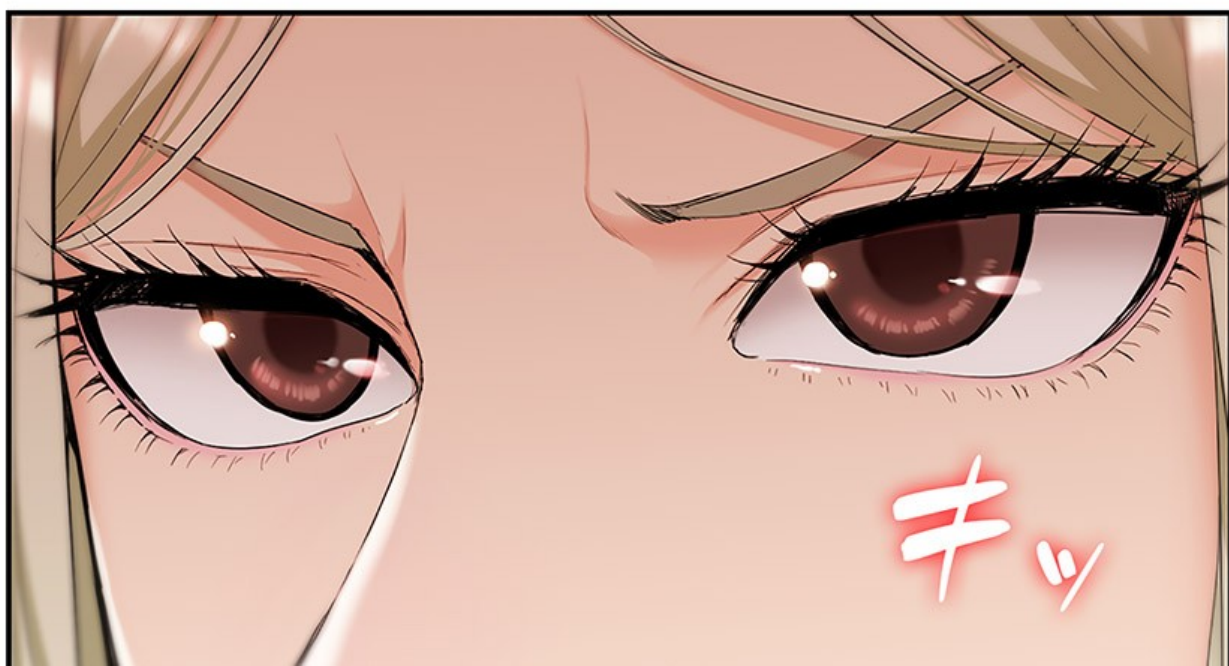


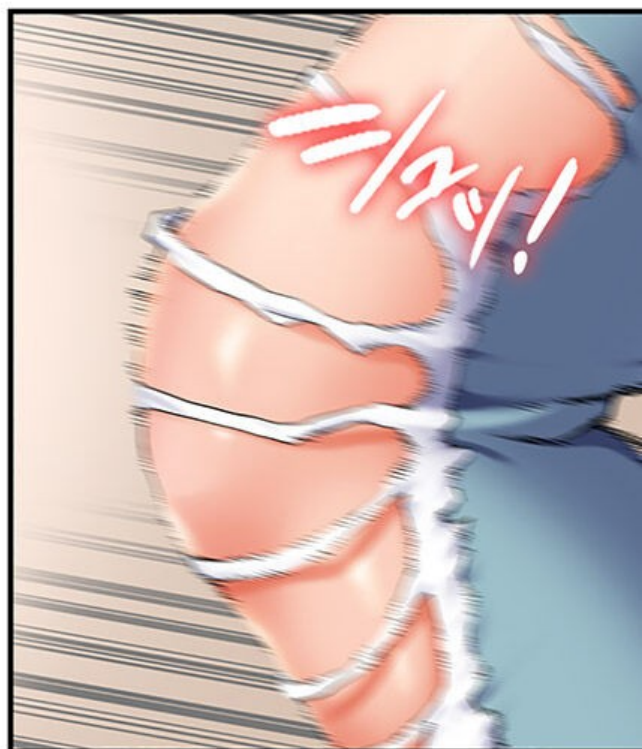
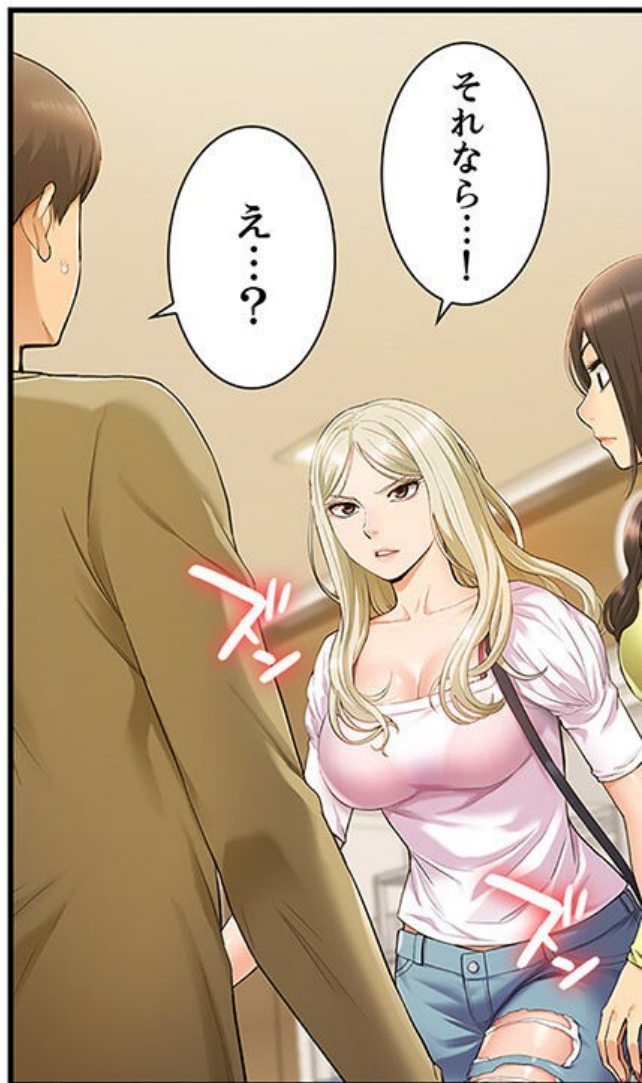




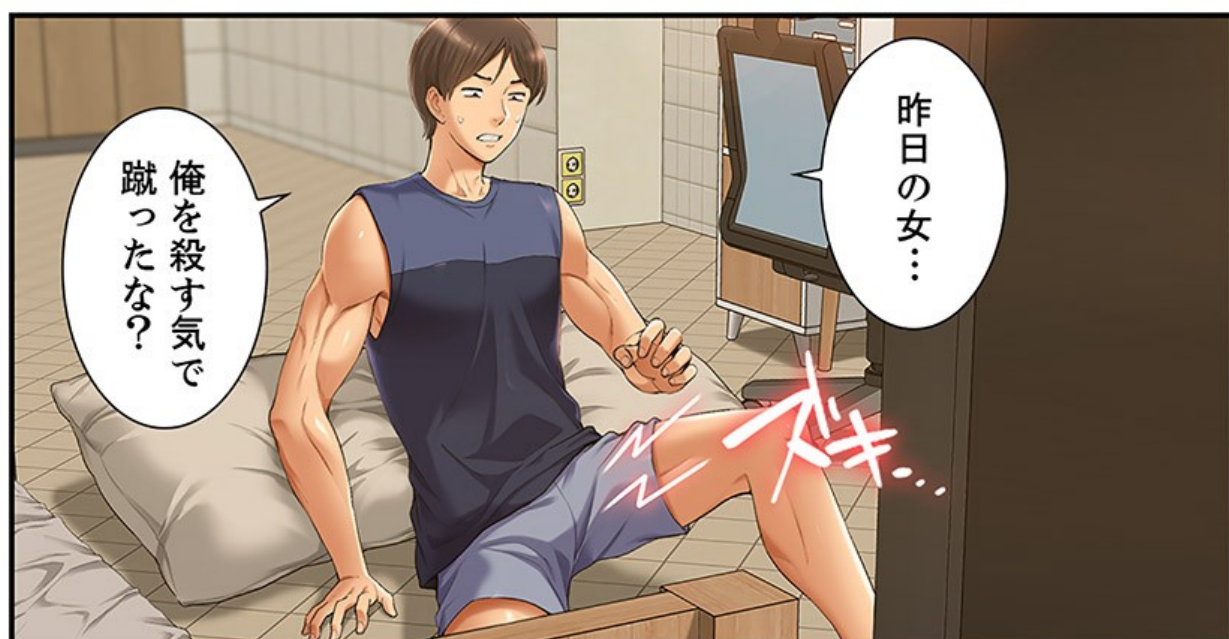














何してるの?

入っていい?

カッ
チャ

タイ
タイ





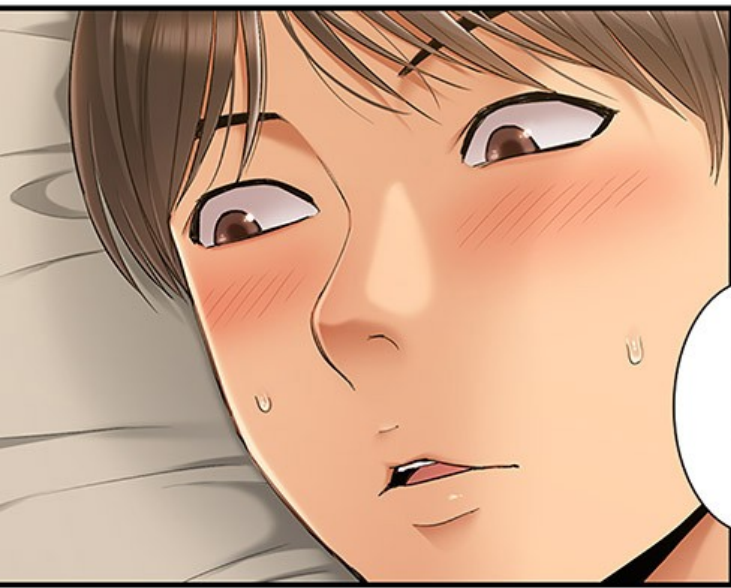






分かった！
信じる！

ギューッ



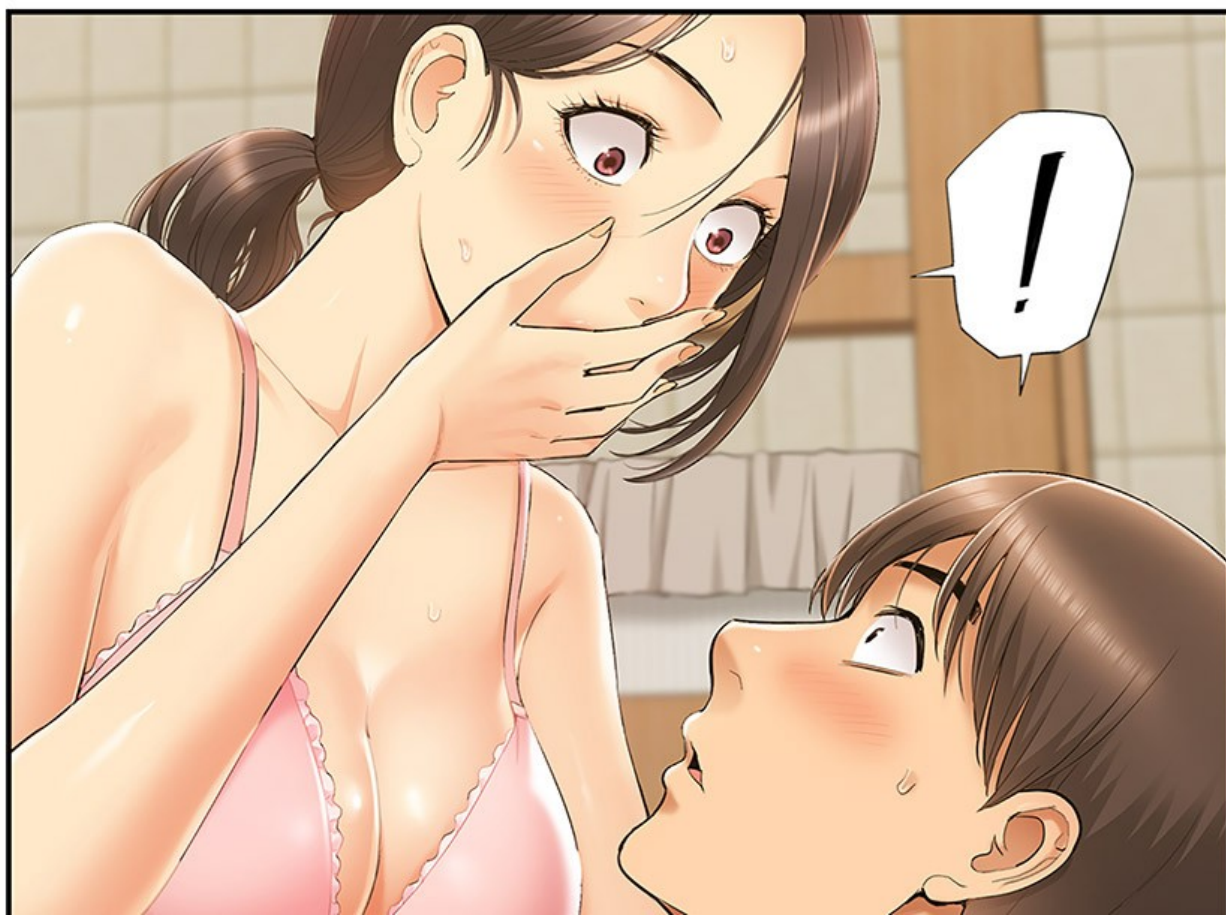
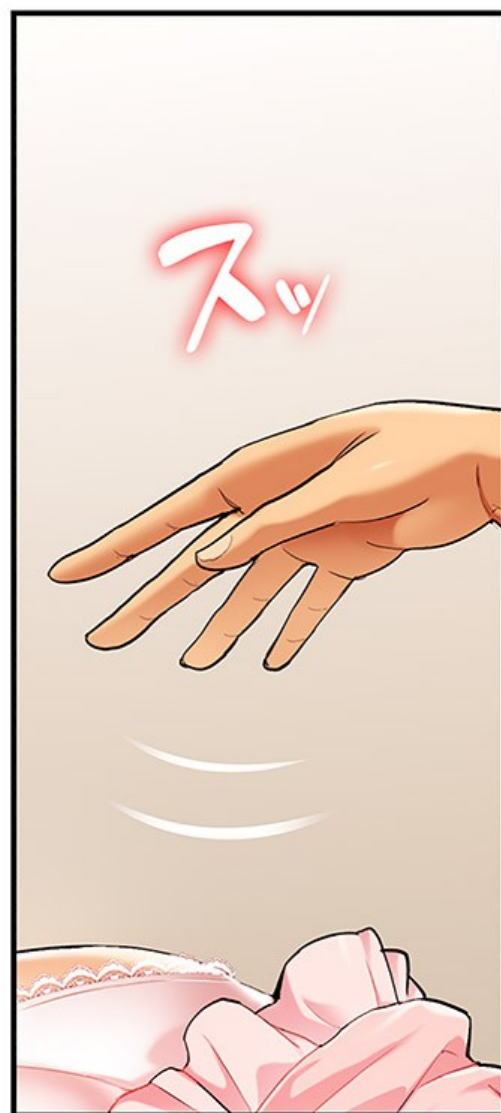
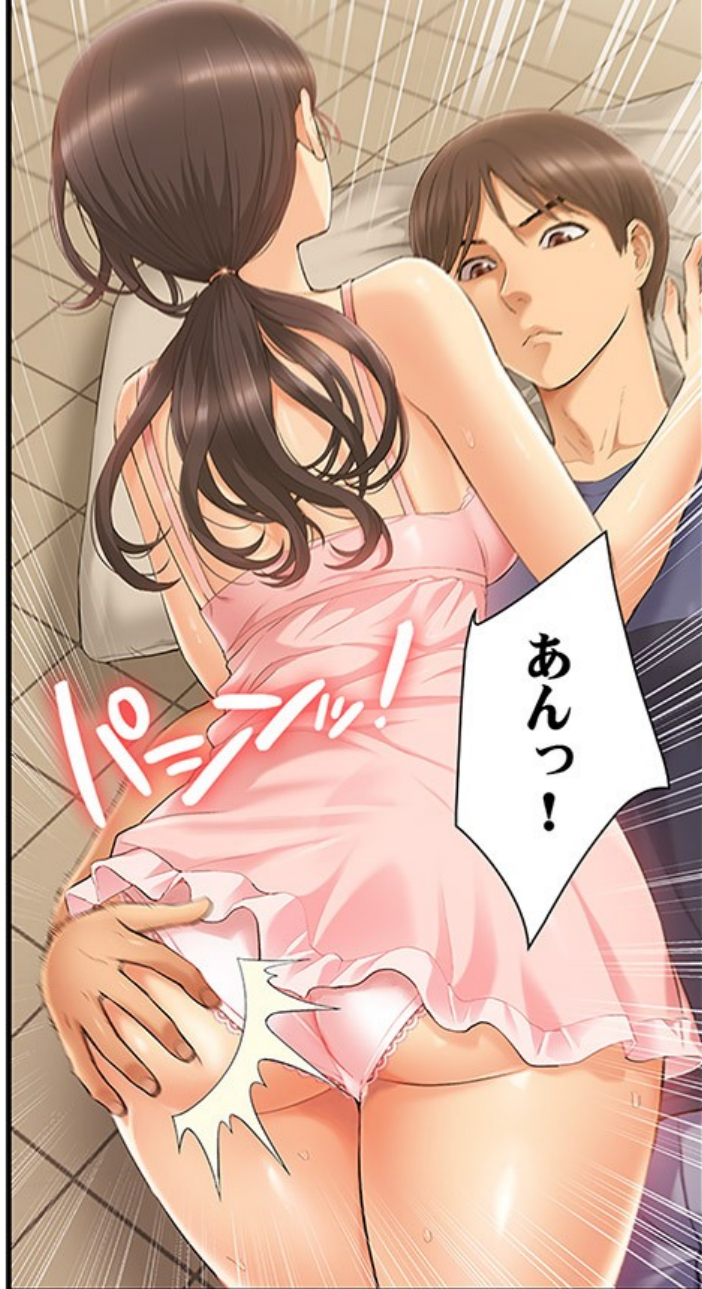


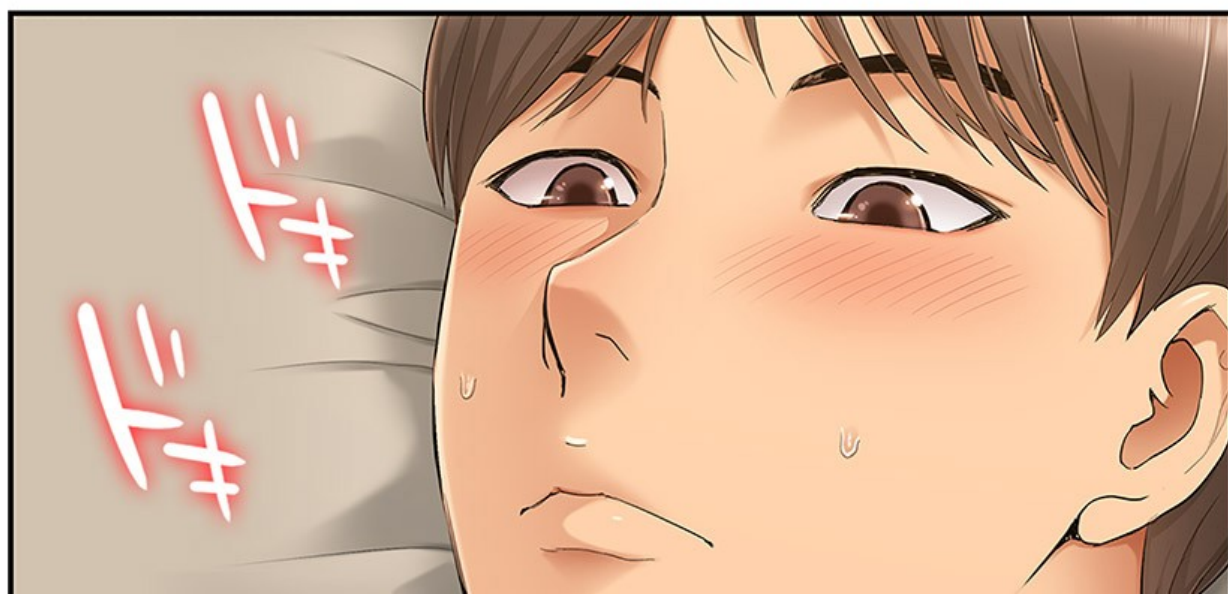
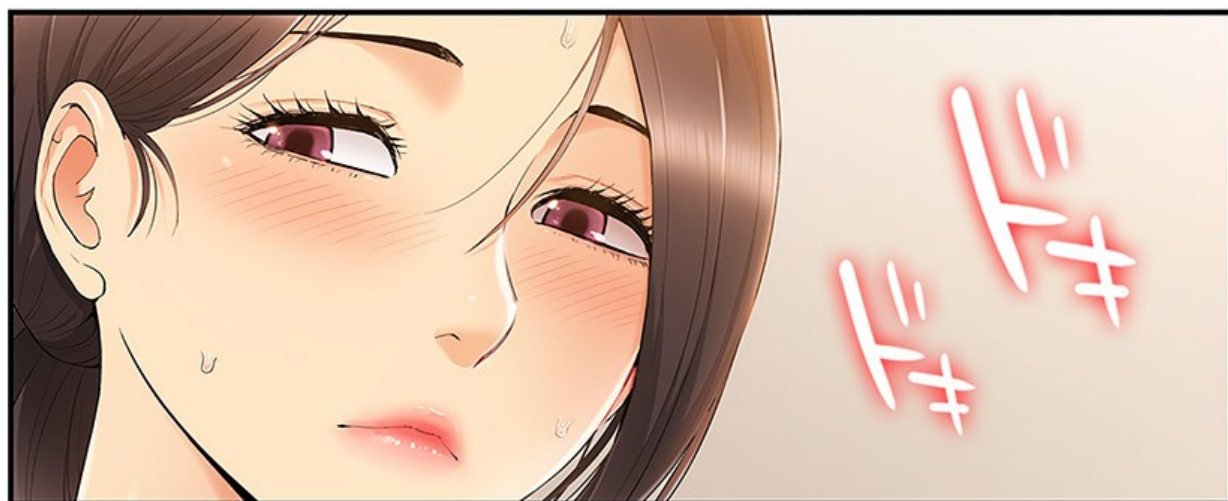
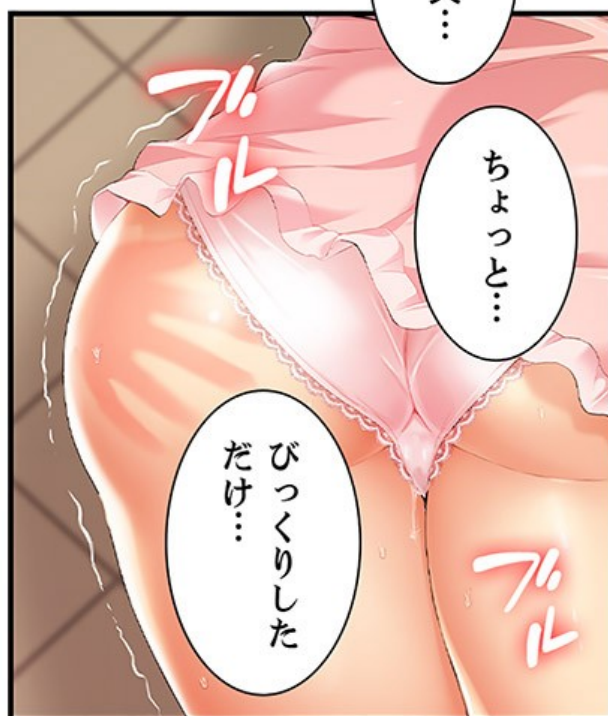
きゃっ!?

10

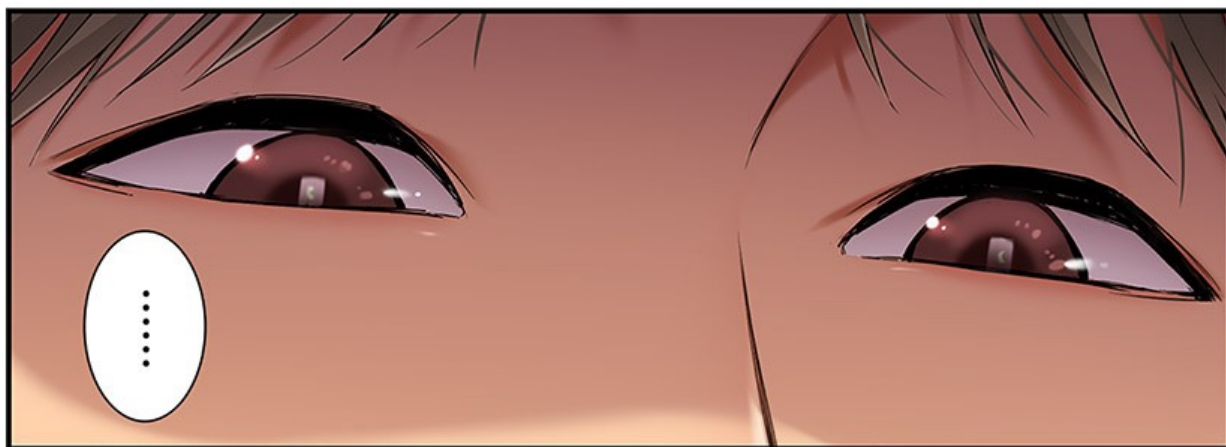
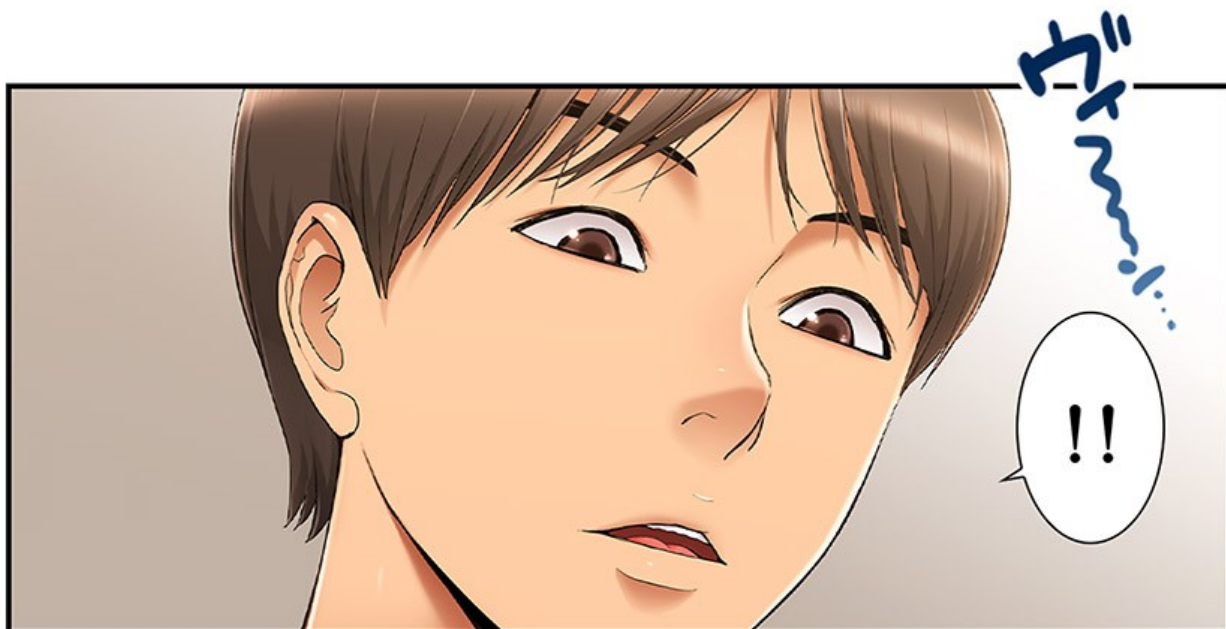








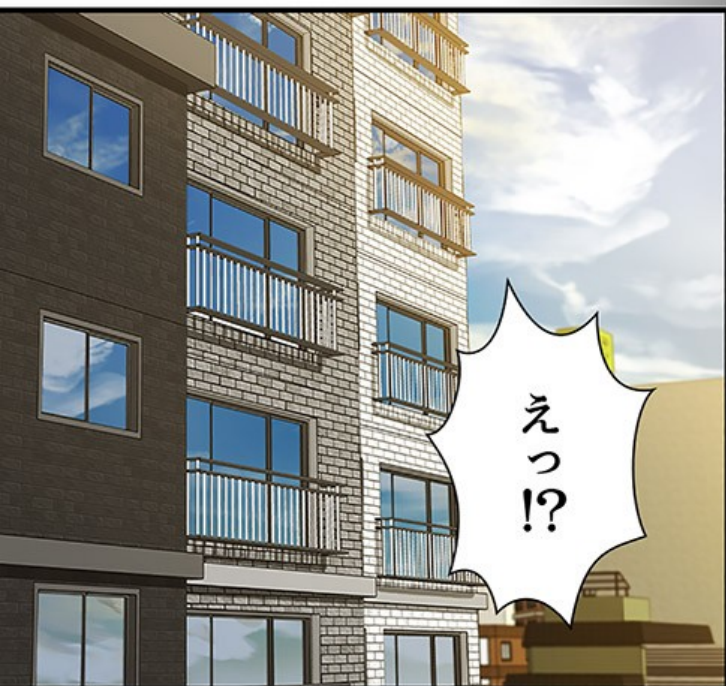


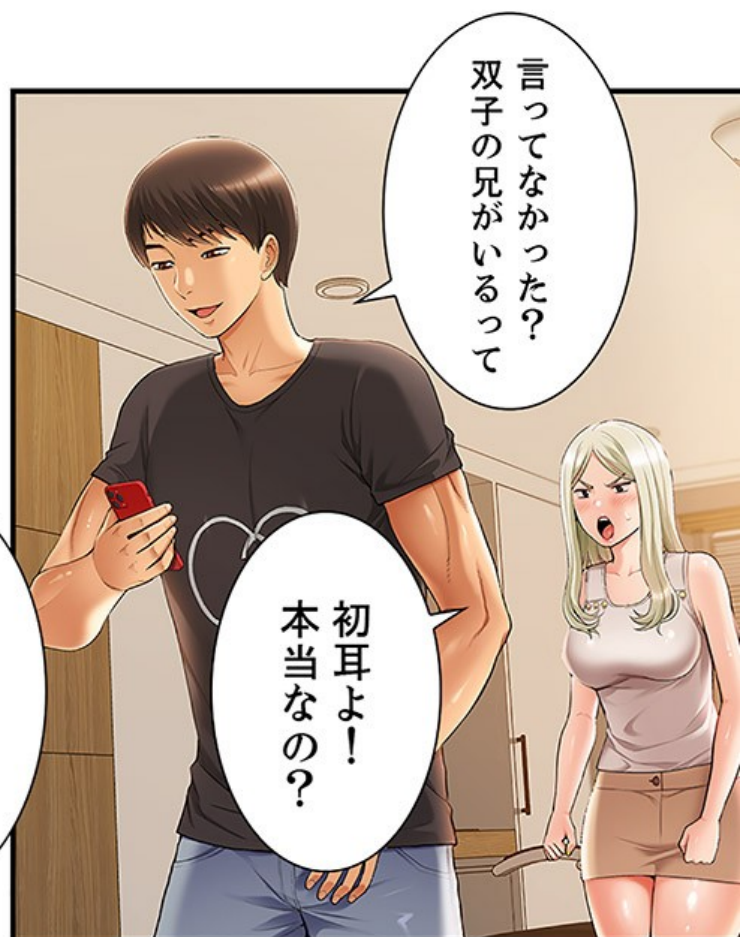


久しぶりだね











俺には
綾乃あやのしかいないって
知ってるくせに

かあ

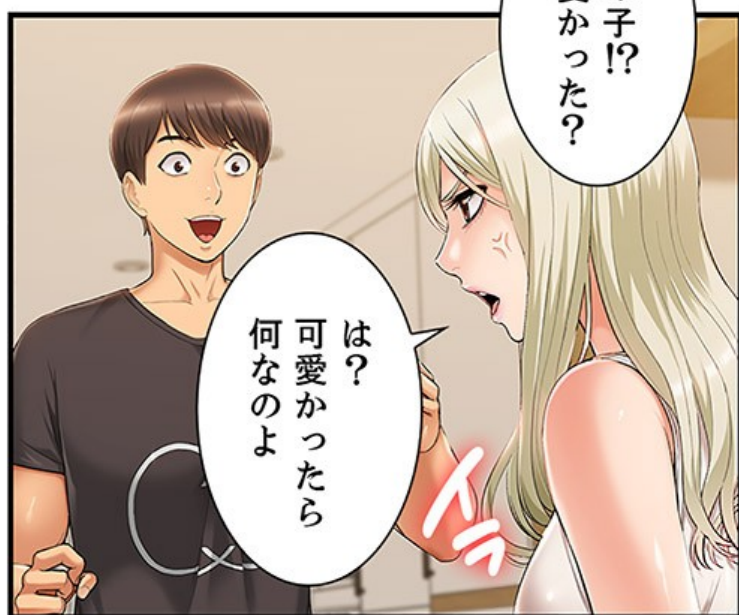
君の為に
上京したんだから

.....



知らない女といたから
ちよっと殴っちゃって...

仁だと
思ったの！



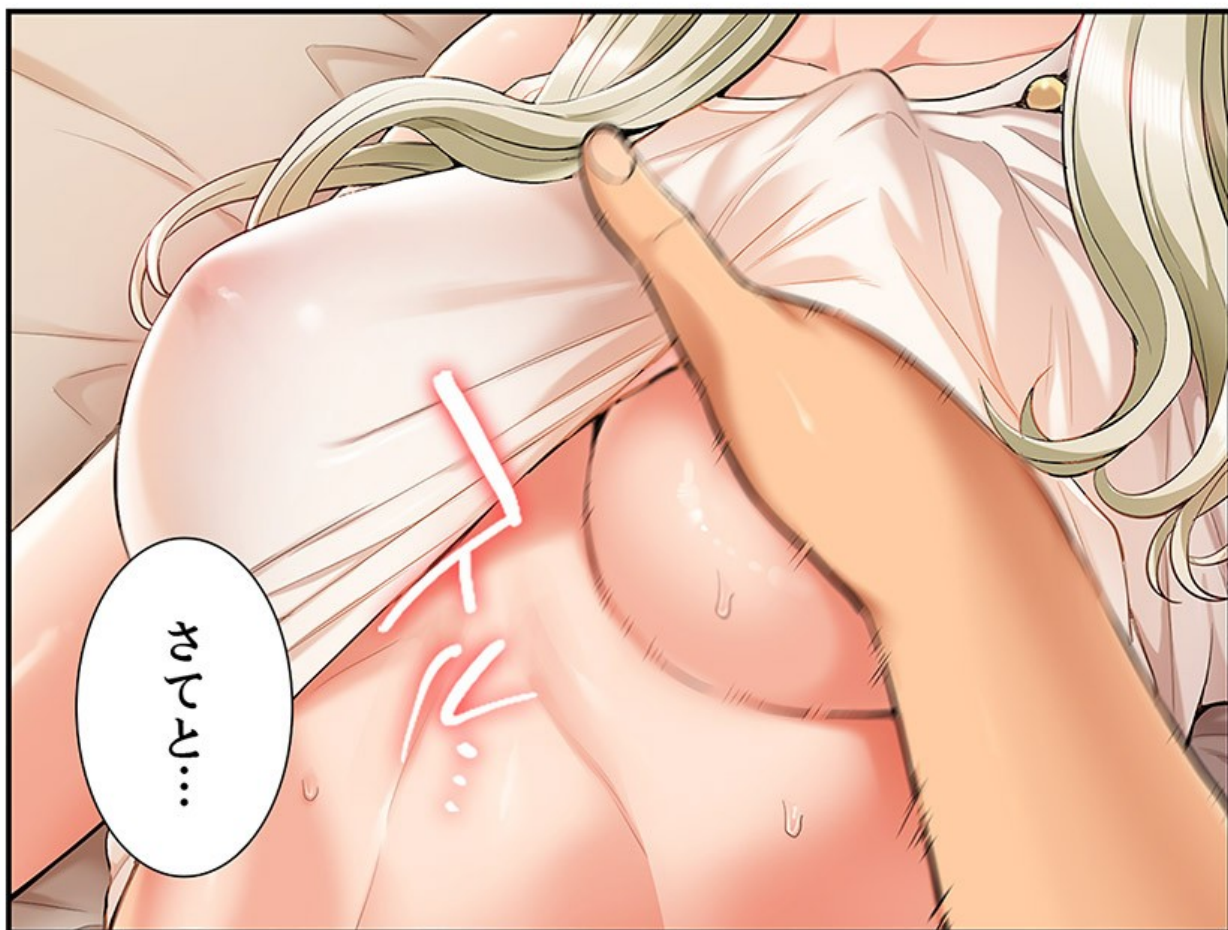
女の子!?
可愛かった？

は？
可愛かったら
何なのよ

イッ



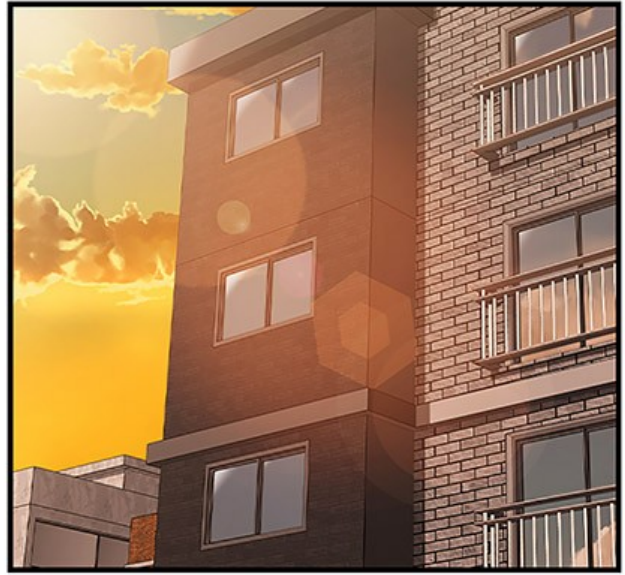
いや...
兄さんの新しい
彼女が可愛いのか
気になったただだよ





俺がどれだけ
綾乃を愛してるか

教えてあげる

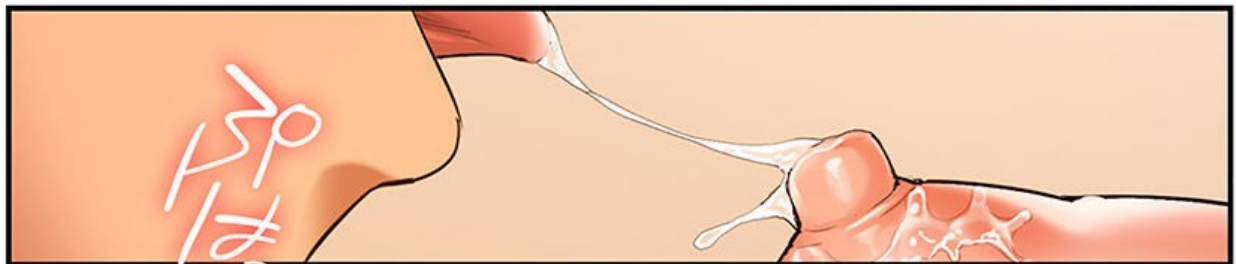




そんなに
引っ張ったら...!

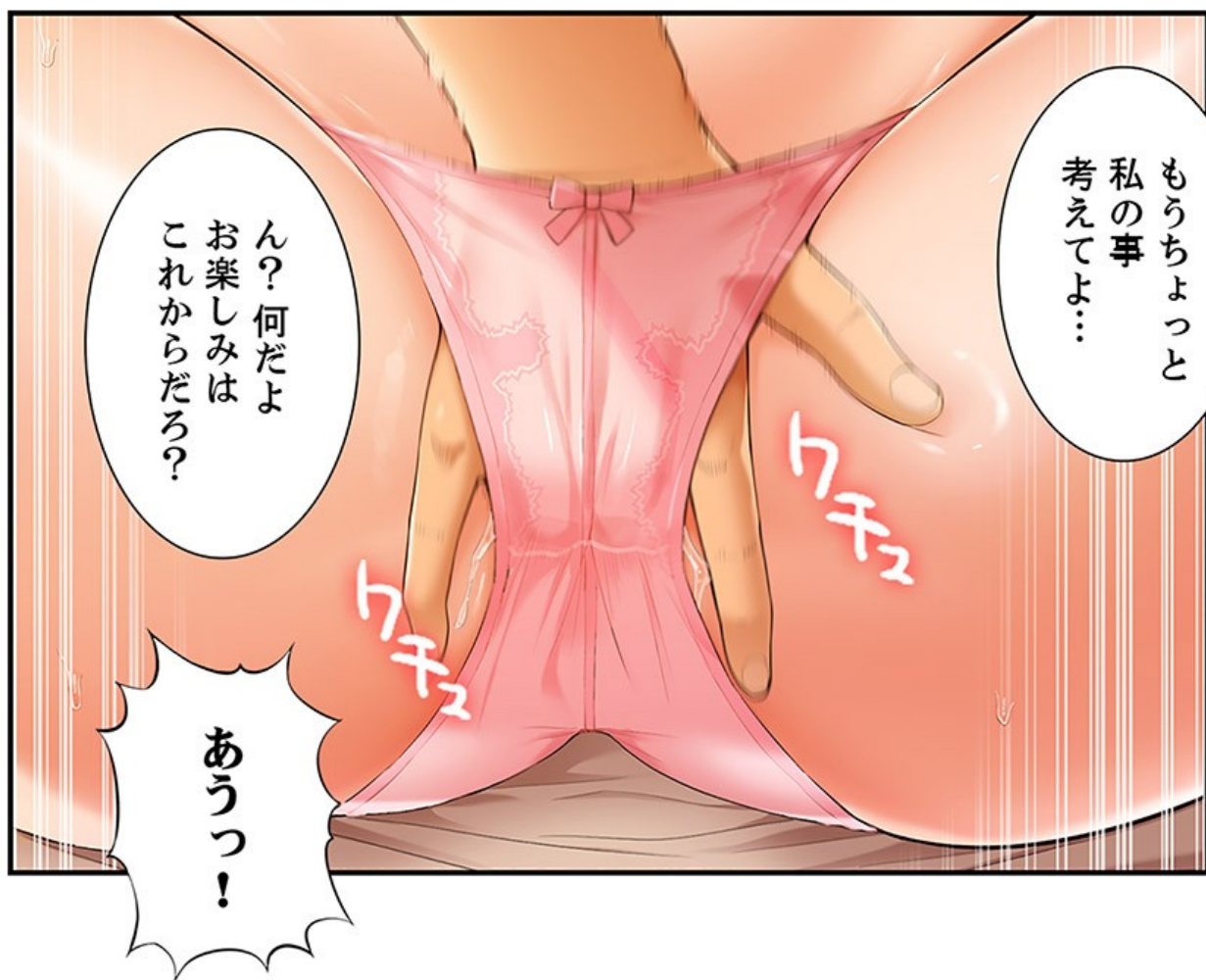


あつ
痛い...



んっ...

嫌がられると
もつとやりたく
なっちゃうんだよな



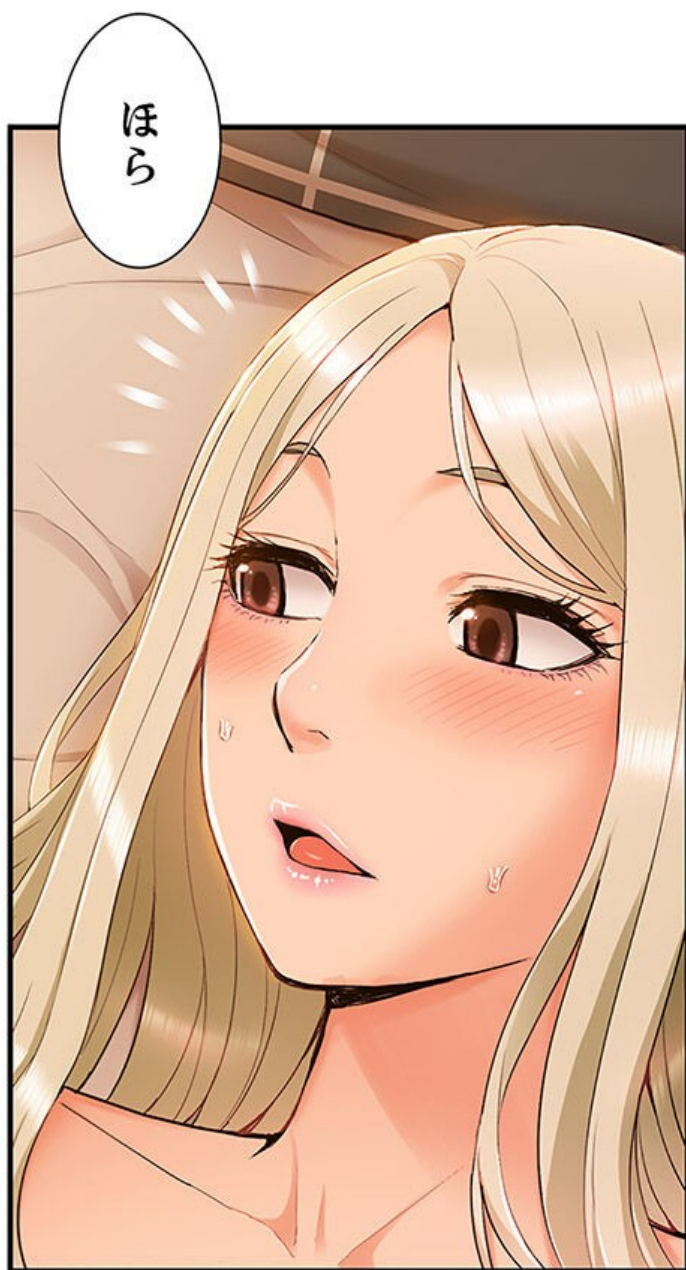


駄目…！

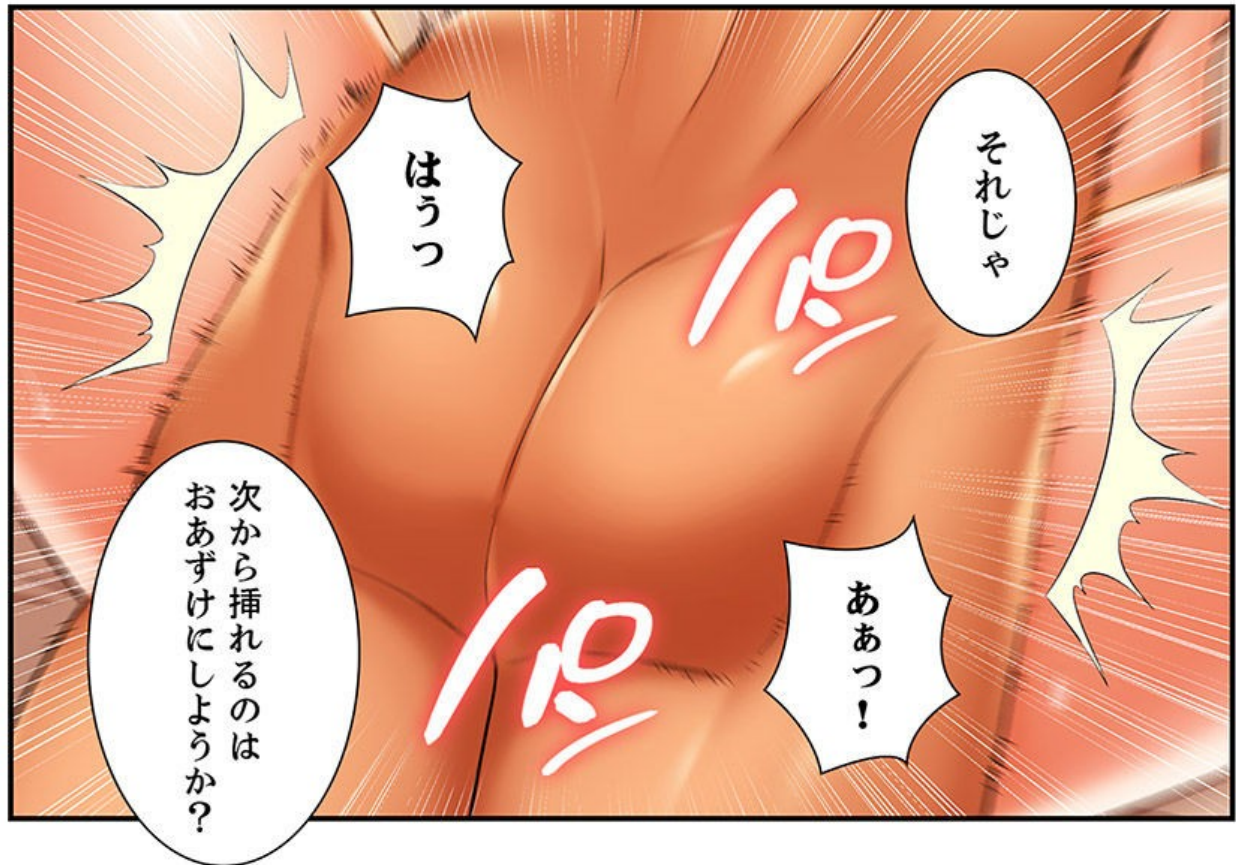
染みになっちゃう！

カチカチ
カチカチ

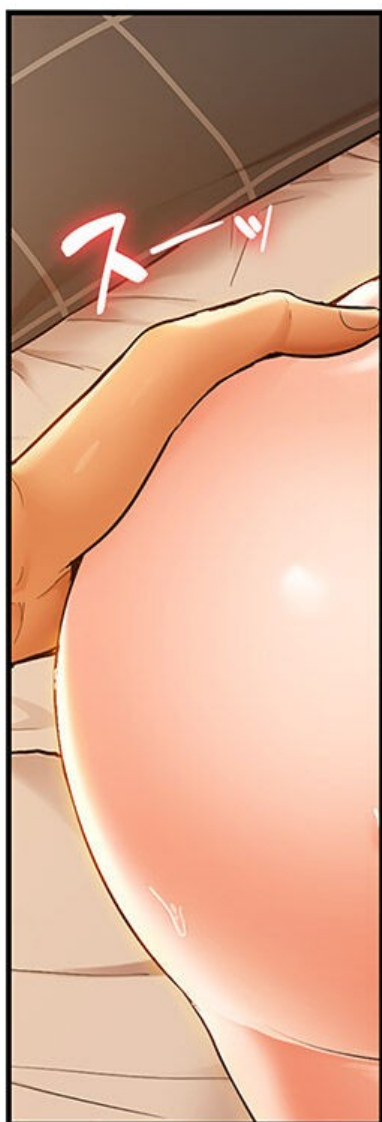
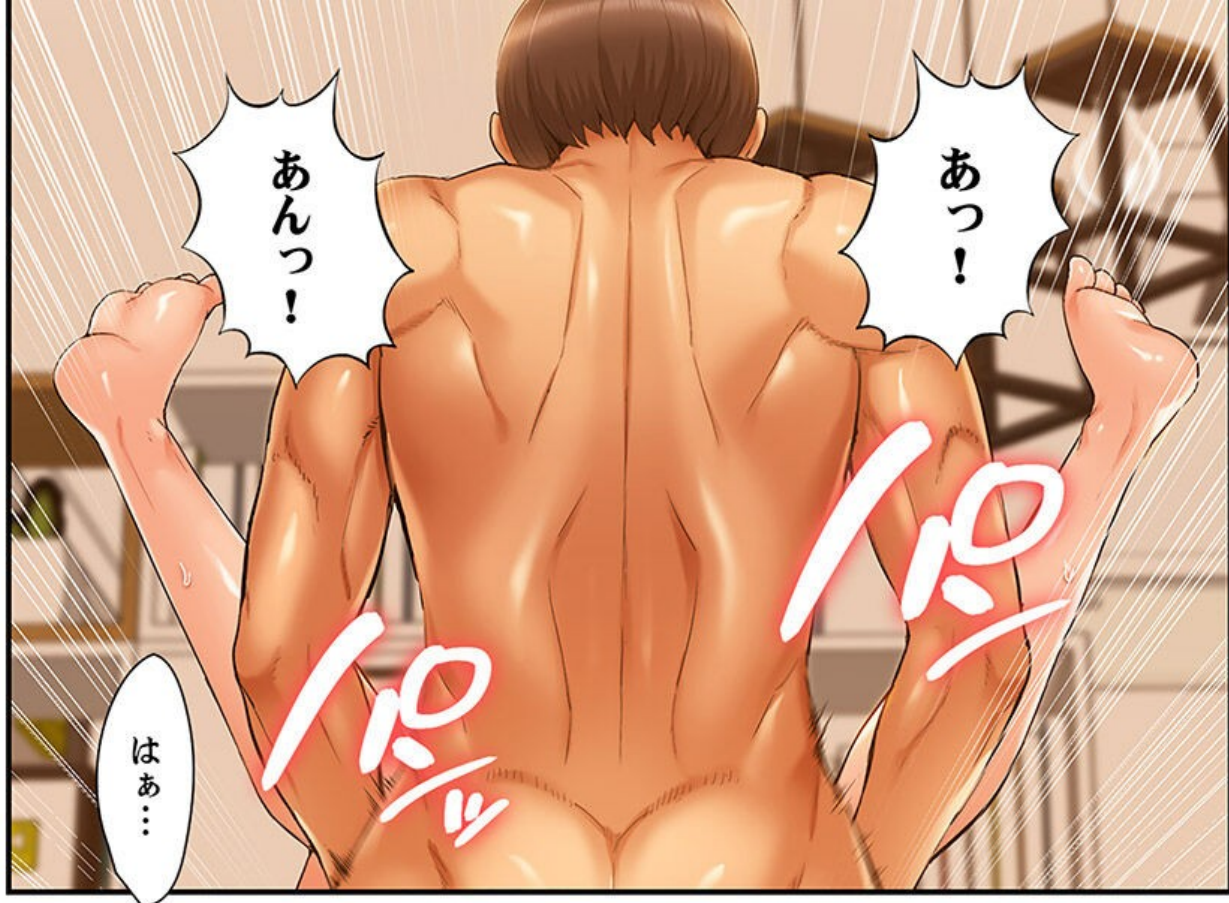




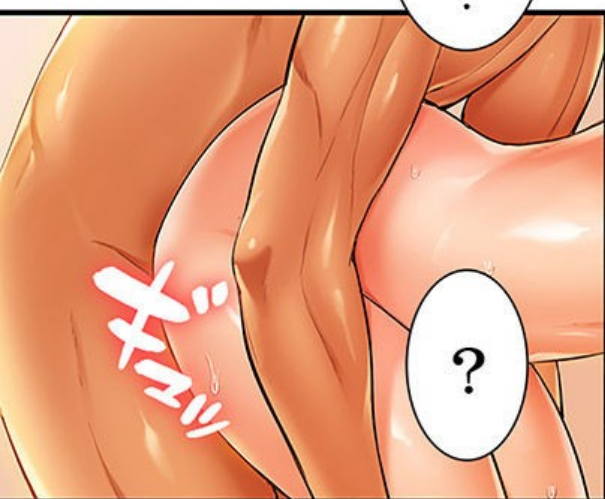
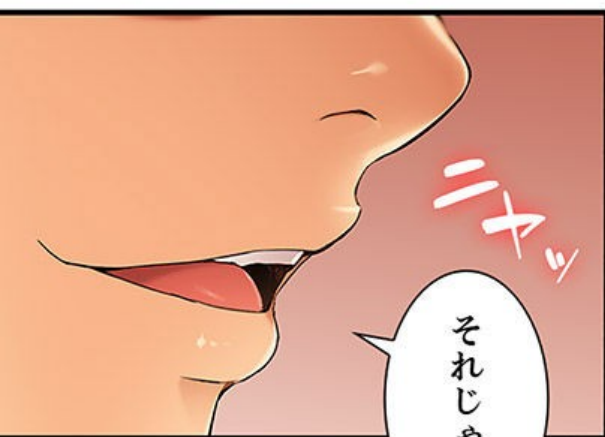
















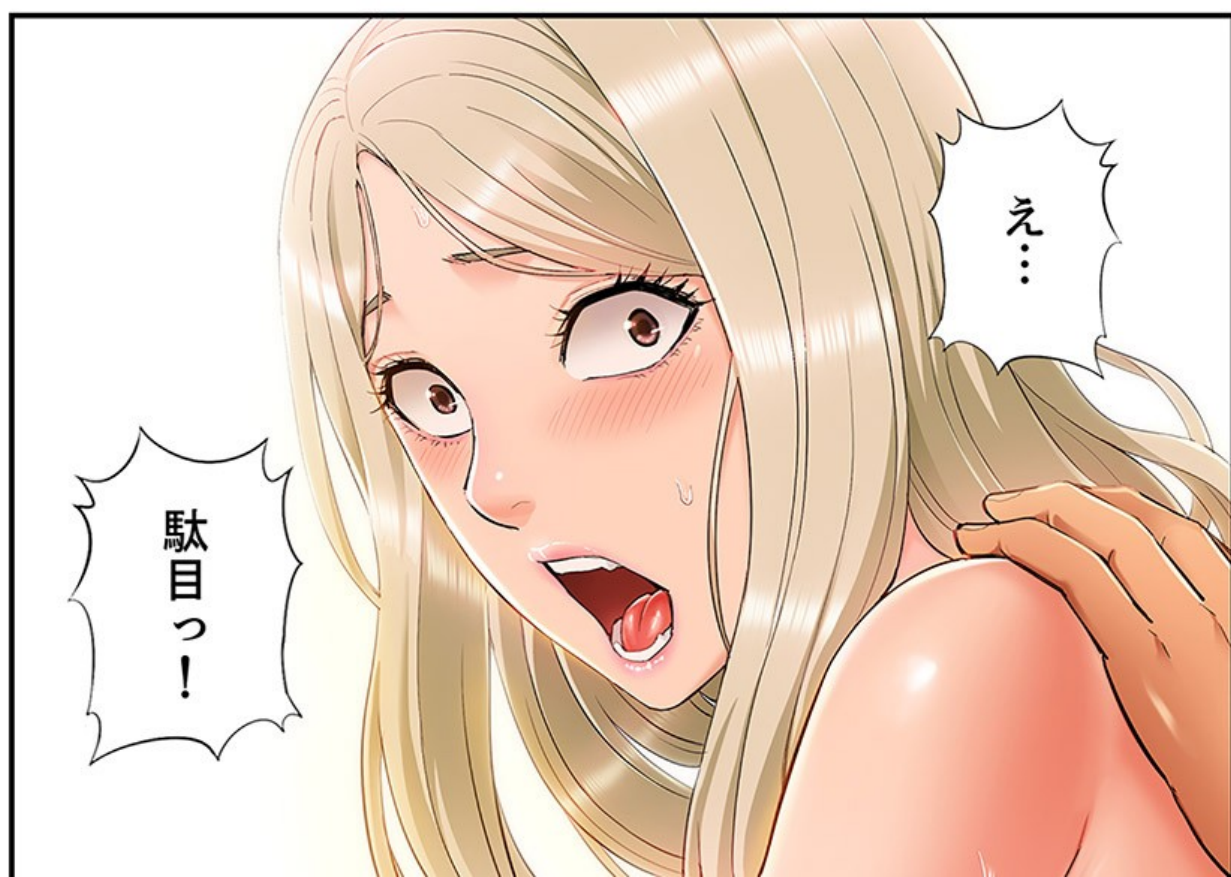
何って…
楽しい事だよ

何するの!?

待って!

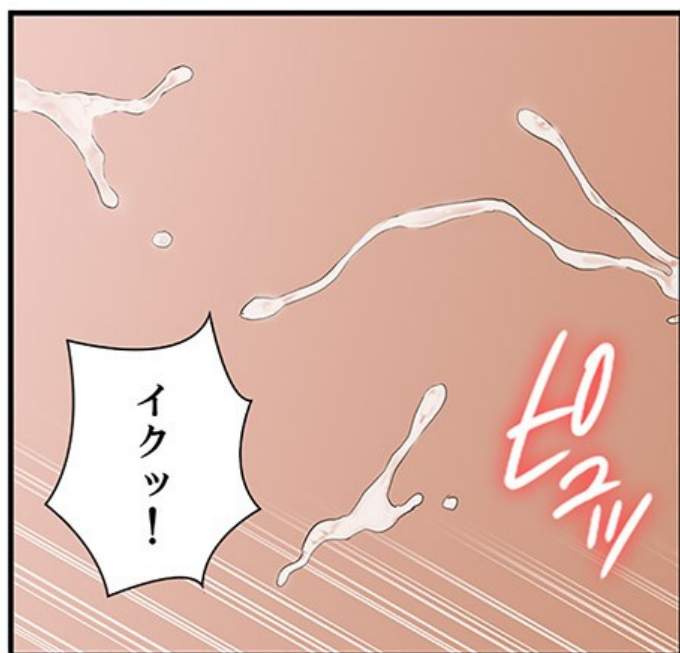


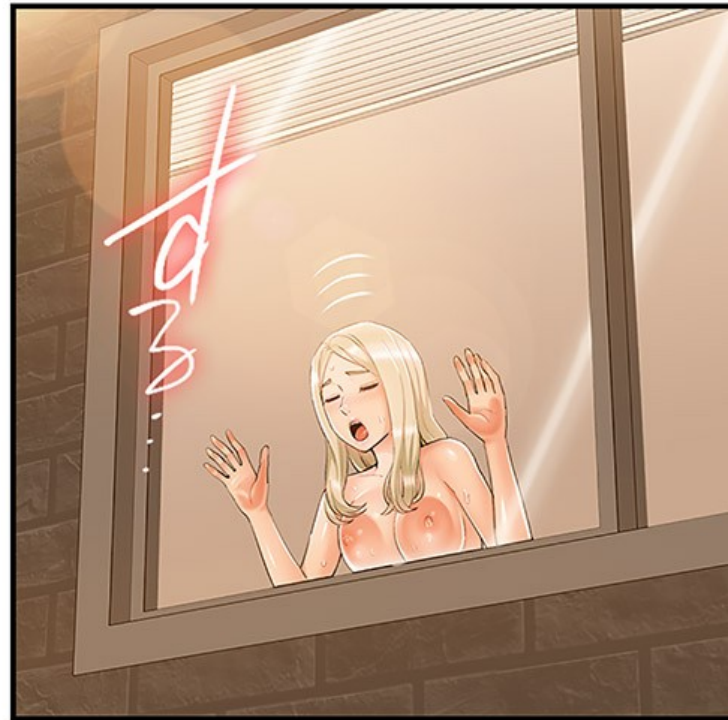
ひゃあっ!

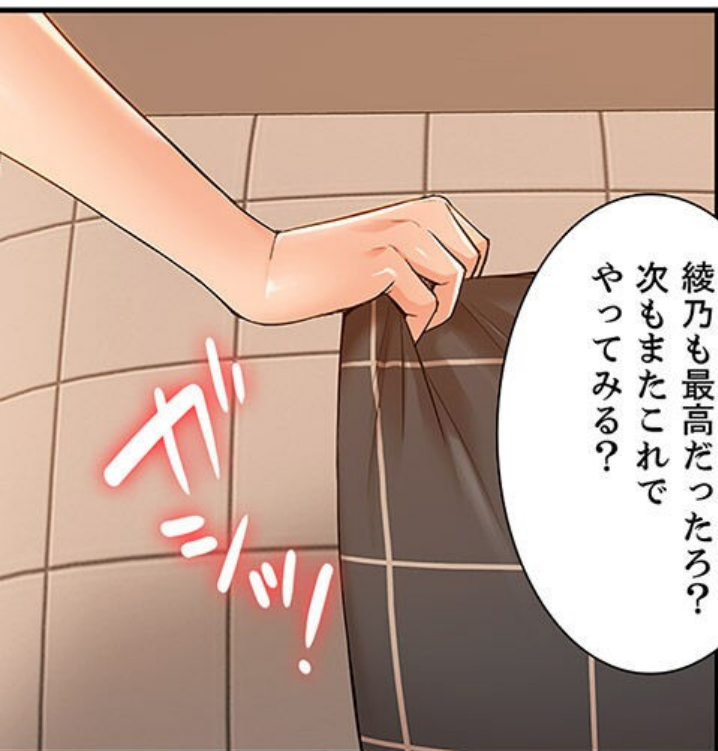












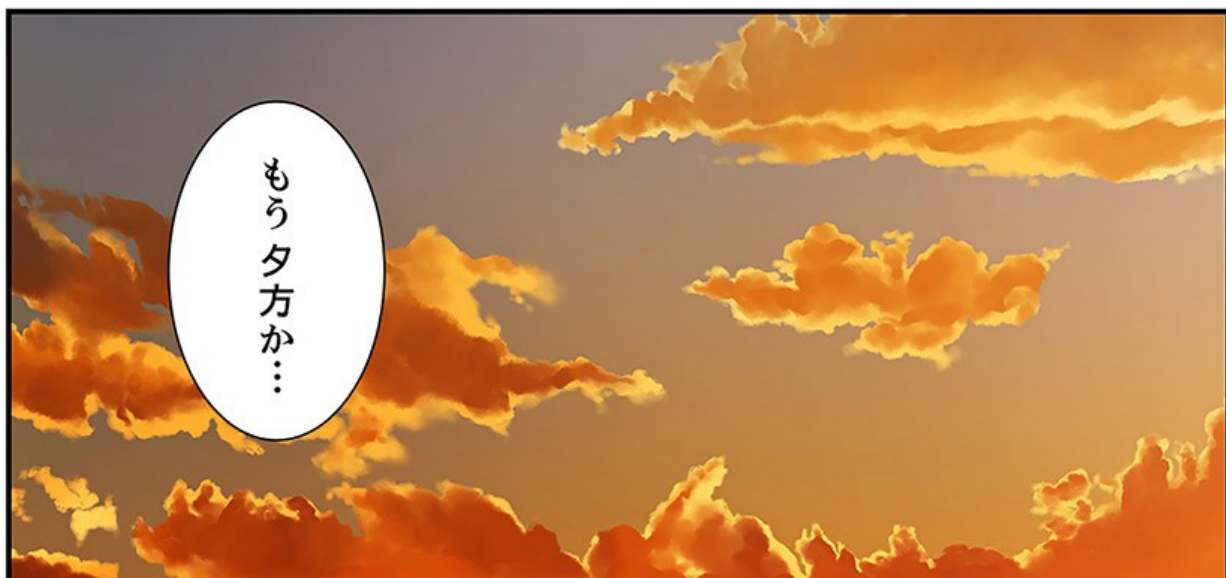
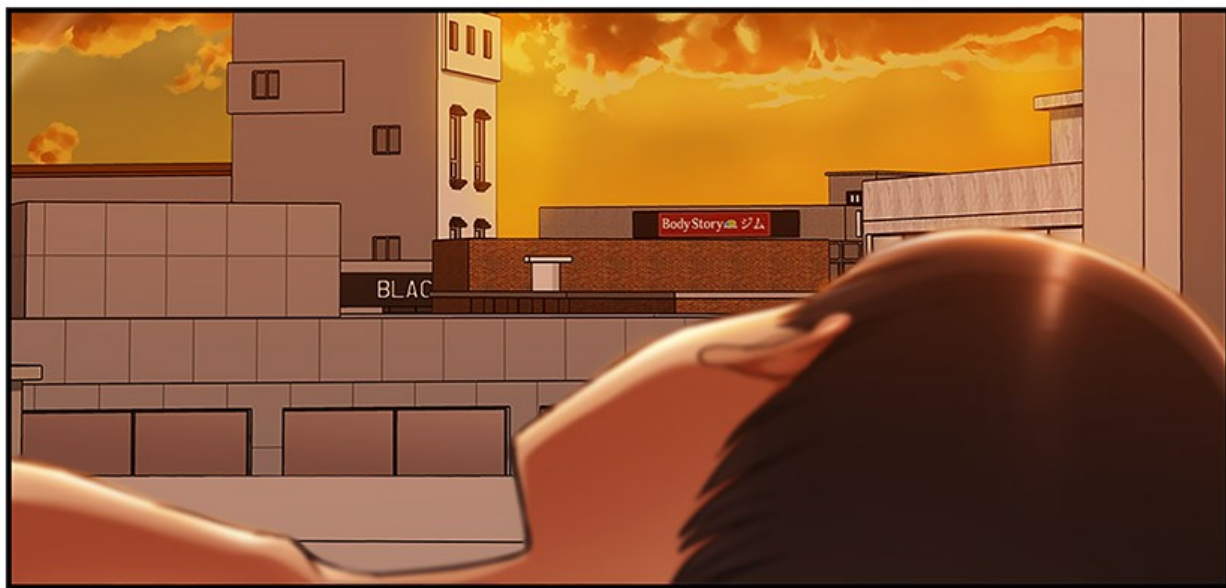
綾乃も最高だったろ?
次もまたこれで
やってみる?

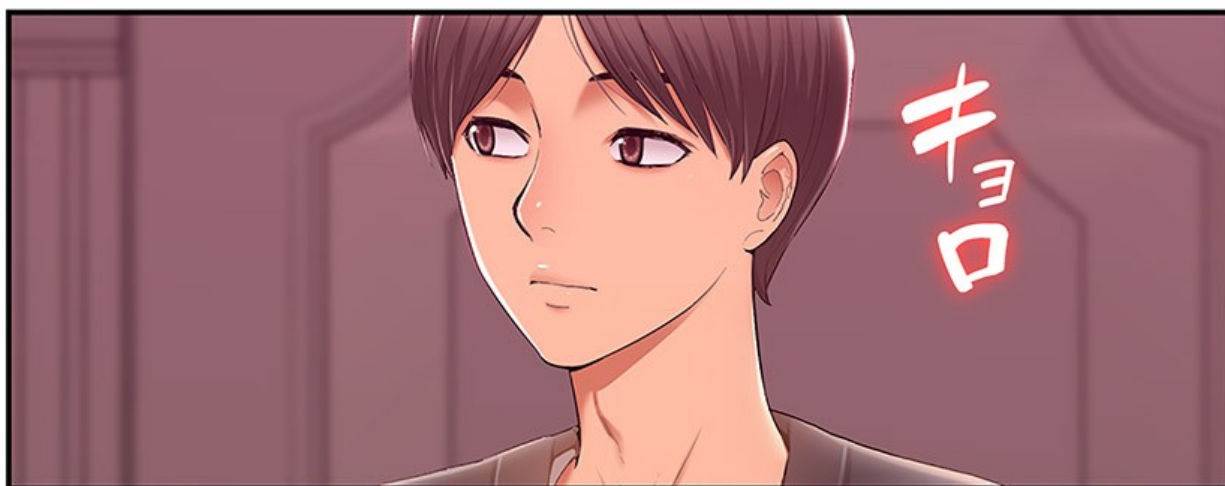
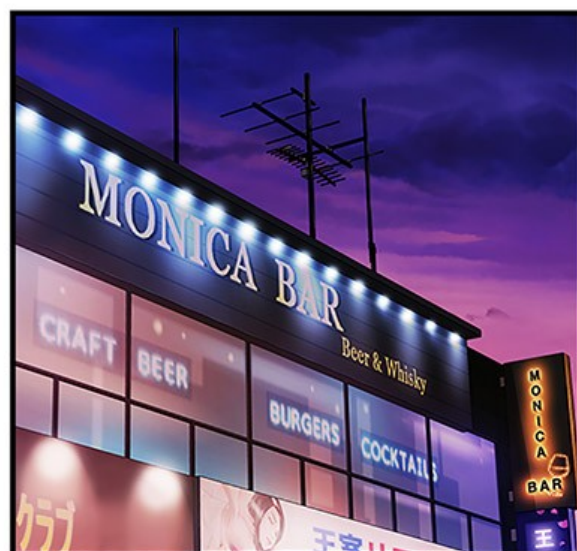


痛てて...

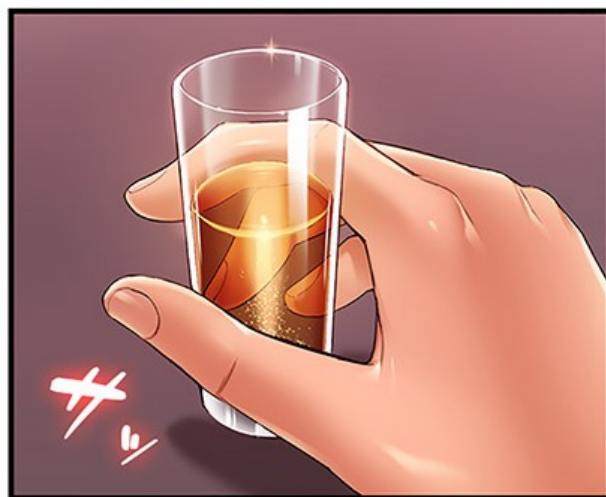


この馬鹿!





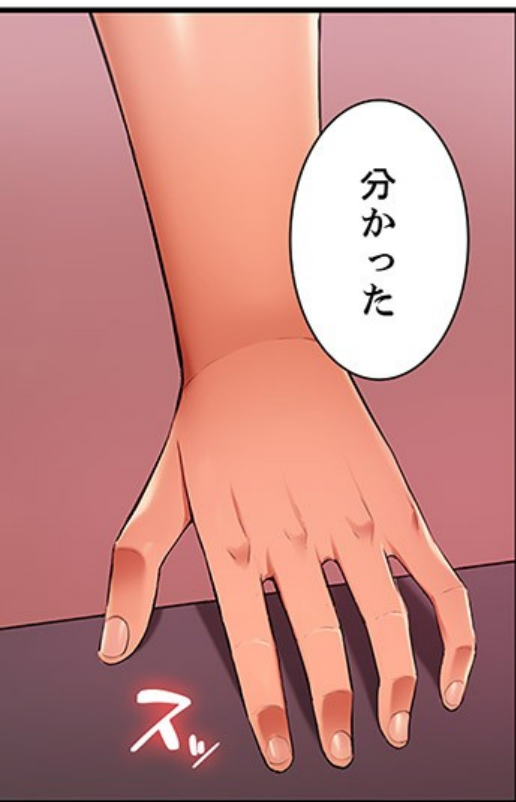














覚えてる？

...



大学の時の事...

あの頃はお互いに
夢中だったよね







どんなに暑くても
ずっとくっついて
離れなかった

は...あつ



そろ...



だけど大学を卒業
してすぐ香奈美は
他の男と付き合った



それは…



他に好きな男が
出来たから別れたって
言ってきたのはそっちだろう？



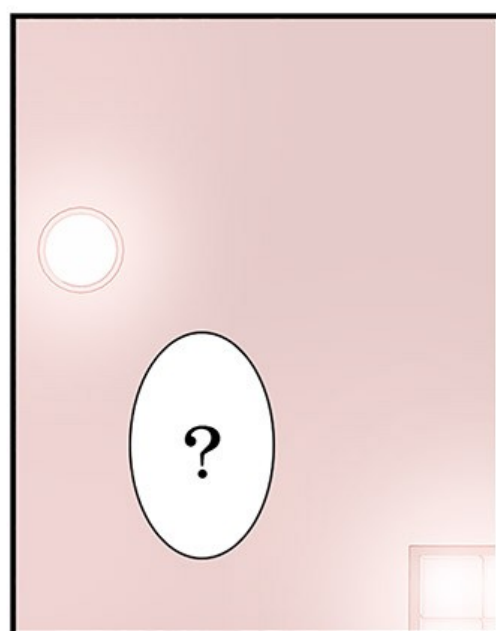


今日で
終わりだ



もう二度と

会うつもりはない





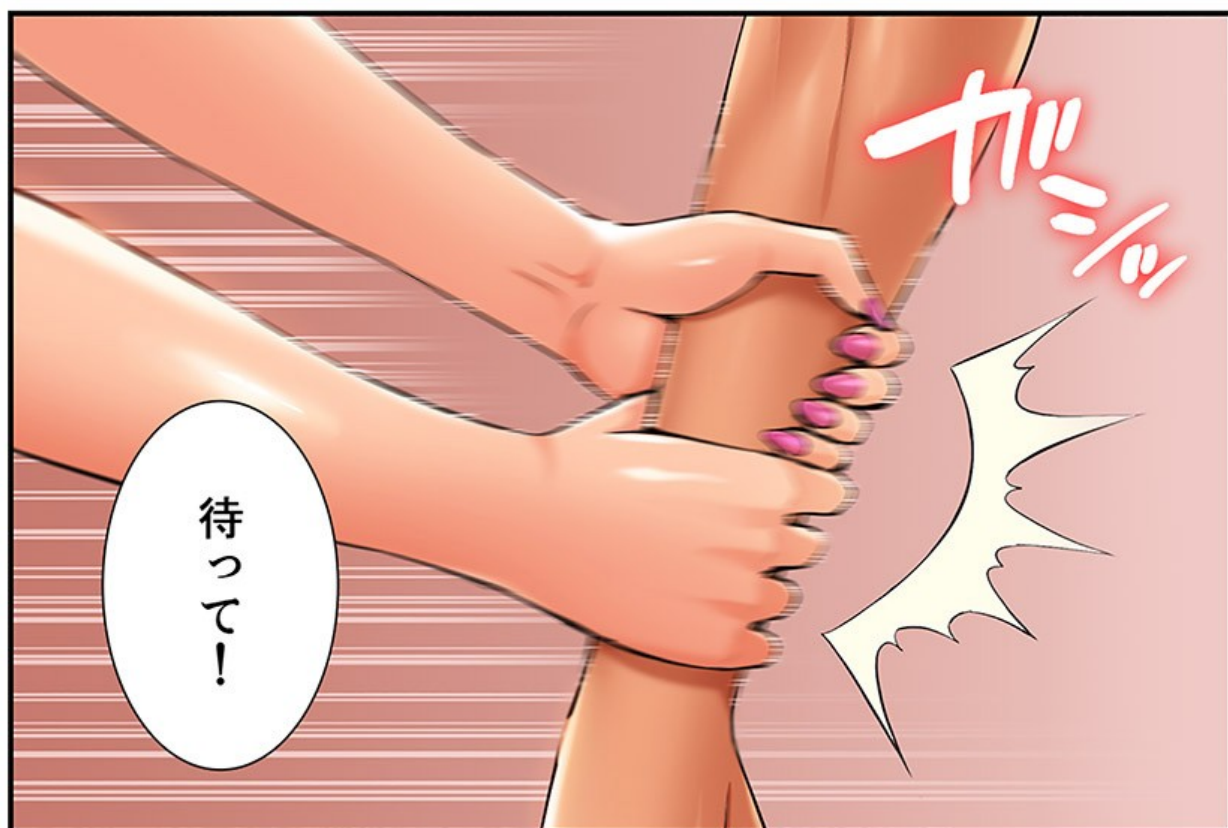


おかげで汗かいたから
シャワー浴びたところ



服…着ろって

別にいいじゃない
お互い何度も
見たんだし





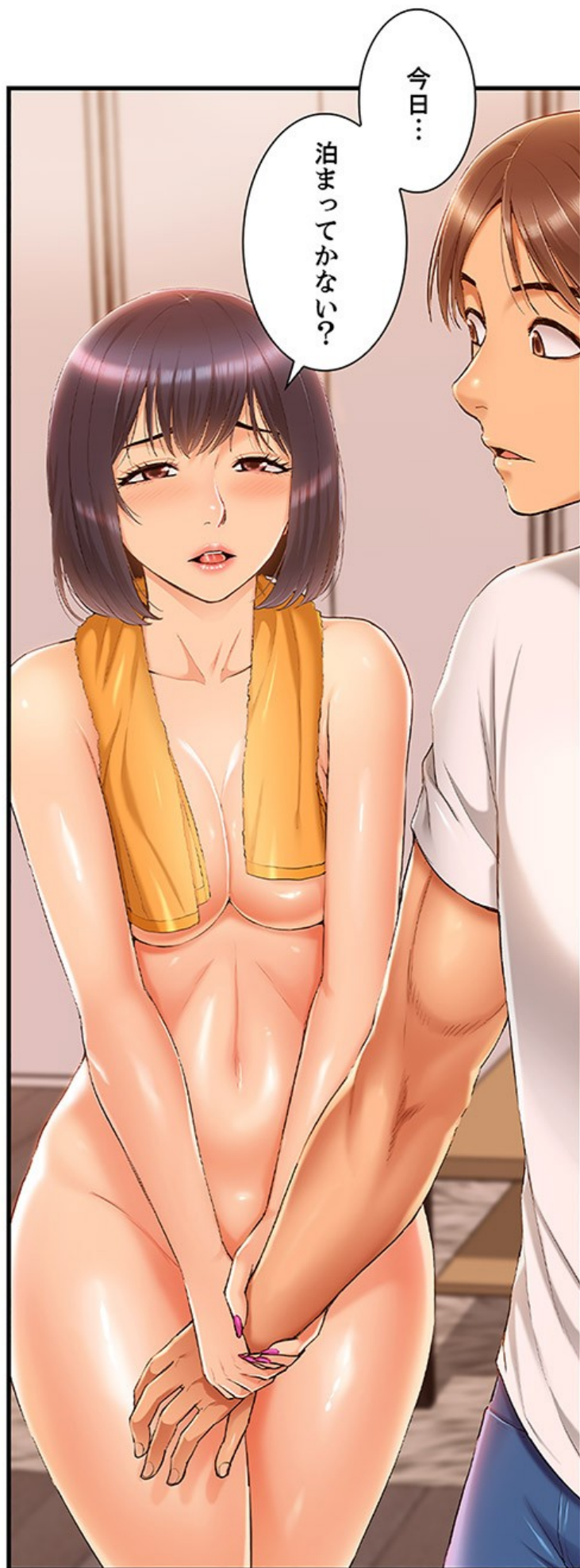
本当に
久しぶりなのに

このまま
さよならは嫌



電話で
会いたいわって
言った時…

罵られても
仕方ないって
思ってた



今日…

泊まってるかな？





香奈美の言う通り
なのかもしれない

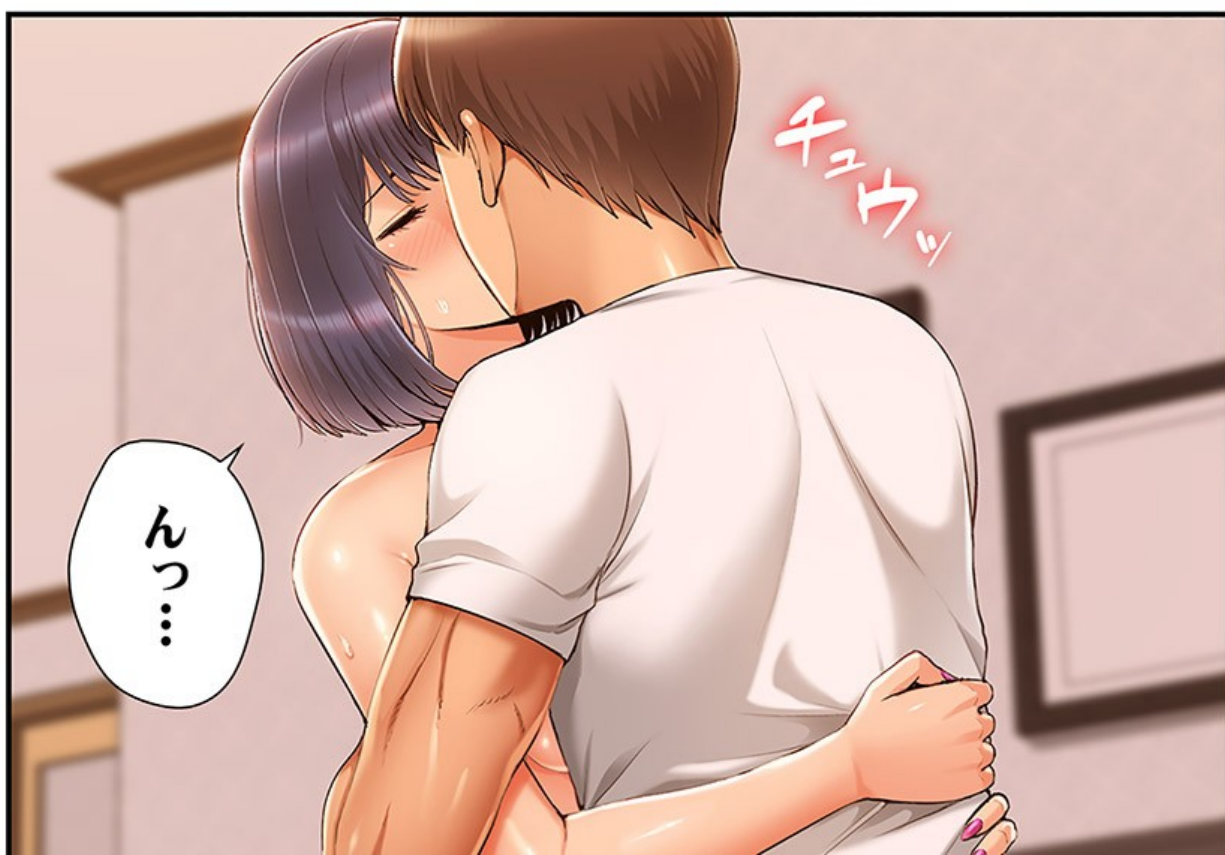
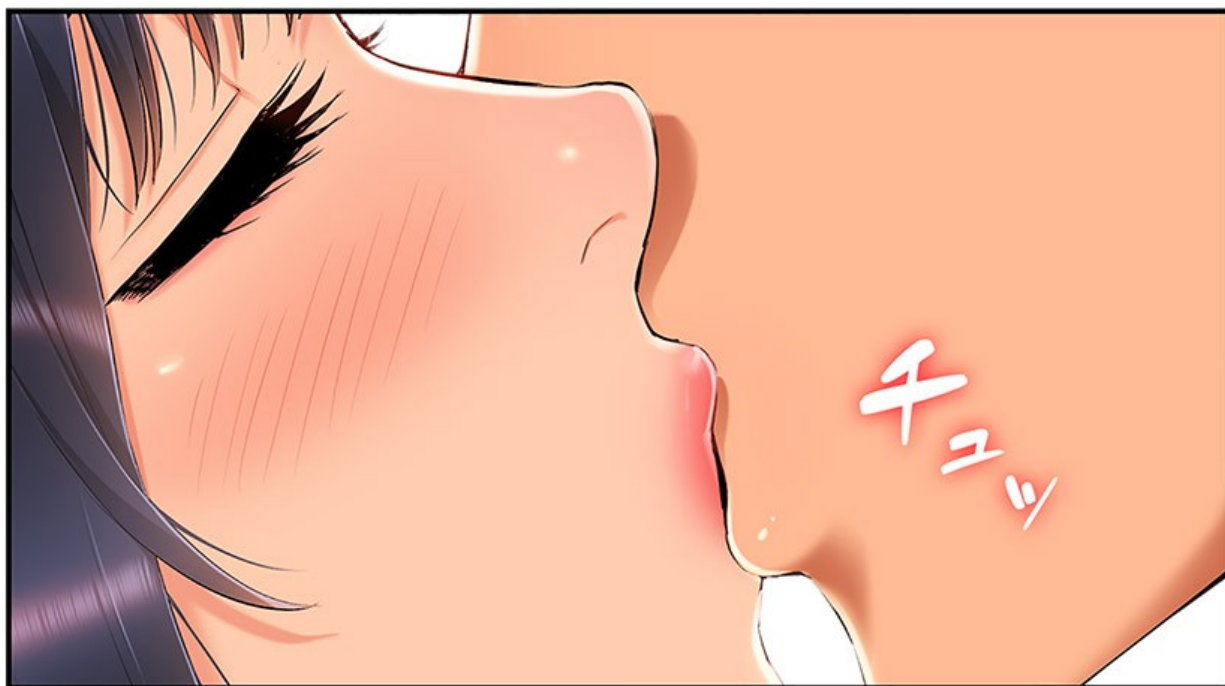
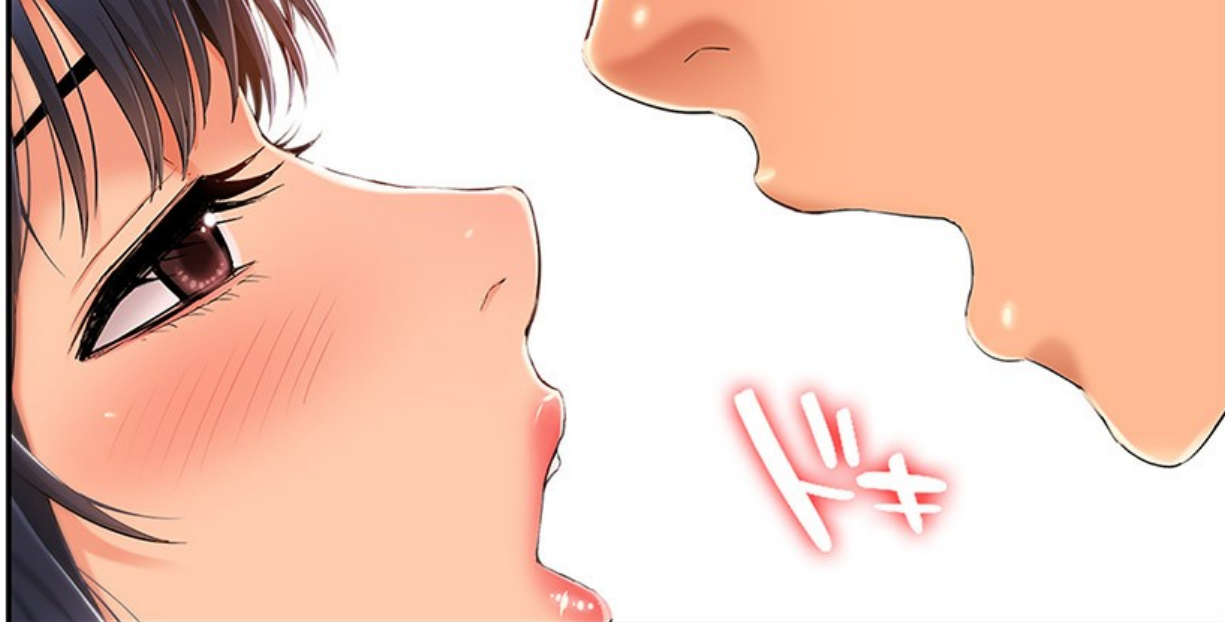
香奈美の事をまだ
完全には許せないけど
会いたい気持ちだ
あったのは確かだ

でも…

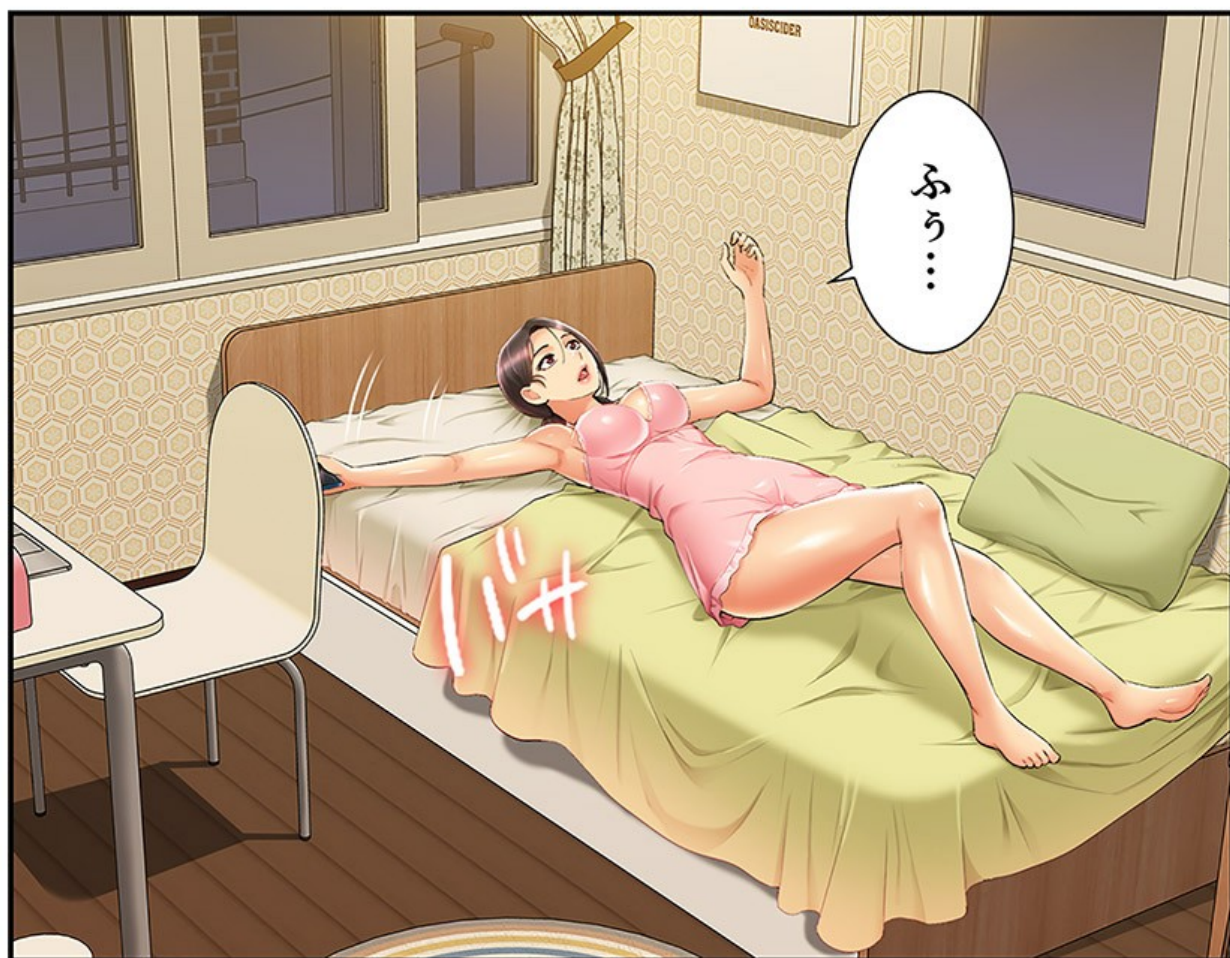
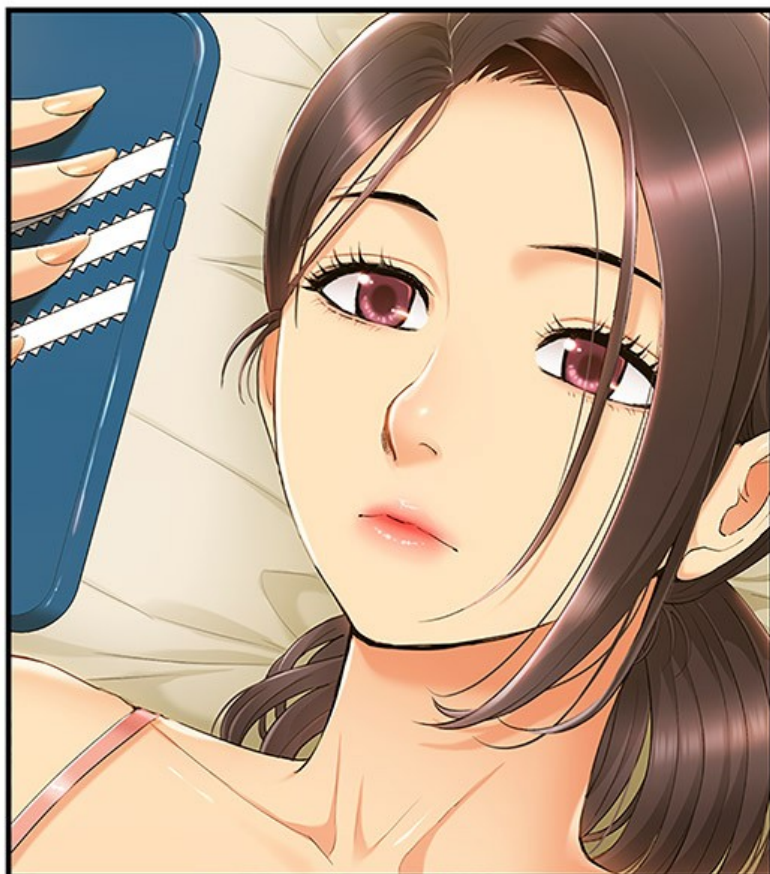


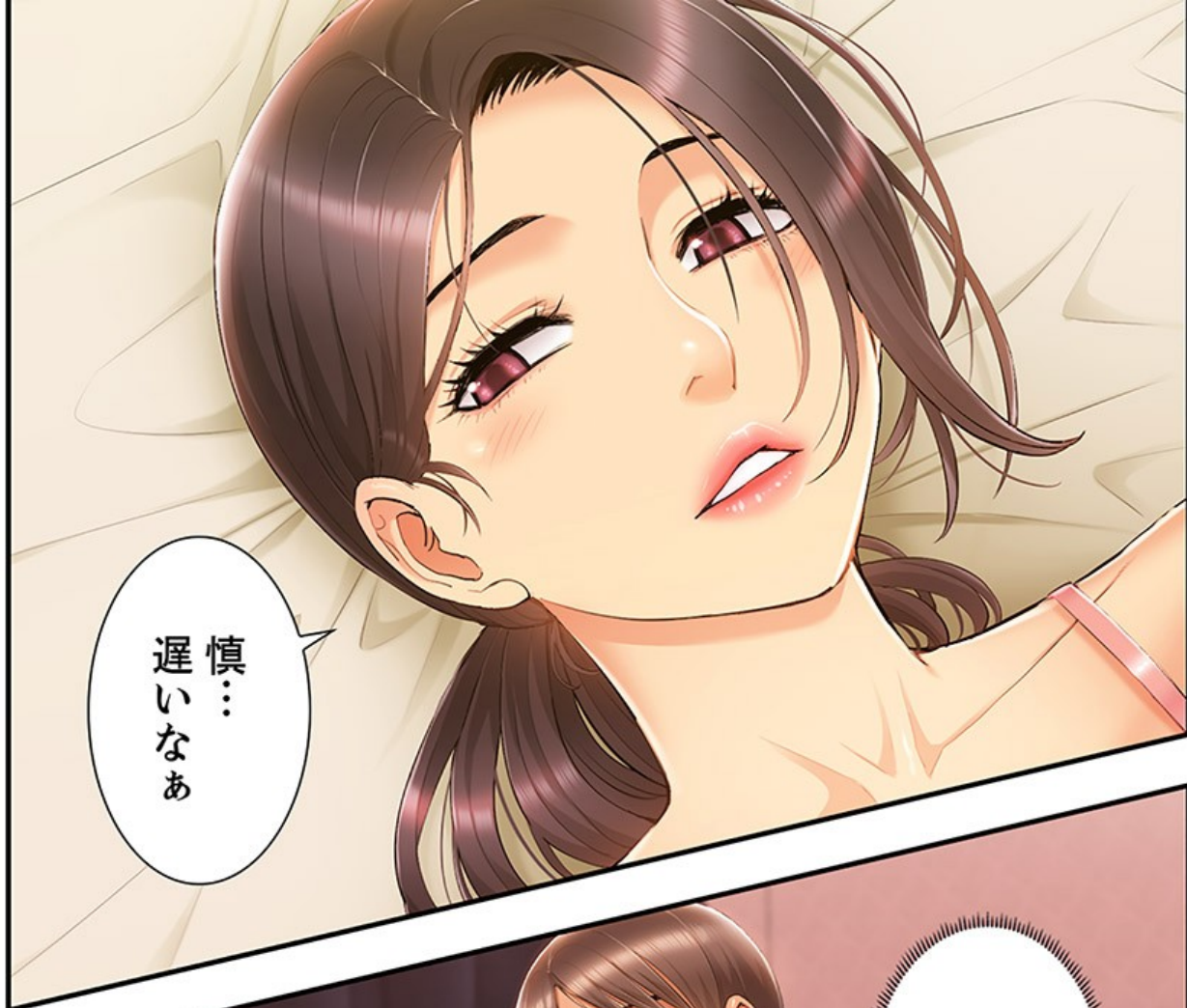


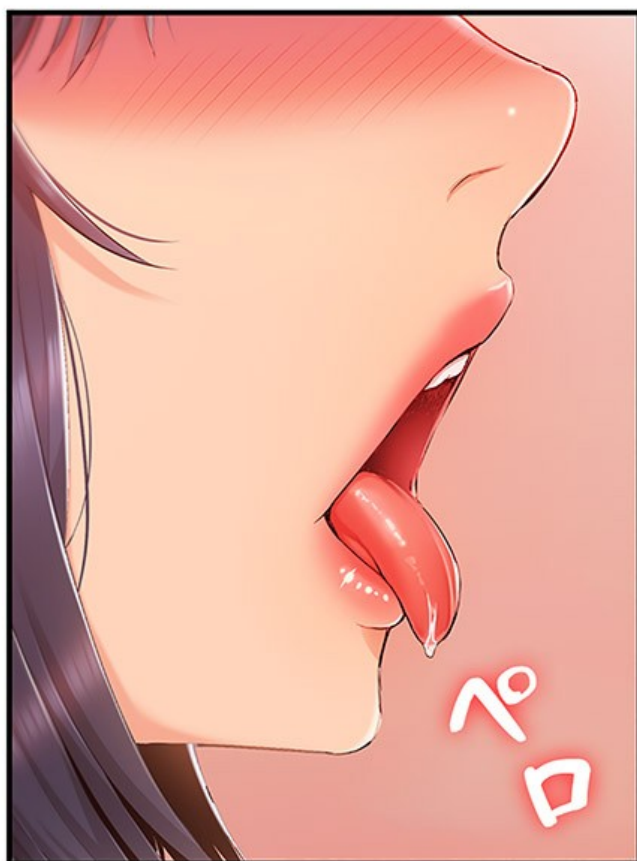














はぁ…慎…

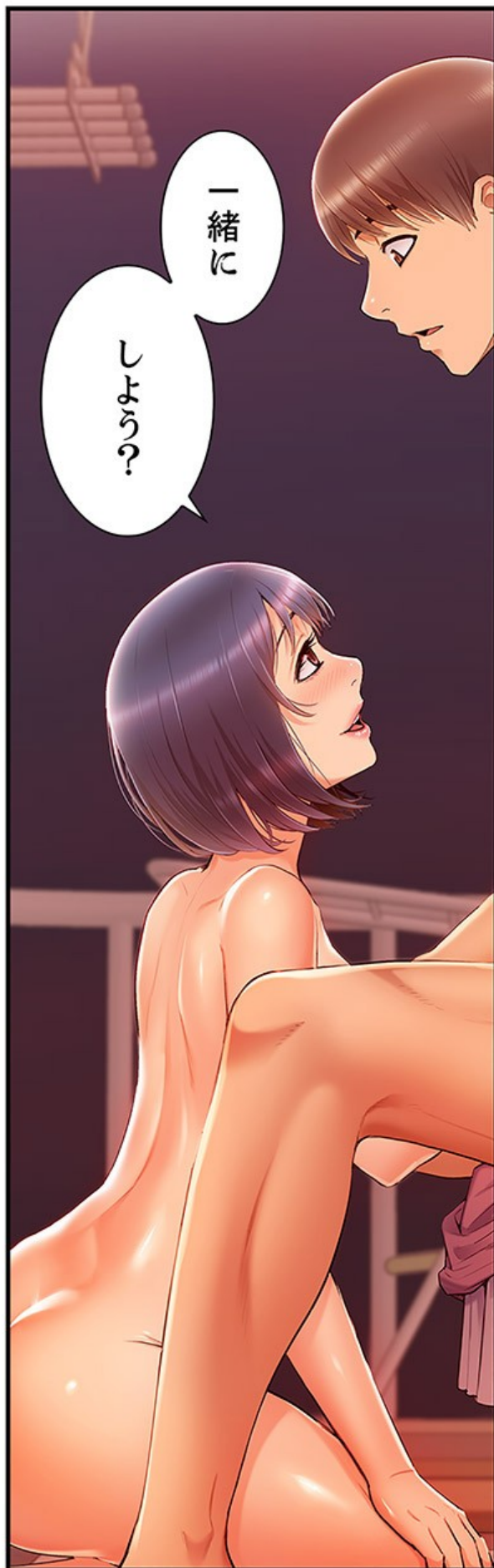
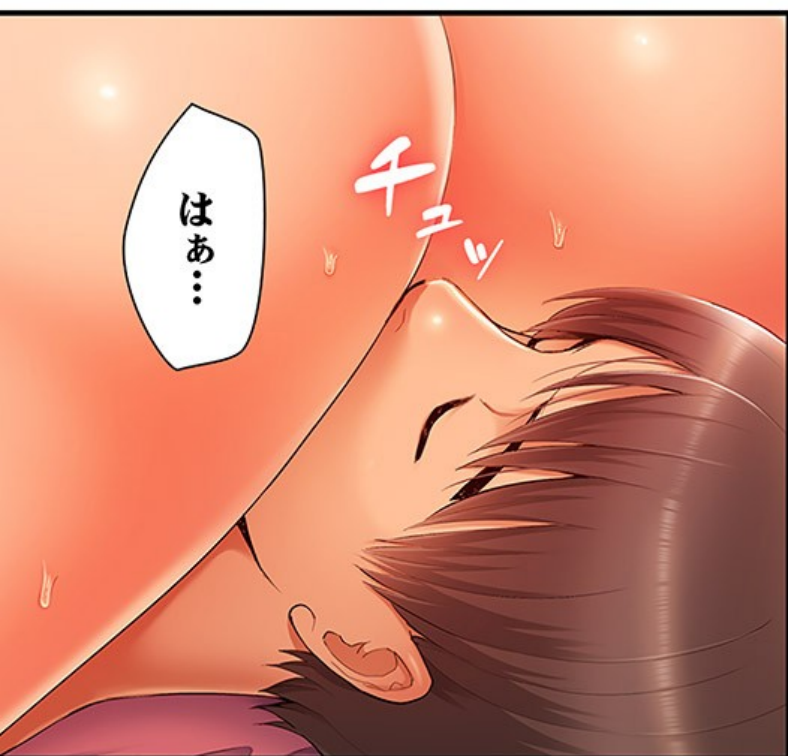


香奈美はいつも丁寧に
口でしてくれたな…

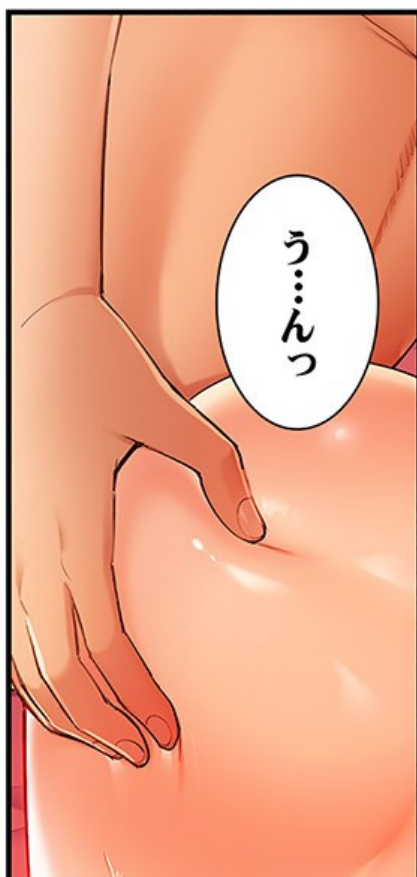


相変わらず
大きいね

ここ…













ああんっ!

一段と大きな
声をあげる

あああつ…!



あんっ!

はうっ!



そのまま後ろから
激しく突けば…

はあああつ!!





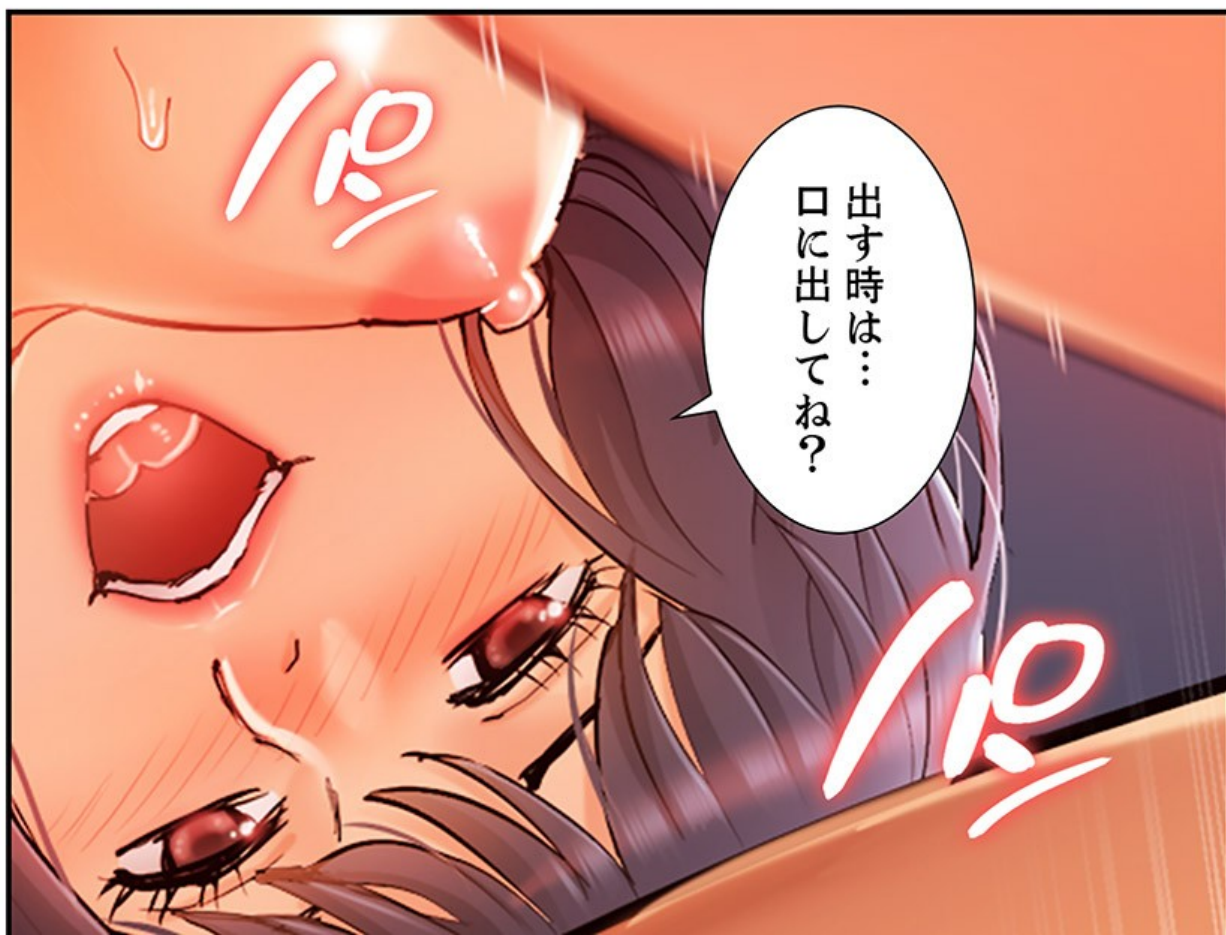
他のどの男より

慎とエッチするのが
何倍も気持ちいいの！









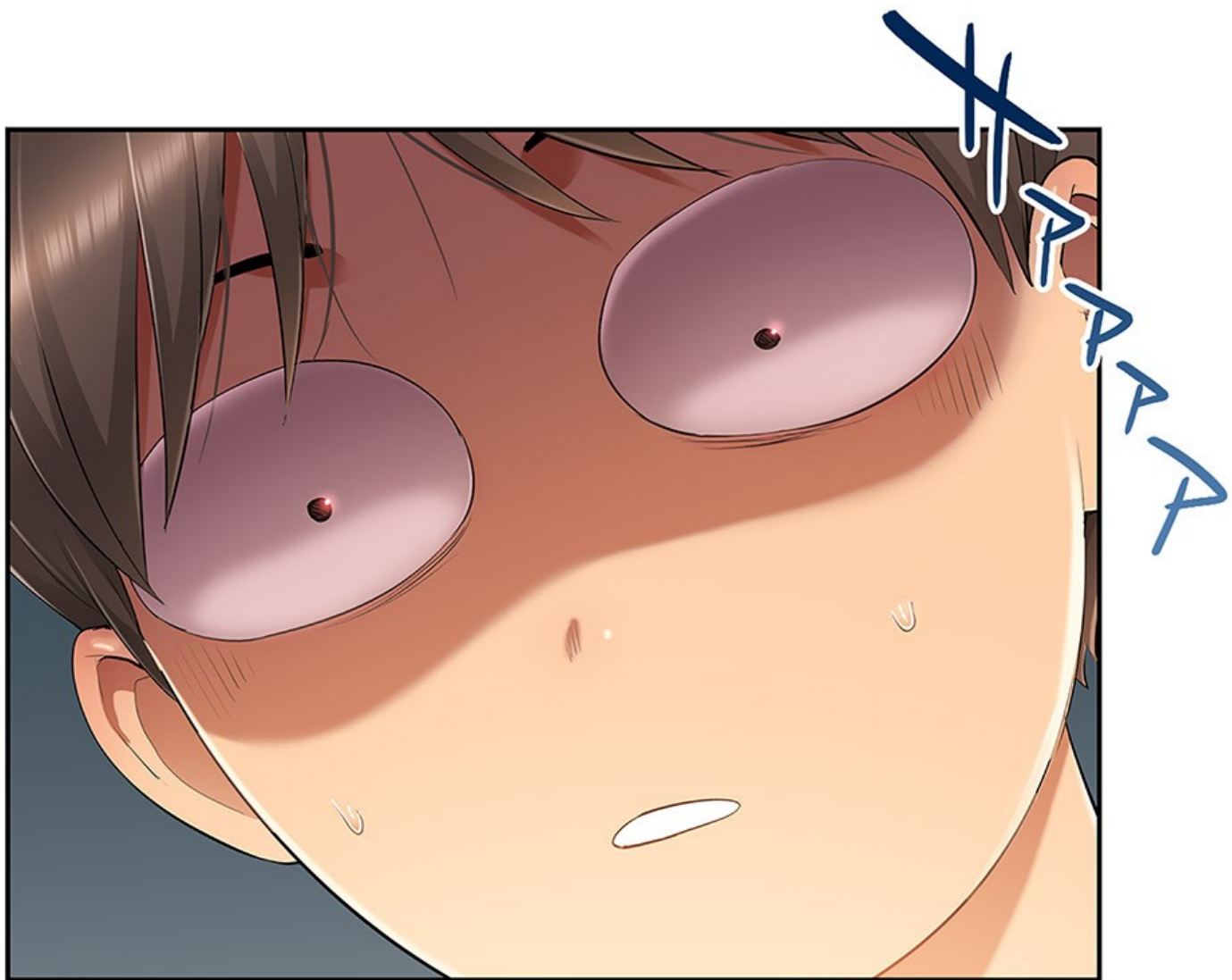










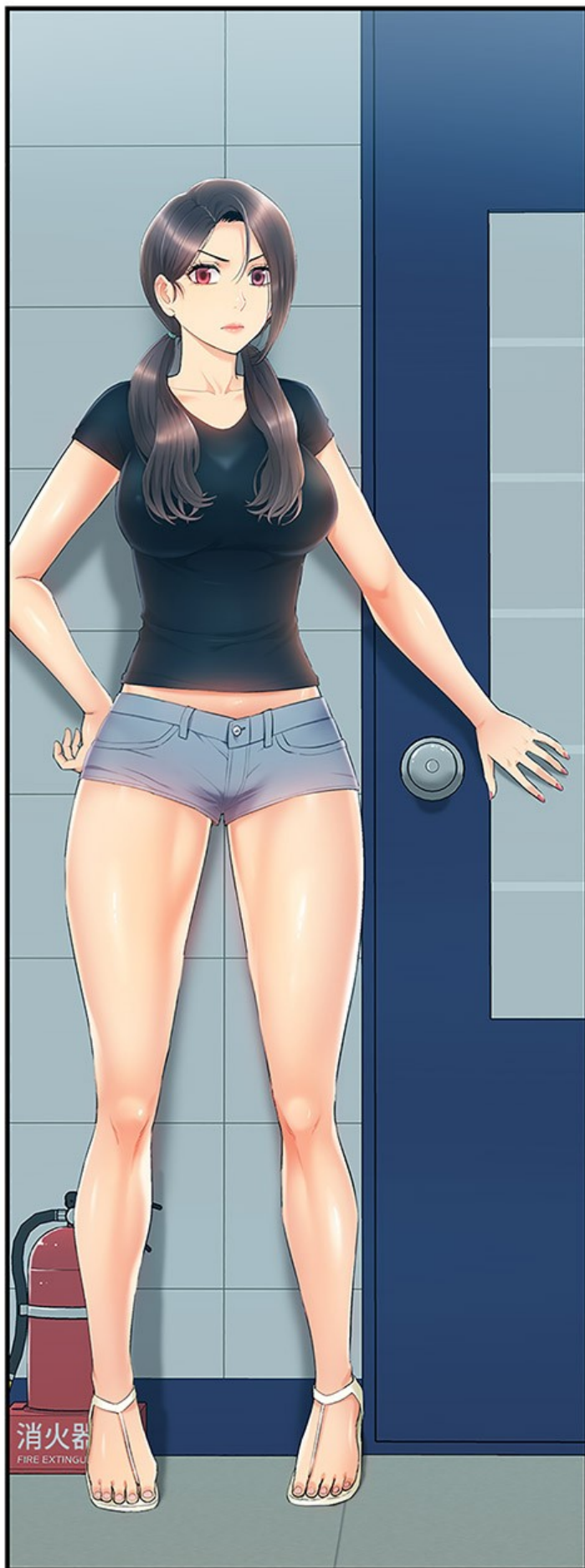


早番だから
先に行くね！
昨日はありがとう
また連絡するね！

香奈美 ♡











昨日はその…
暫く会ってなかった
友達と飲みに行つて

なかなか話が
尽きなくてさ



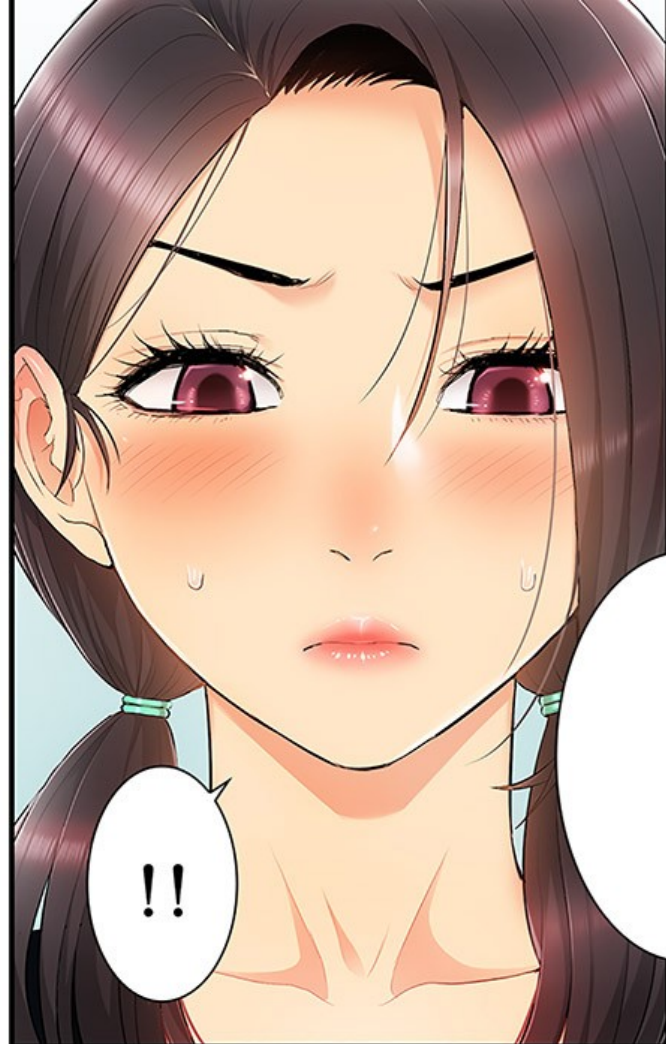
お…

女？



本当に？

電話してる時の感じじゃ
そんな風には
見えなかったけど…



!!

彼女でもないのに…



莉奈は
知らなくて
いいってば

誰と何してたか
一々報告する
必要あるのか？



あっ…

お母さんも
私も心配したんだよ!?

連絡ぐらい
出来るじゃん!



分かったよ
ごめんな

私もすごく
心配したの!!



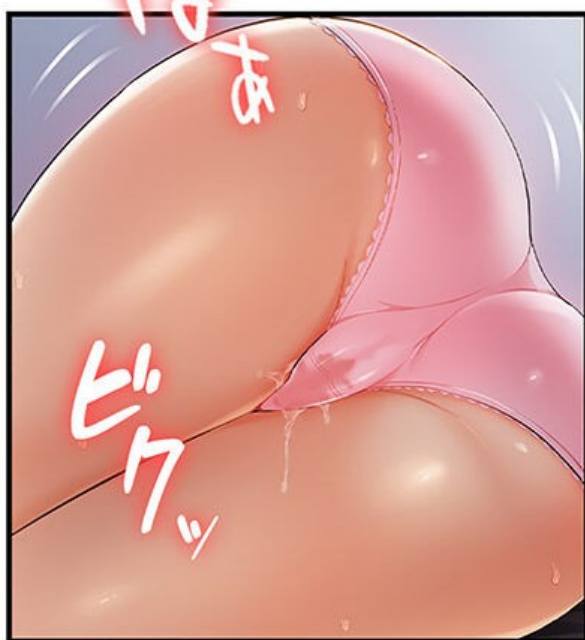
涼子さんにも
心配かけちゃったか…

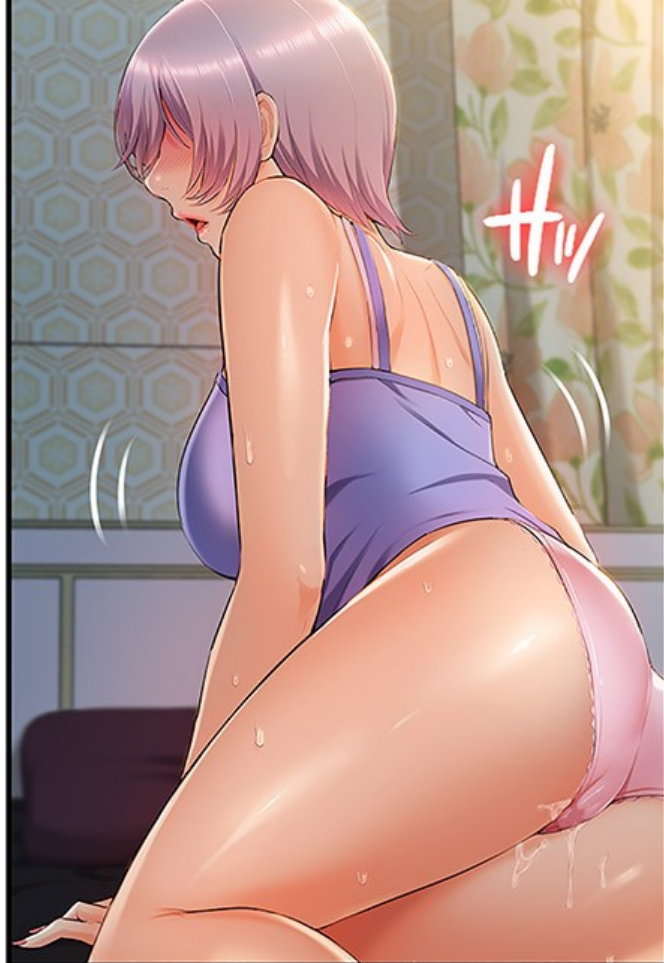
それは
悪い事したな…



ぶっ
お母さんより
心配して
たのに…
ぶっ

涼子さんにちゃんと
謝らないとな…







軽く運動して

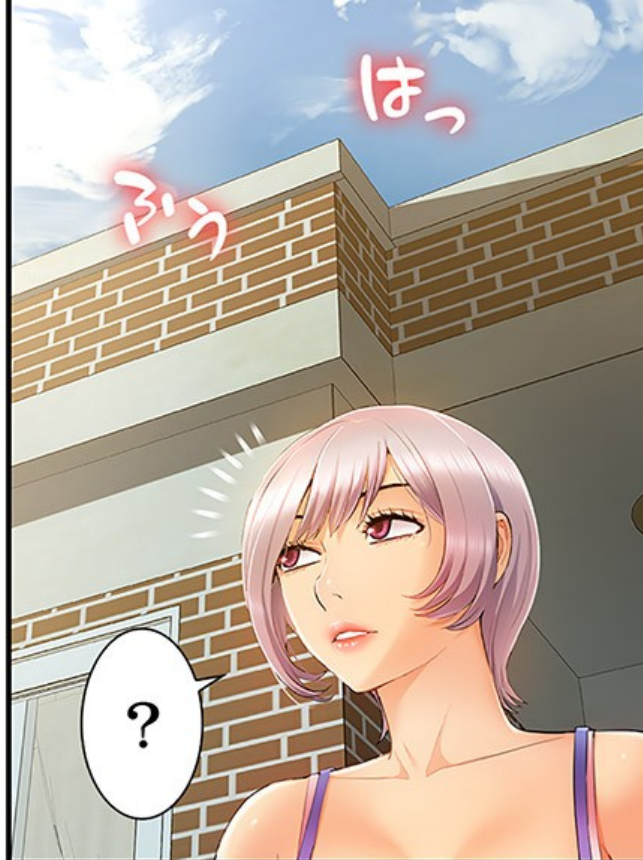
火照った身体を
冷まさないと…

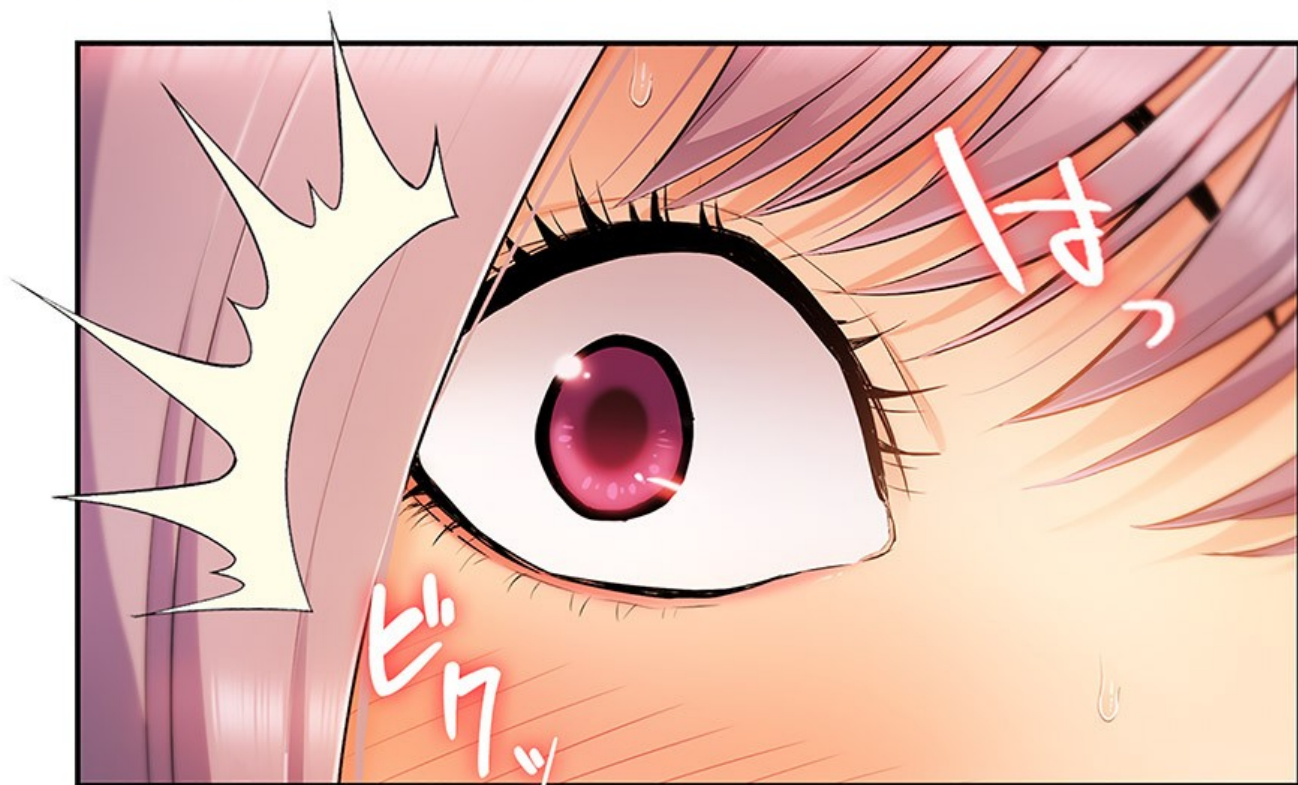


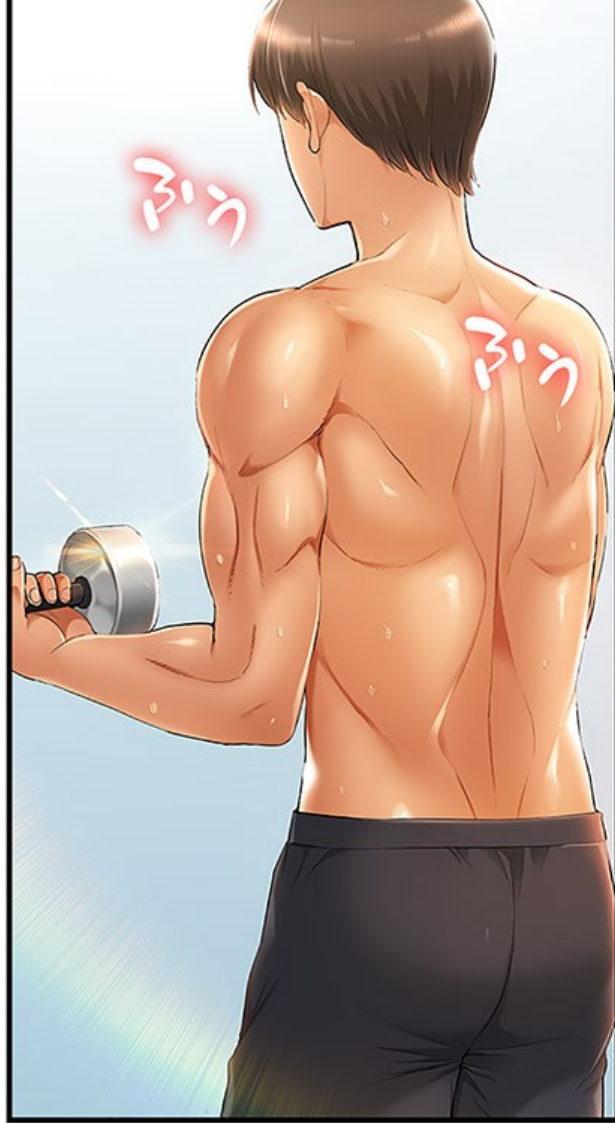
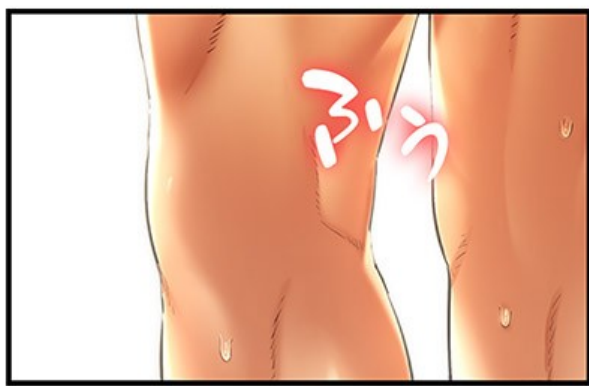
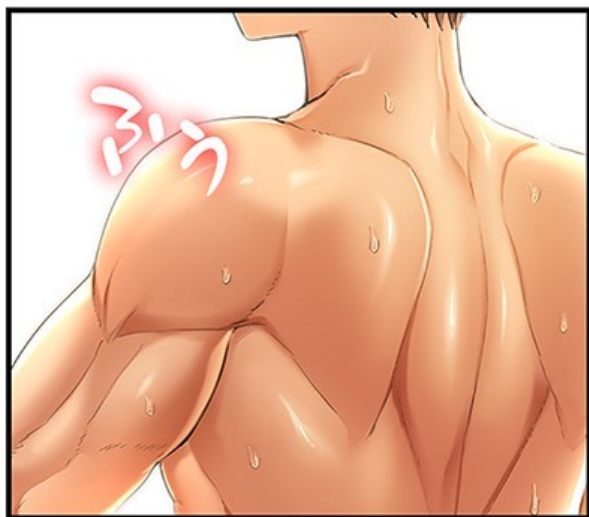
あまり
寝てないの…

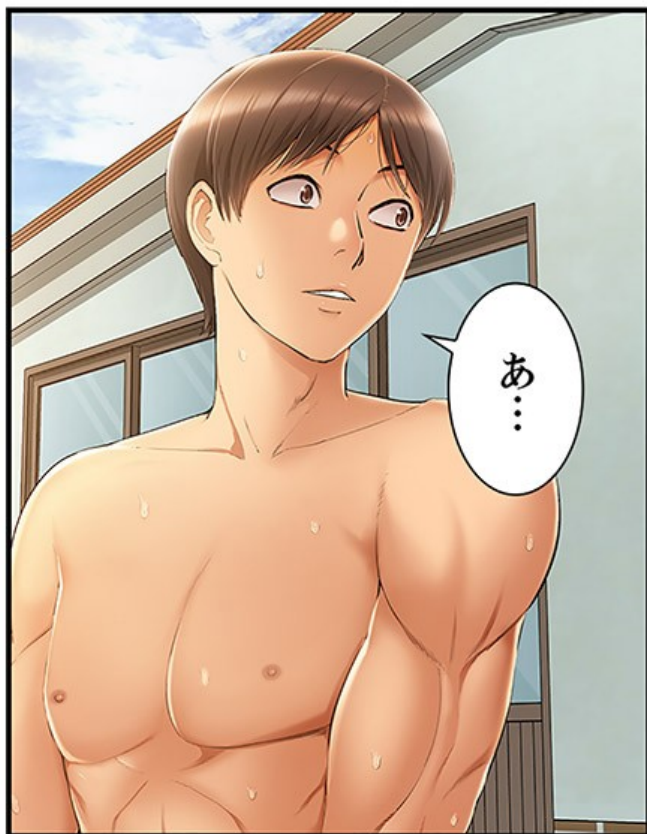
眠れそうに
ないし…

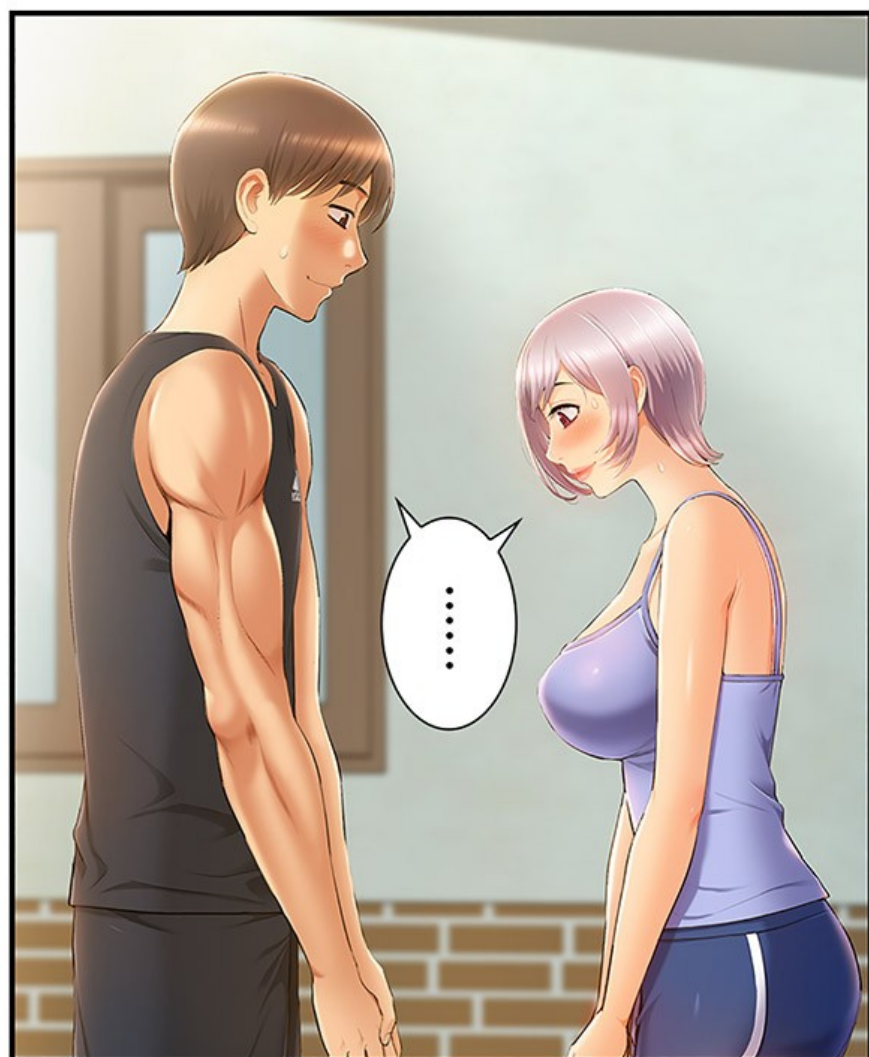
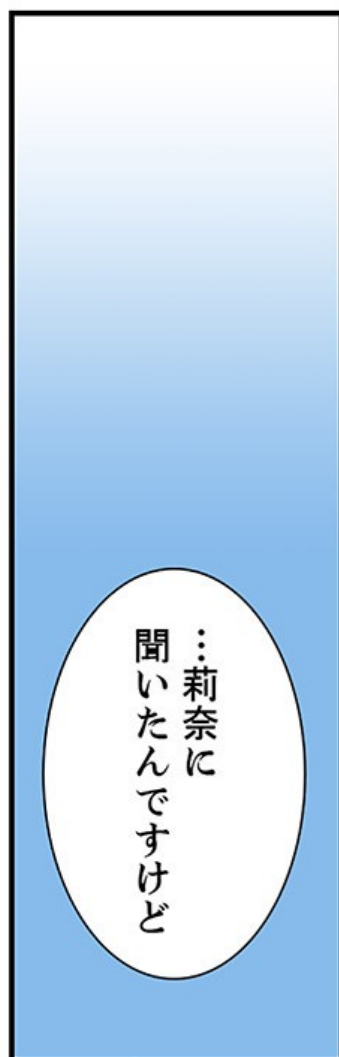














ちゃんと連絡
するべきでしたね
次は気を付けます



この前の日曜…
心配かけちゃって
すみませんでした

!



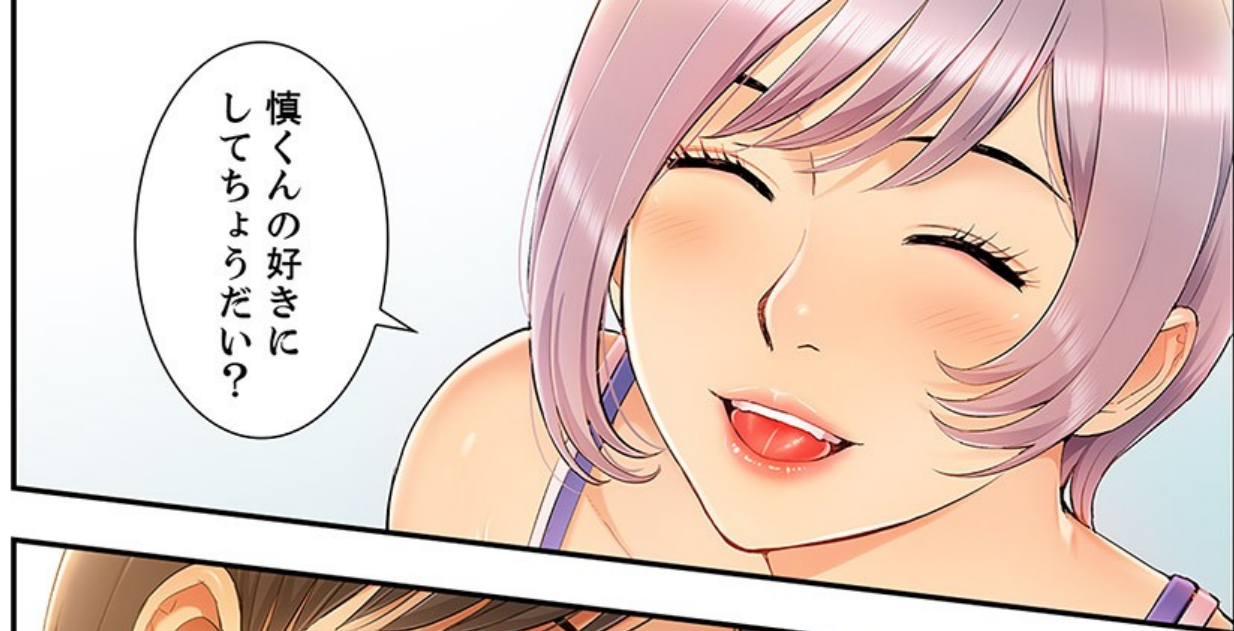
私達が勝手に
心配しただけよ

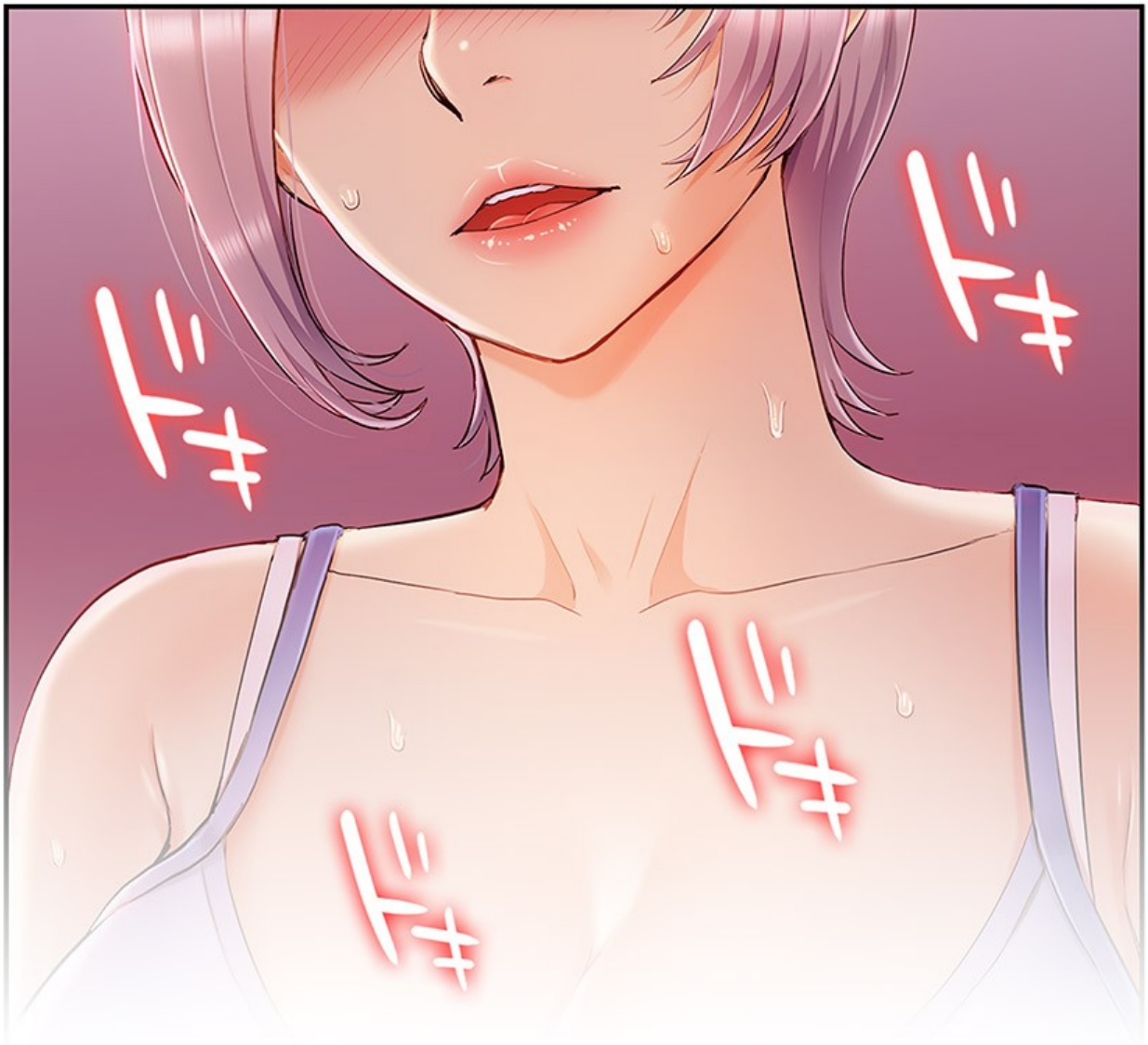
あまり
気にしないで

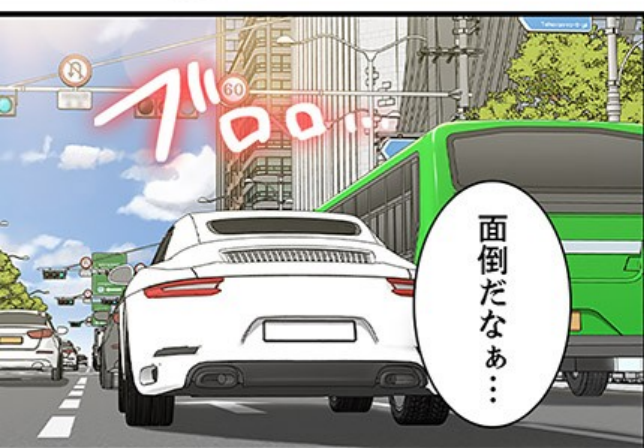
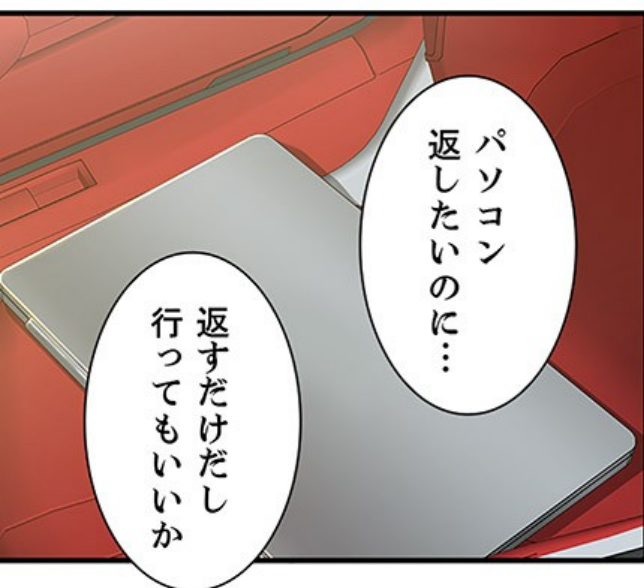
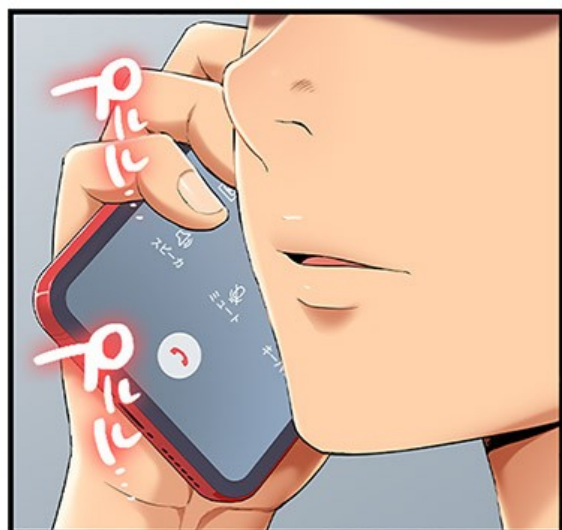


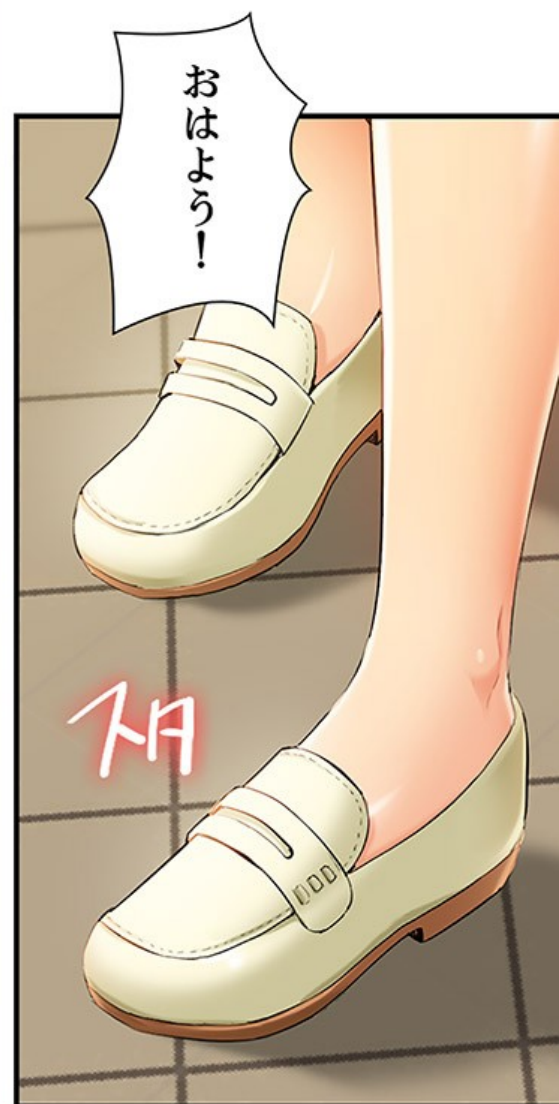
大丈夫よ

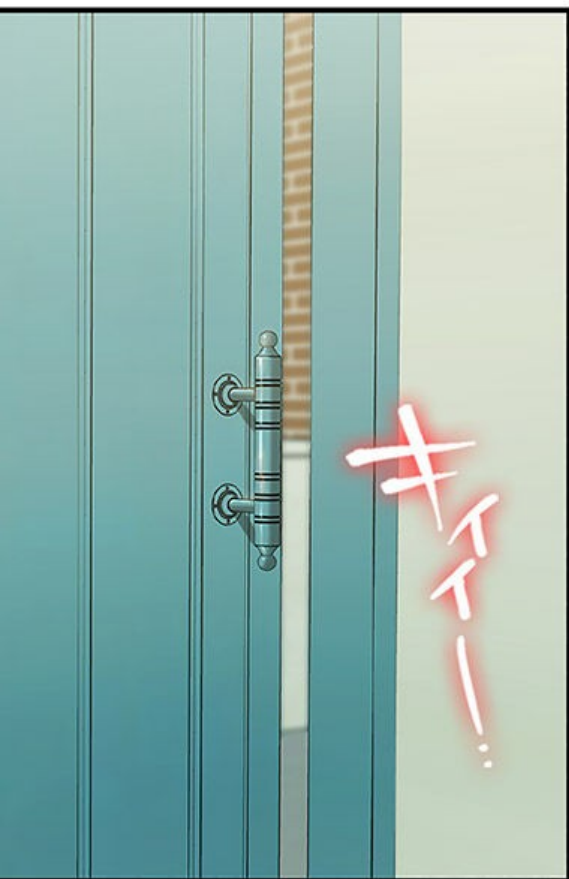
慎くんが私達に
連絡する義務は
ないんだもの

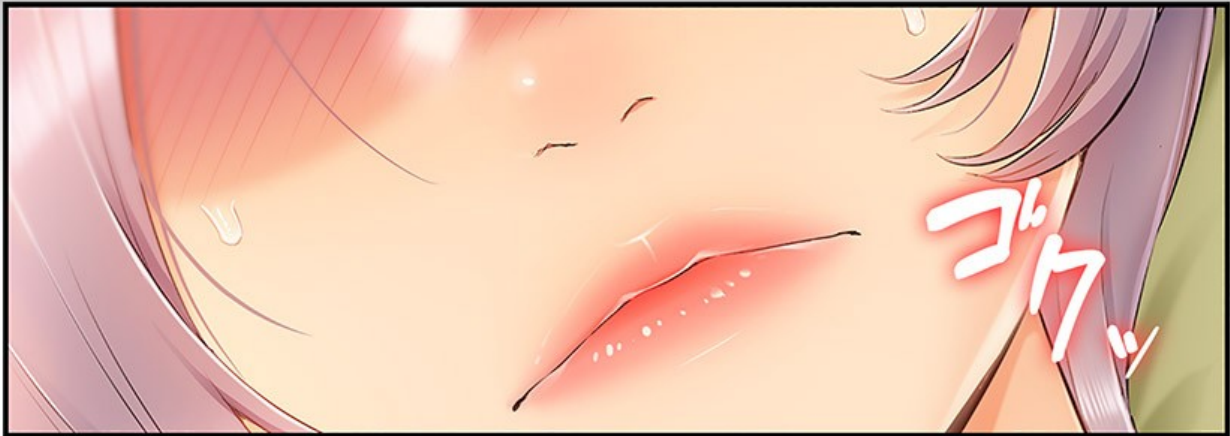
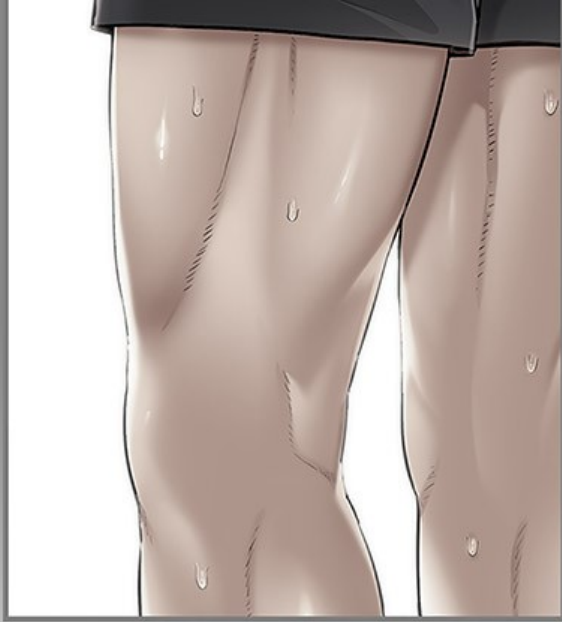












慎くんの事
考えながら

こんな事
するなんて…

ちゅく

ちゅく

あぁっ！
慎くん…！

涼子さん…

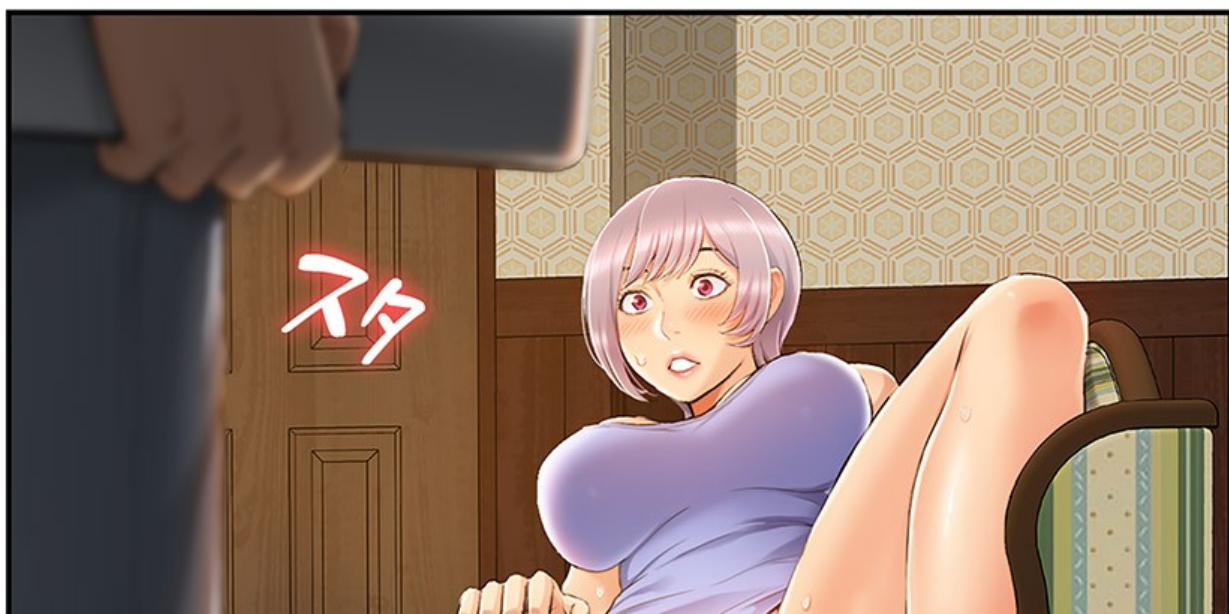
くっ！

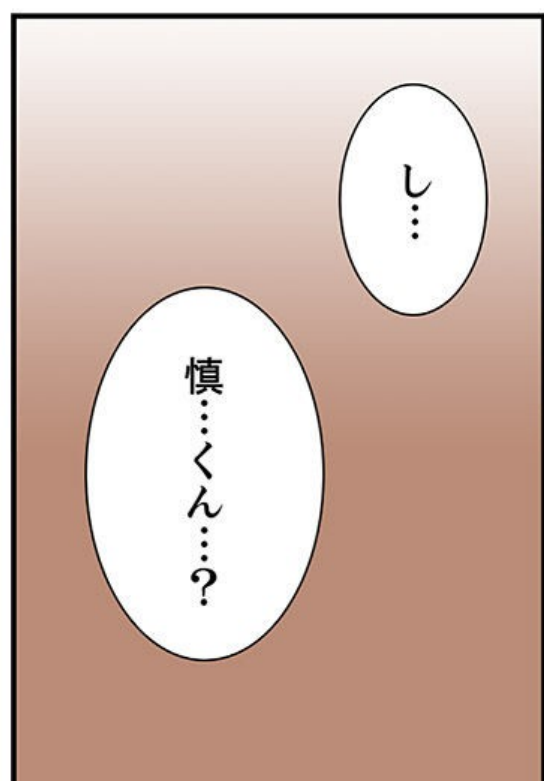
っ

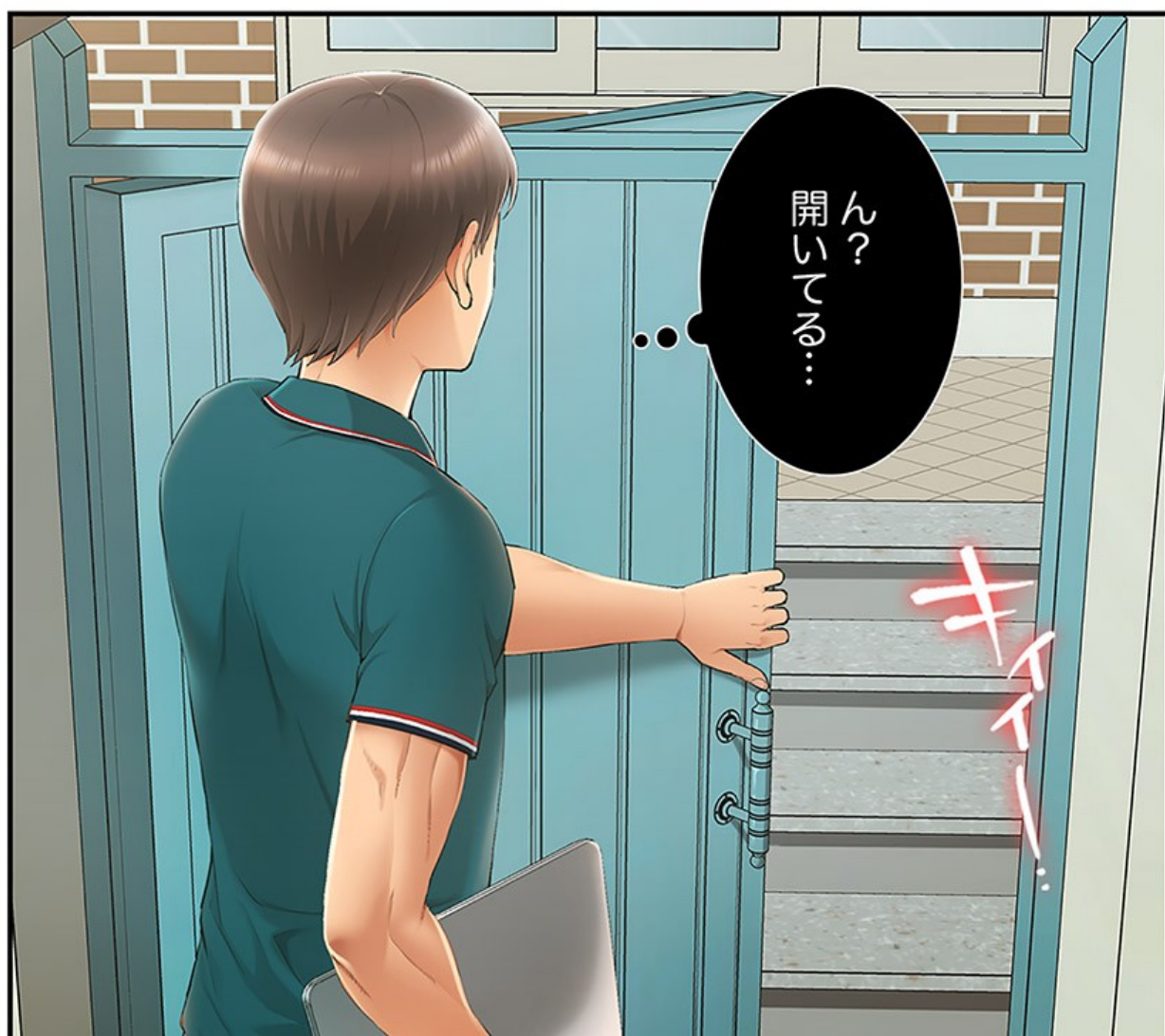
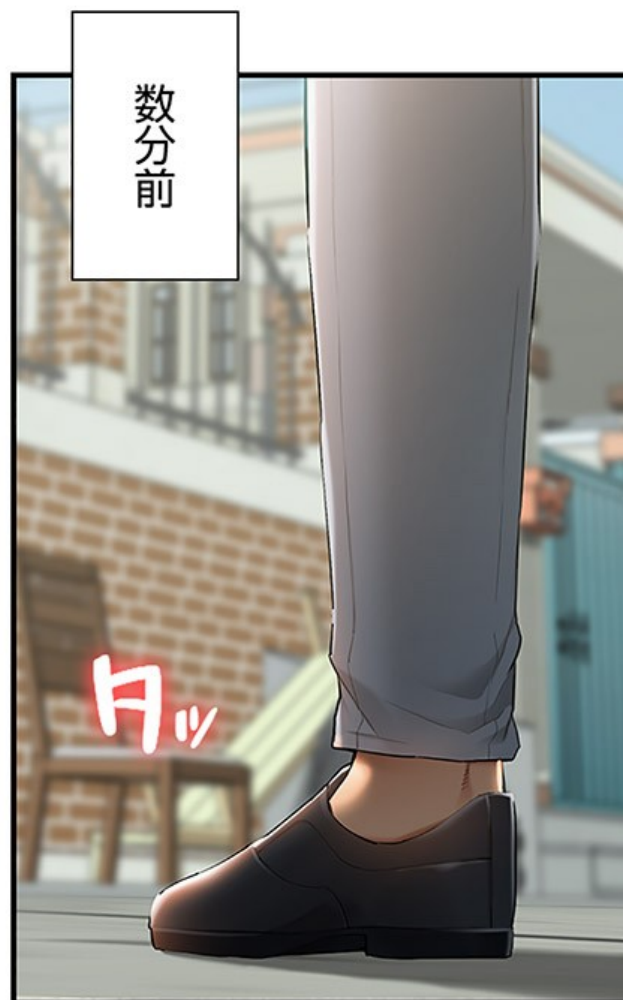
っ





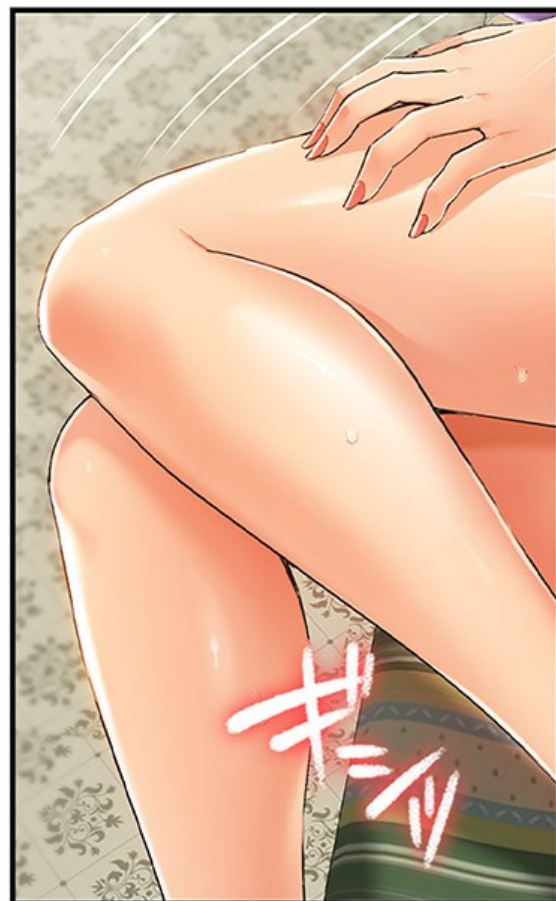












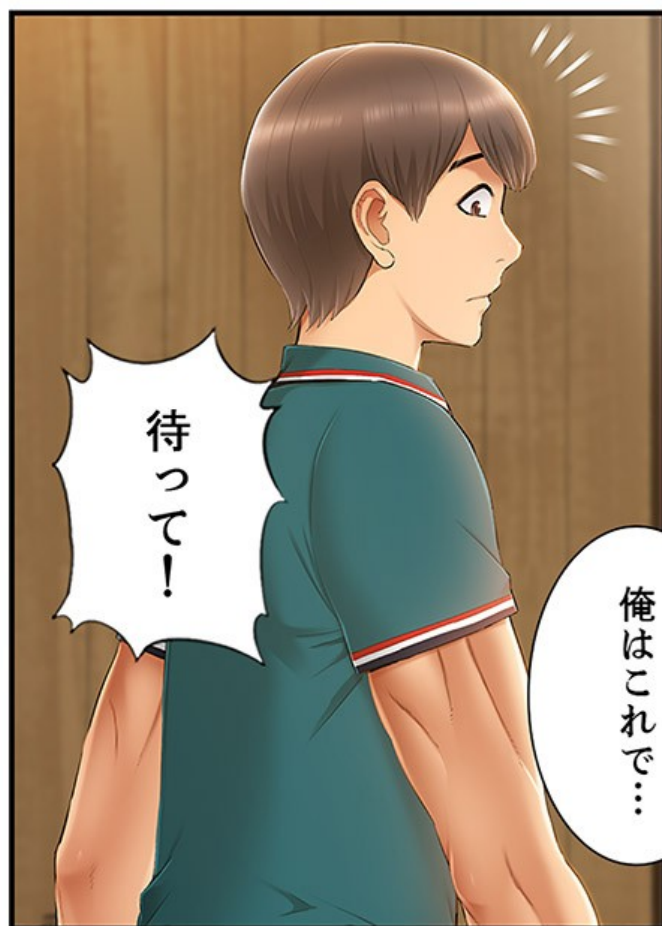


この女…
どうして鍵もかけずに
リビングでこんな事…!



何だ?
この状況は…

痛っ
た……



待って!

俺はこれで…



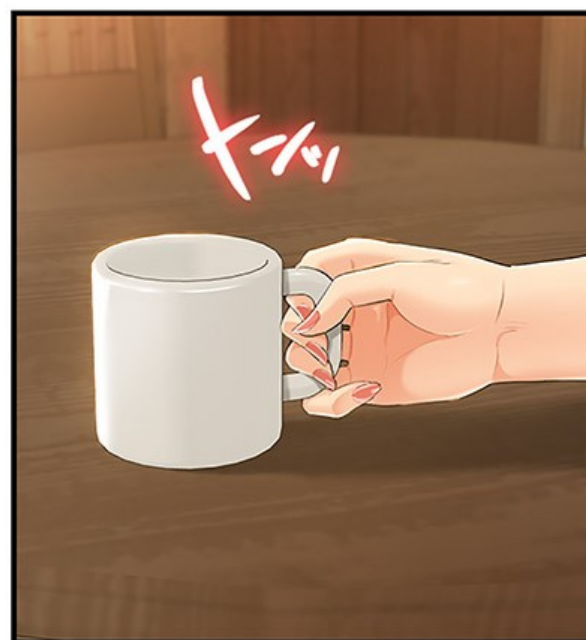
ええと…すみません
邪魔しちゃって…

スッ



わ…私の話を

聞いて…？





ていうか…この女
凄いおっぱいじゃん



大家か？
それにしちゃ
若いかな

俺とそんなに
歳も変わらなそうだし



こんな姿を
見せてしまつて

本当に
ごめんなさい



俺を兄さんと
勘違いしてるな？
さっきから慎って
呼んでるし







え？
莉奈って
娘なのか？

しかも
18年って…

男性との
出会いも無くて



ありがとう

慎くんも
知ってる通り

18年間
夢中で莉奈を
育ててたから



た…たまに
我慢出来なく
なった時に…ね？

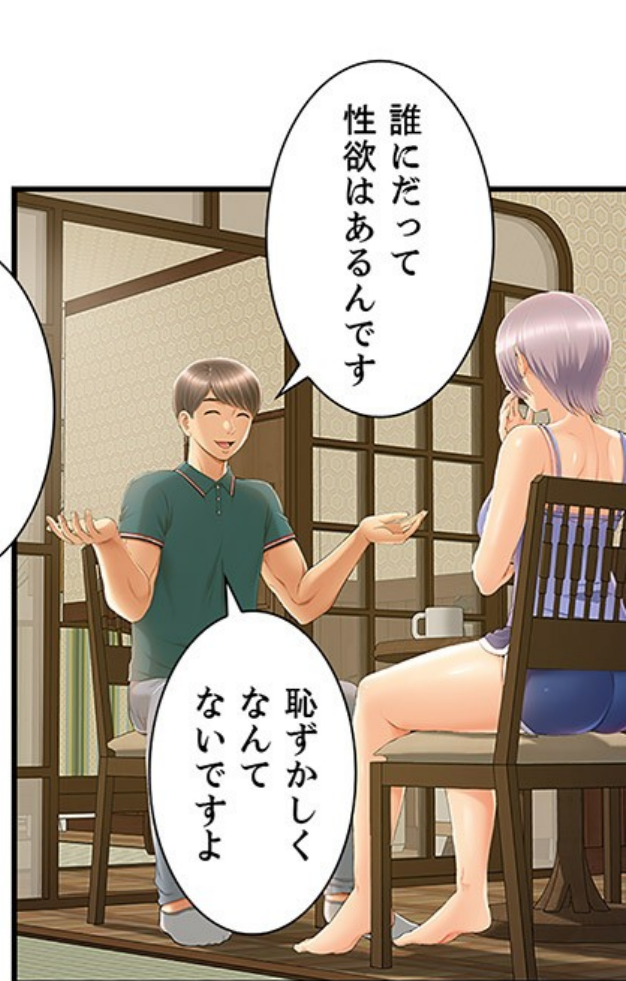
そんなに
しょっちゅうじゃ
ないのよ？





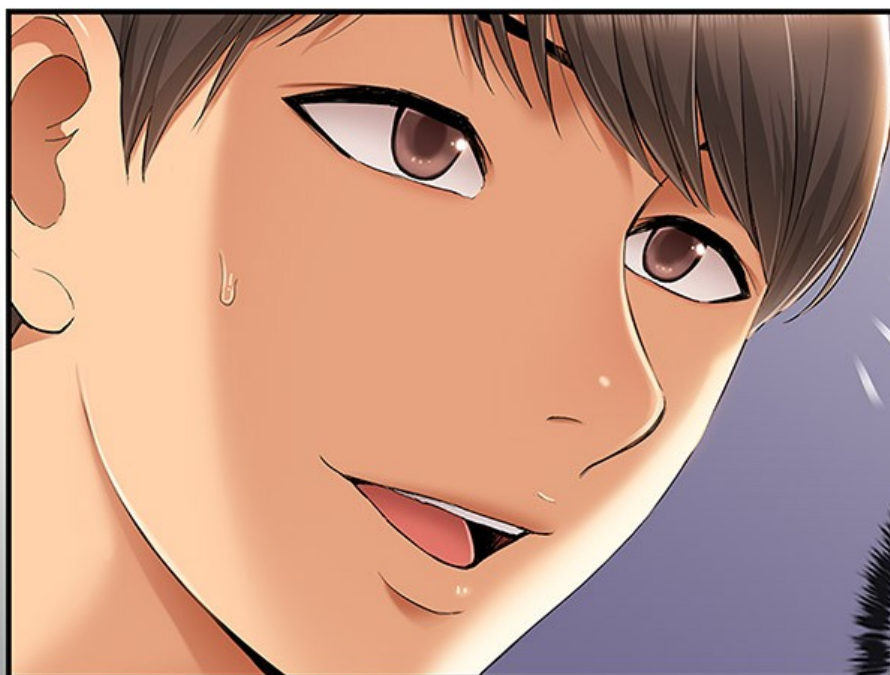
ありがとう…

…慎くんも
寂しい思いをしてたのね



誰にだって
性欲はあるんです

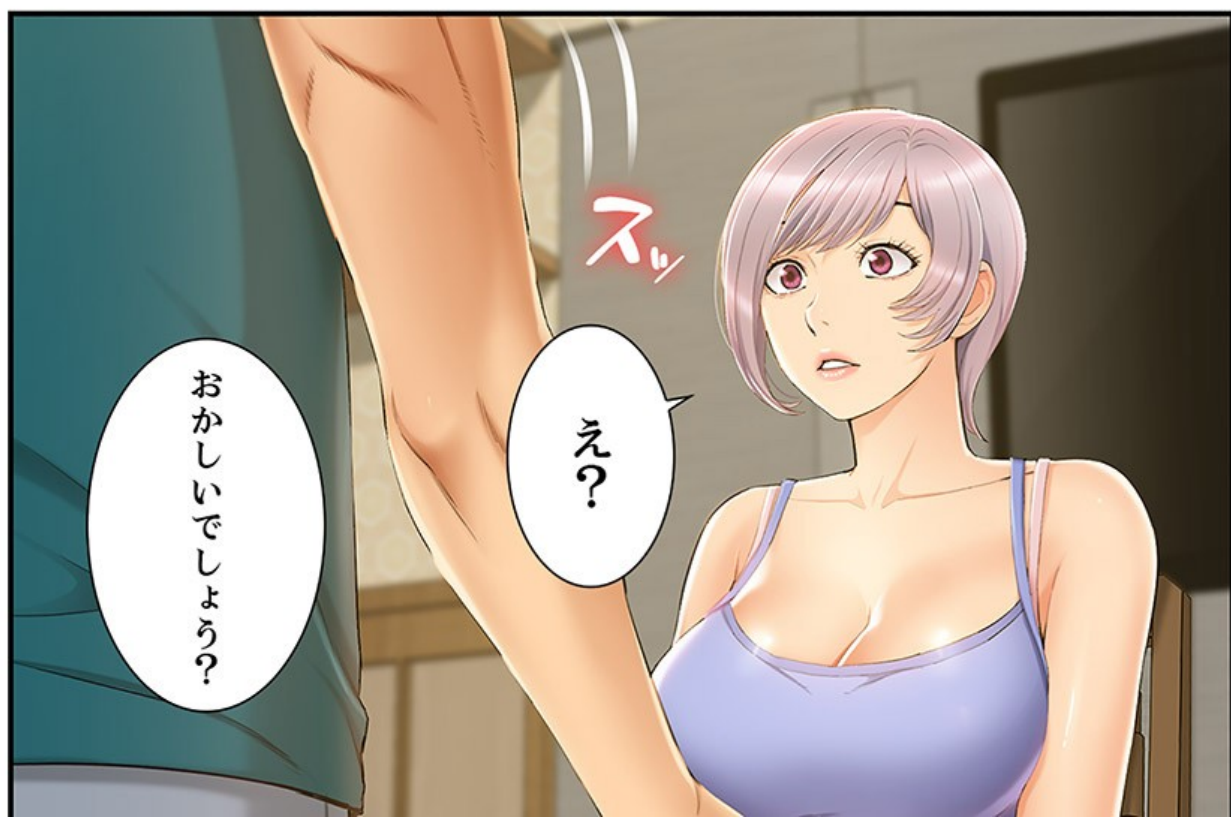
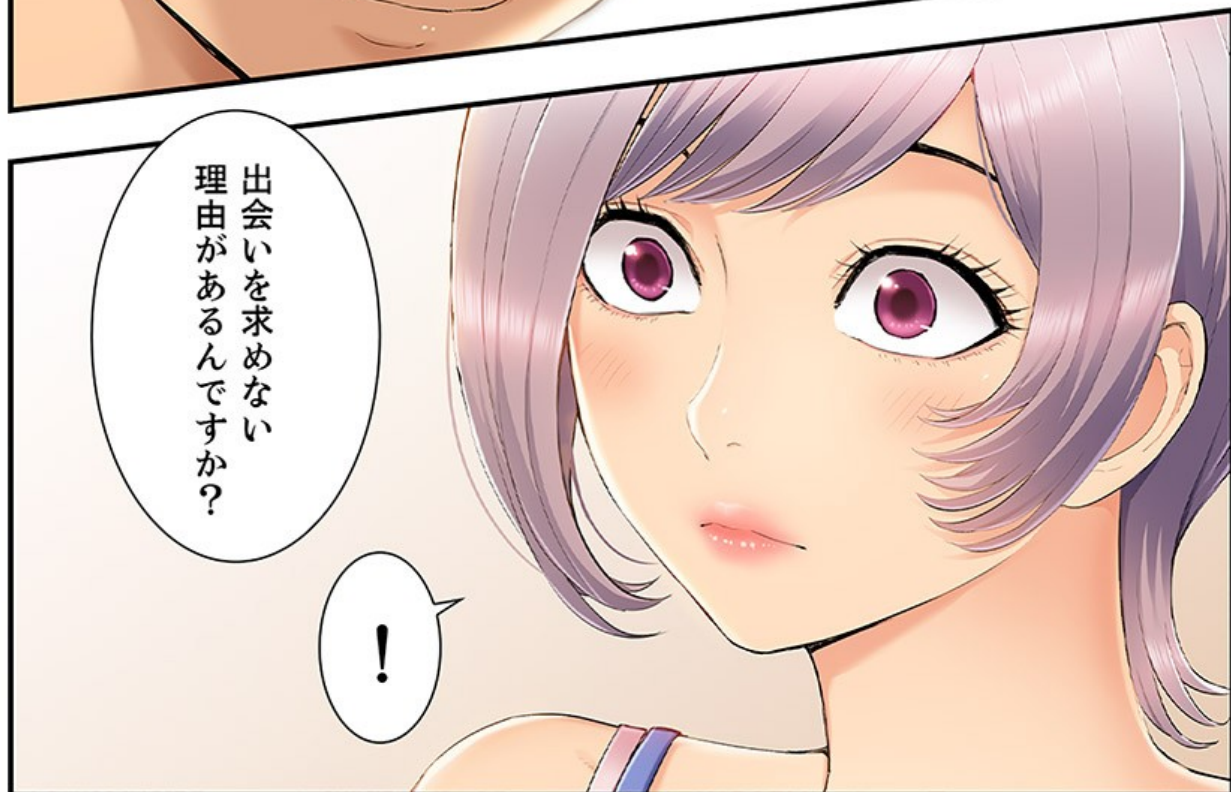
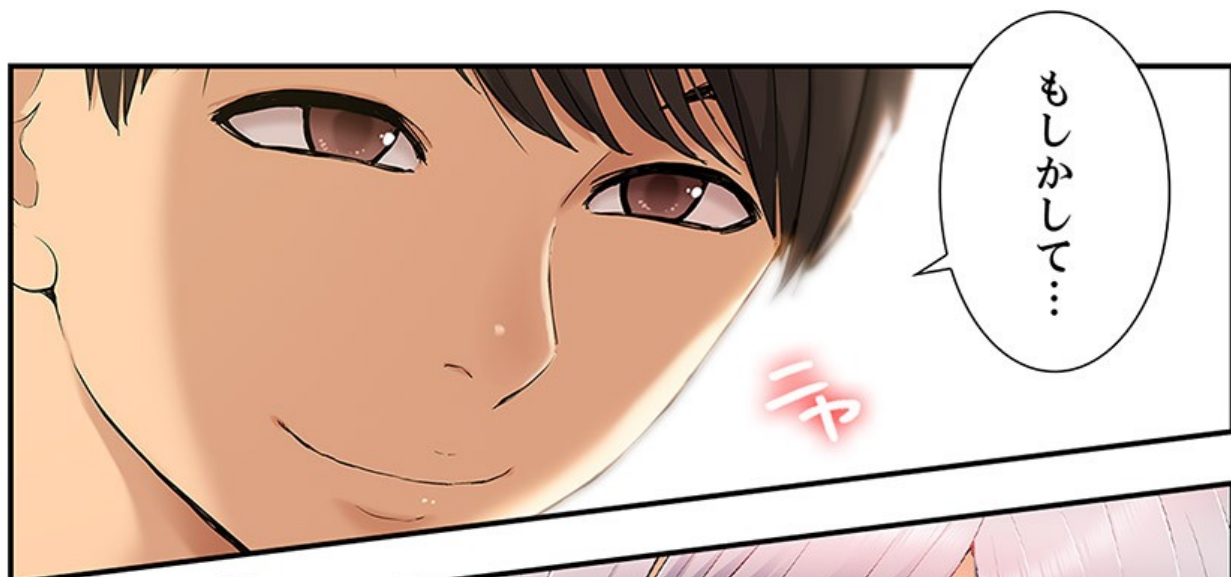
恥ずかしく
なんて
ないですよ



ええまあ…

あれ？
何か雰囲気か…

この女…
まさか兄さんを？



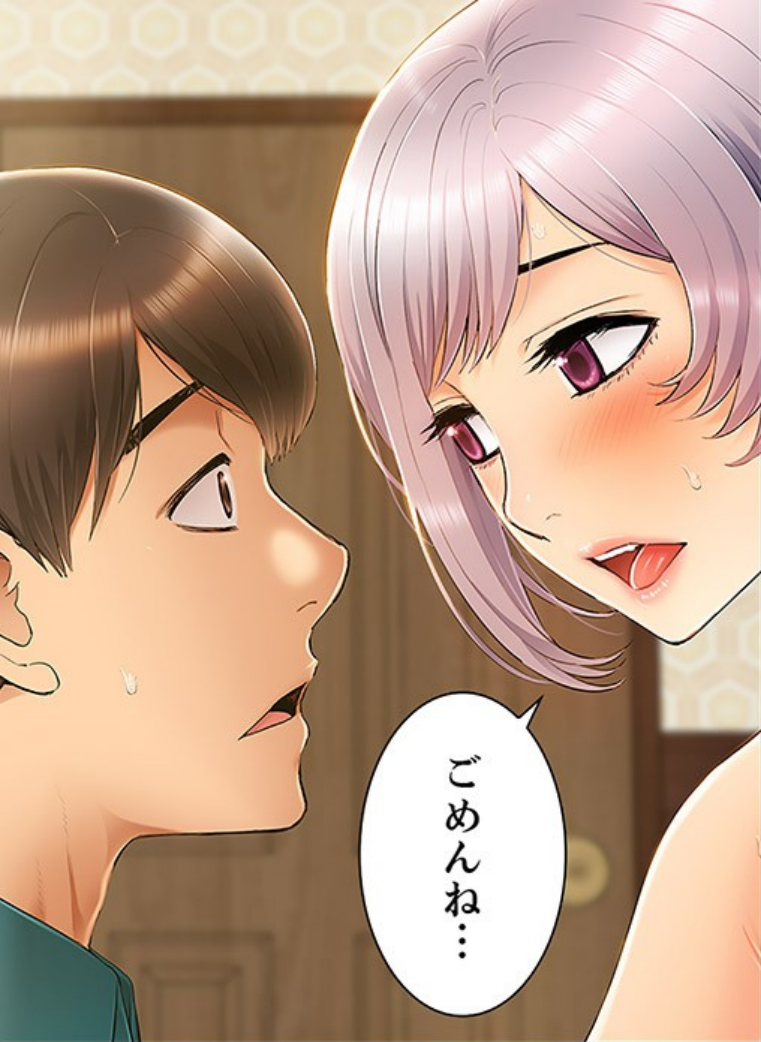


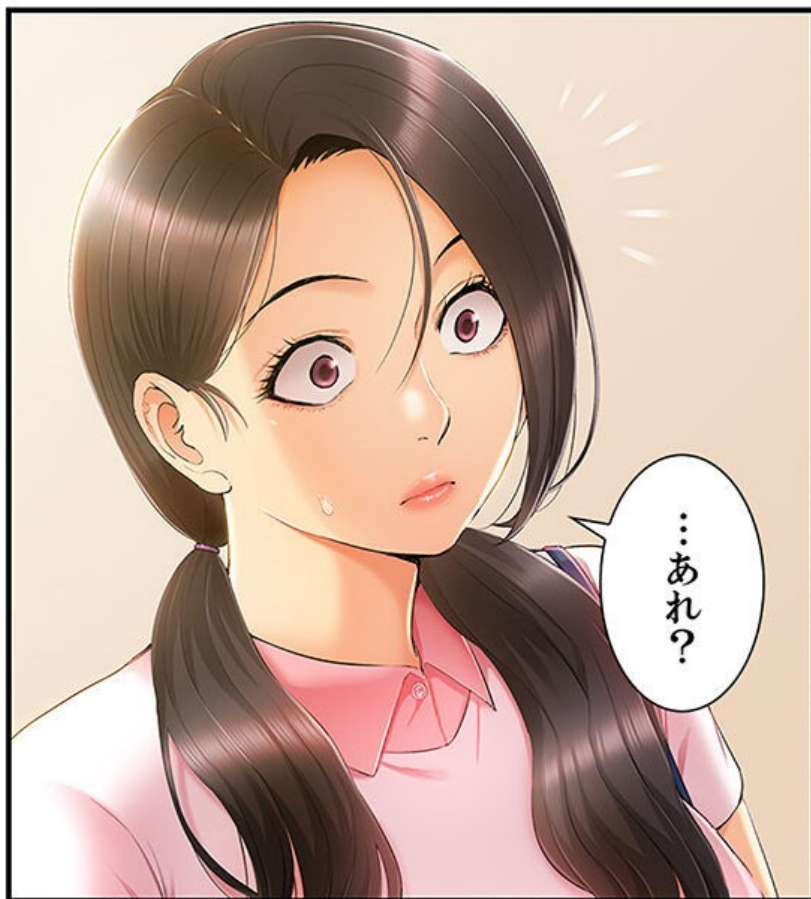




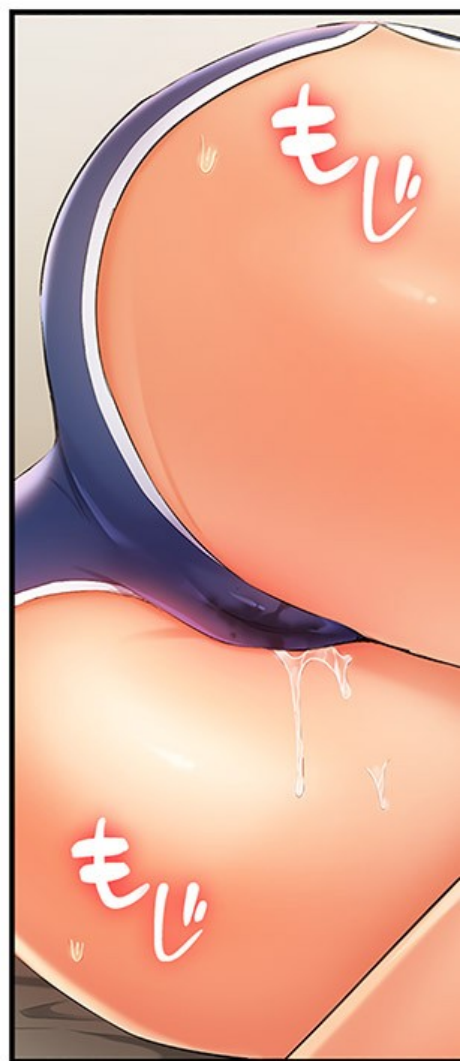


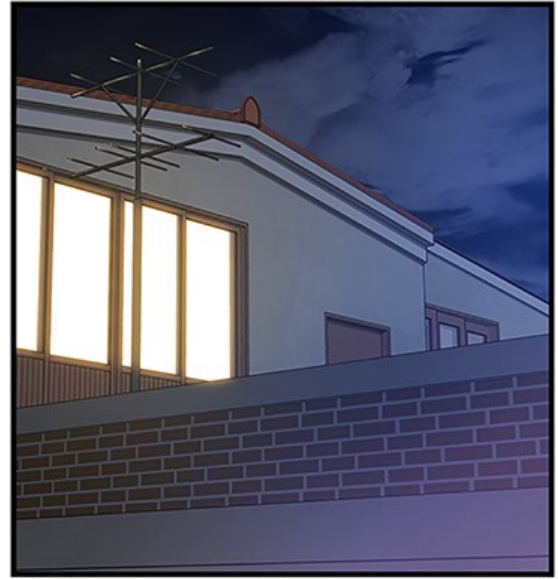








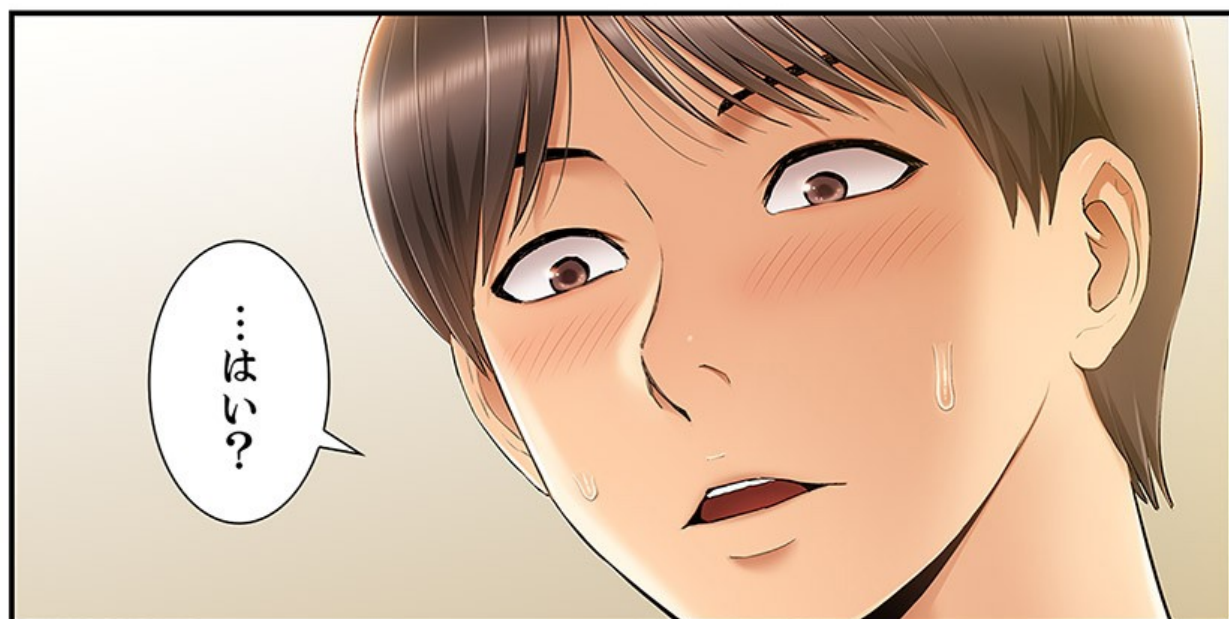






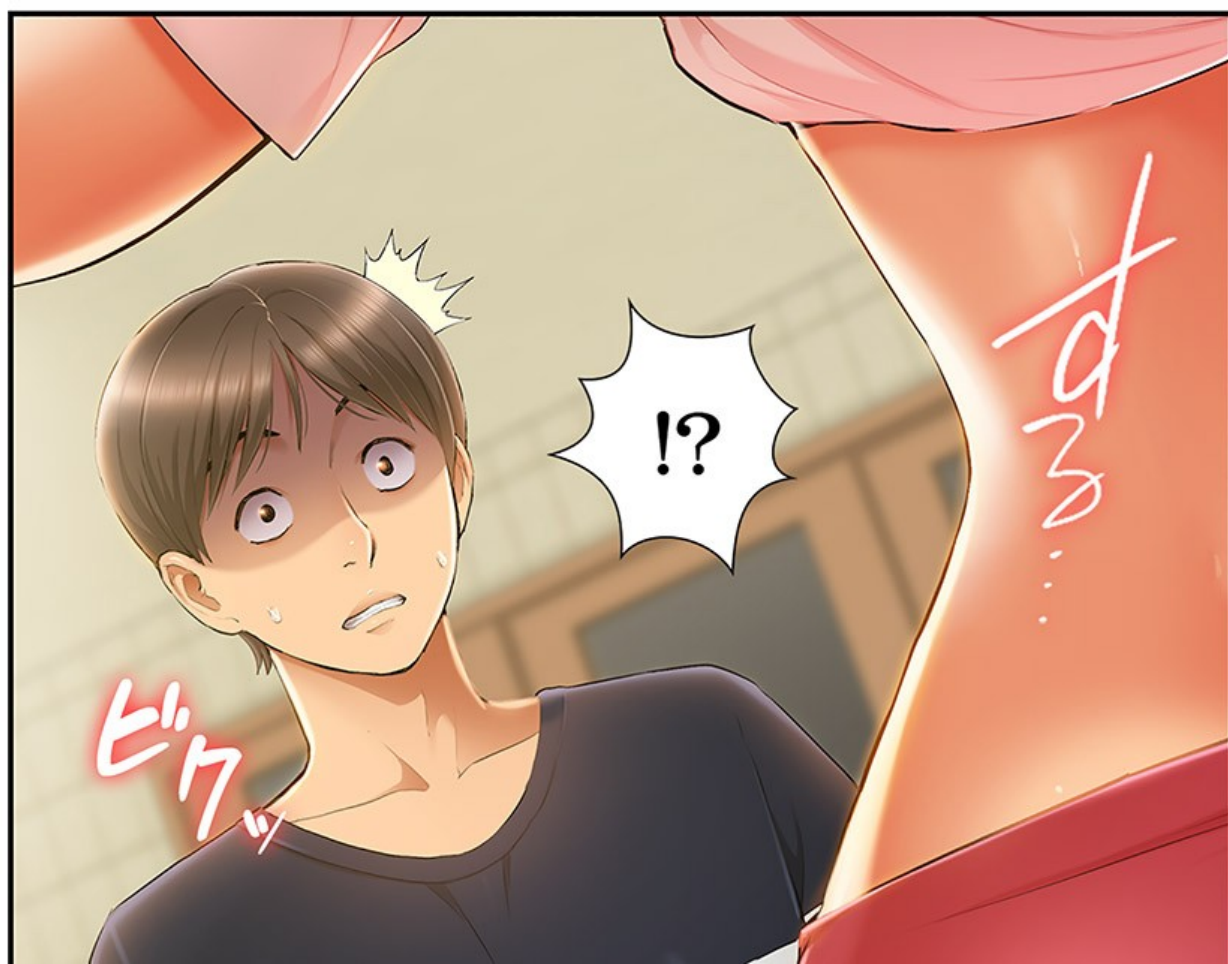














下着は…

着けずに…





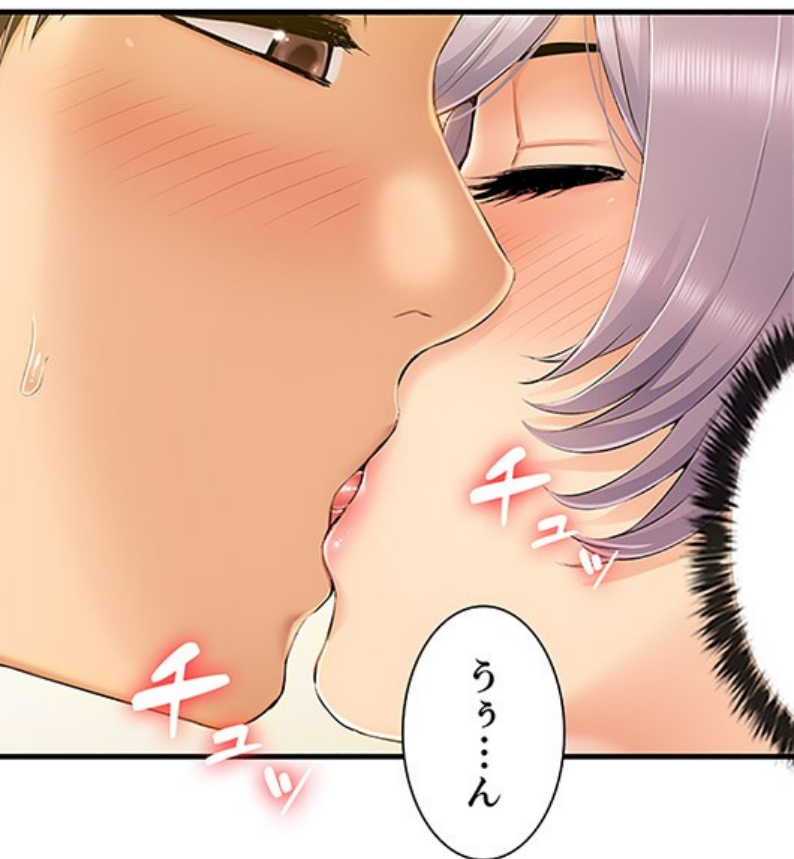
んう…！

チュッ



慎くんだって

寂しいんでしょ？



うう…ん

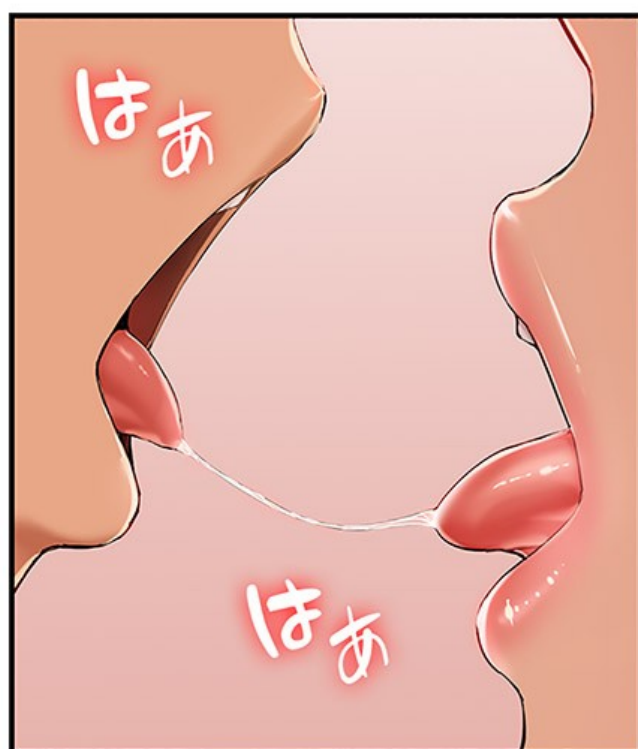
チュッ

チュッ



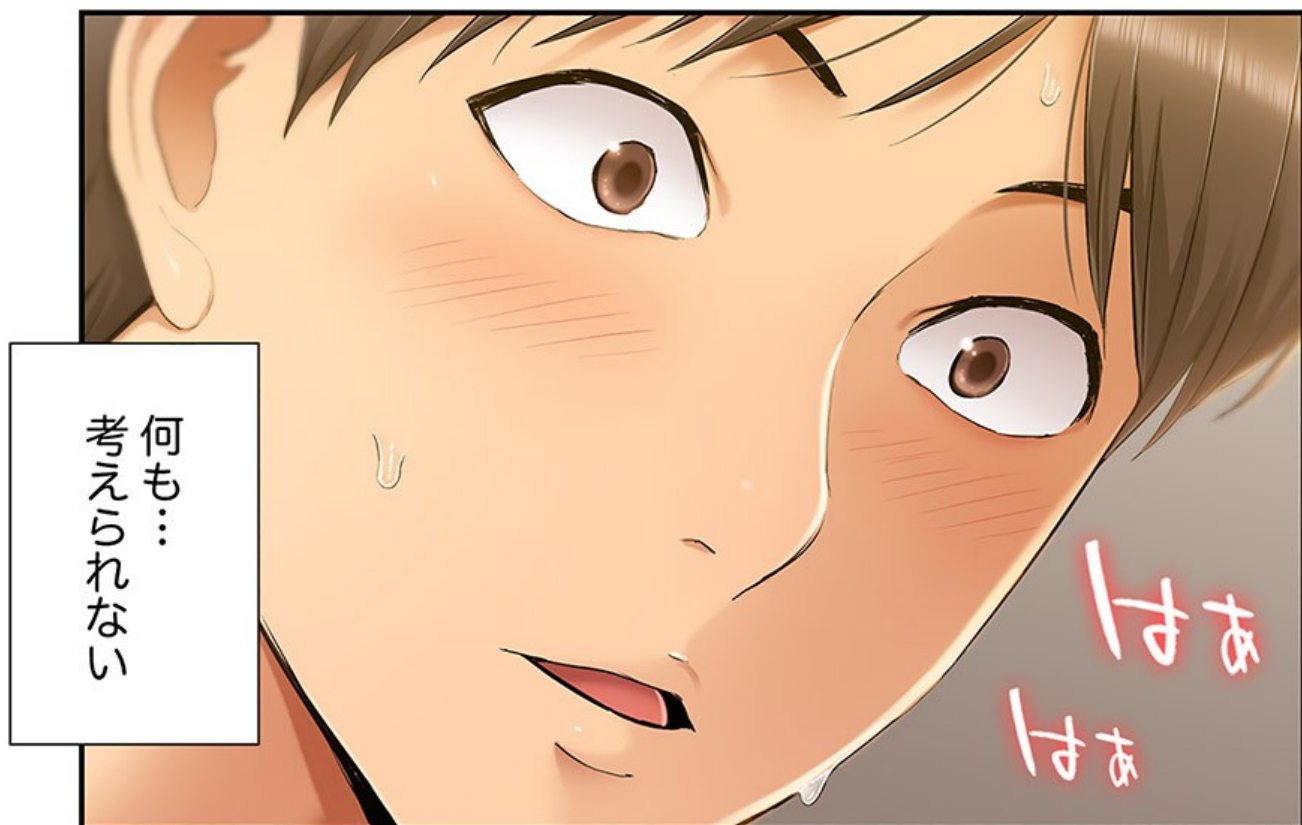
ふ…

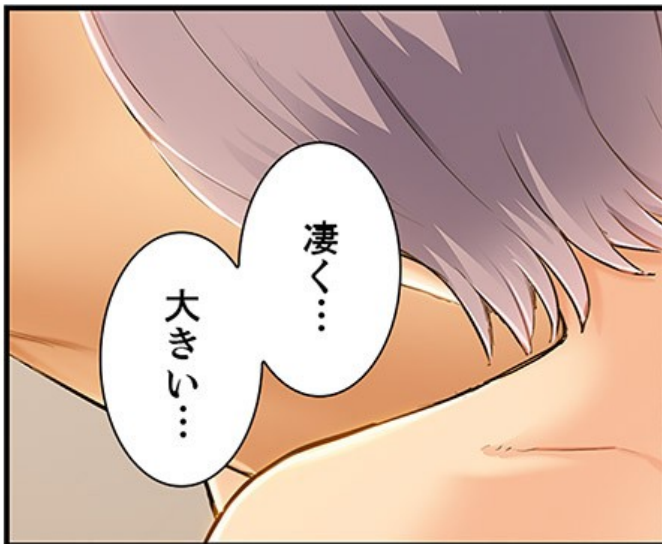
い…一体
どうなってるんだ

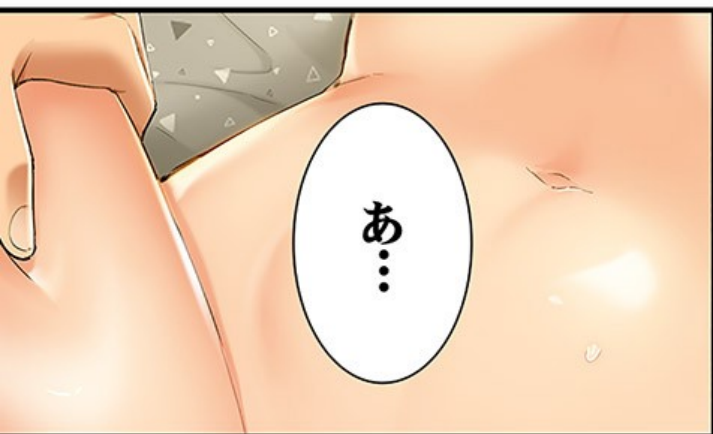


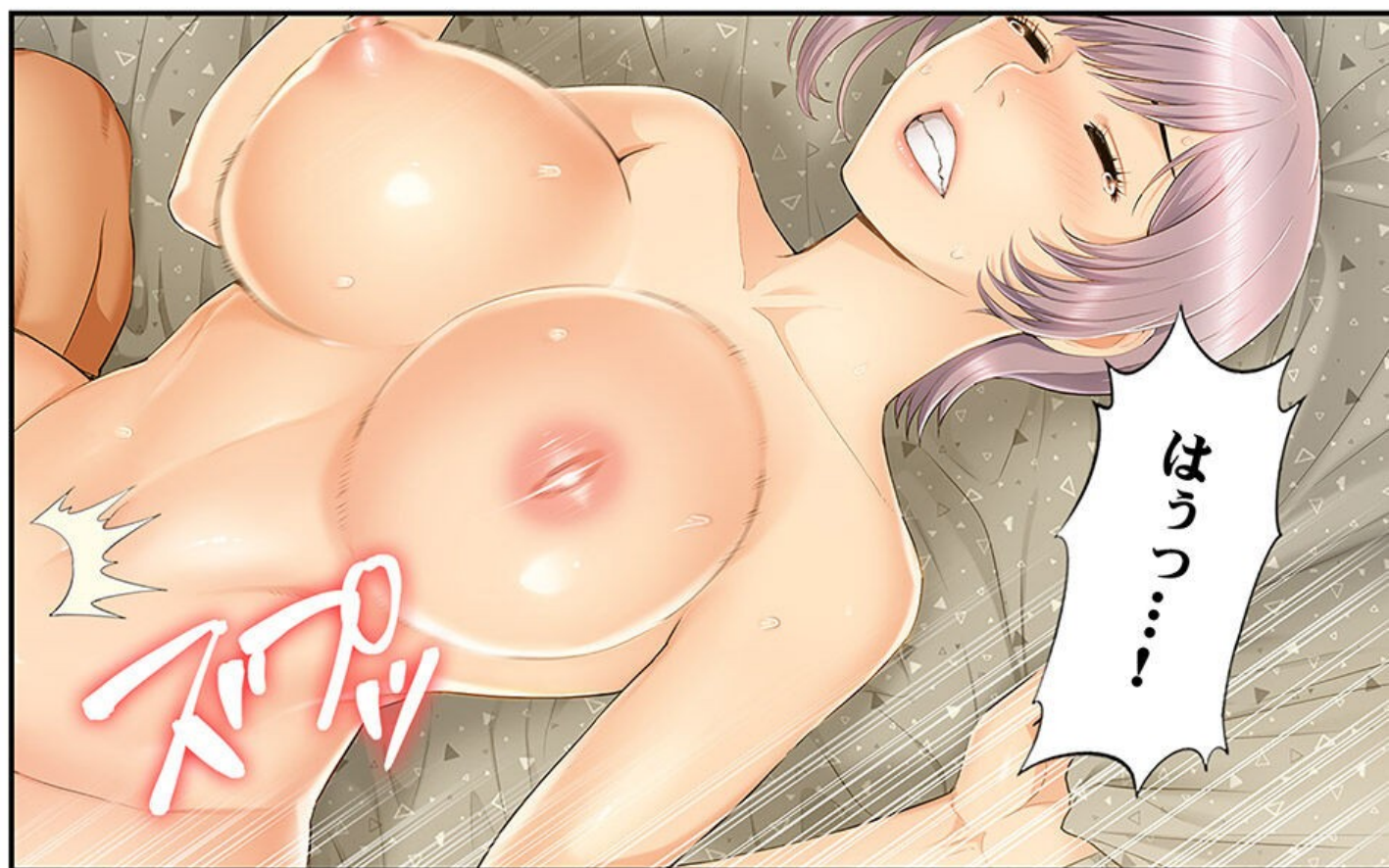








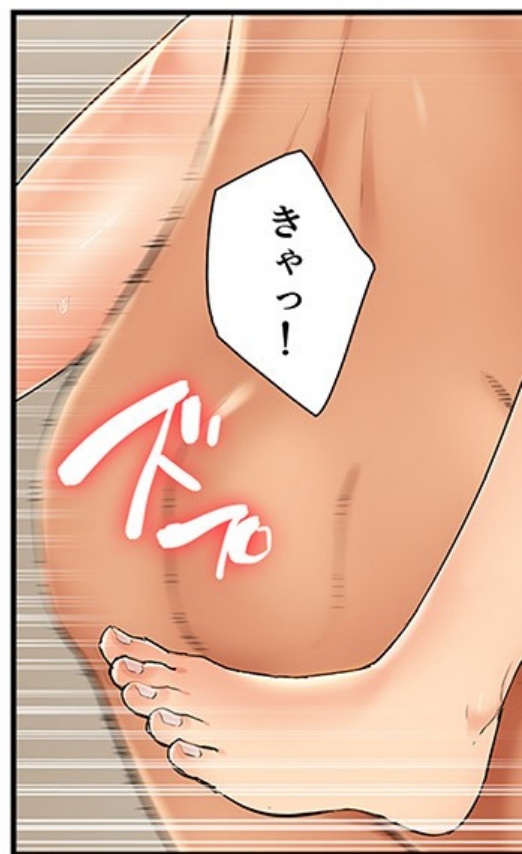










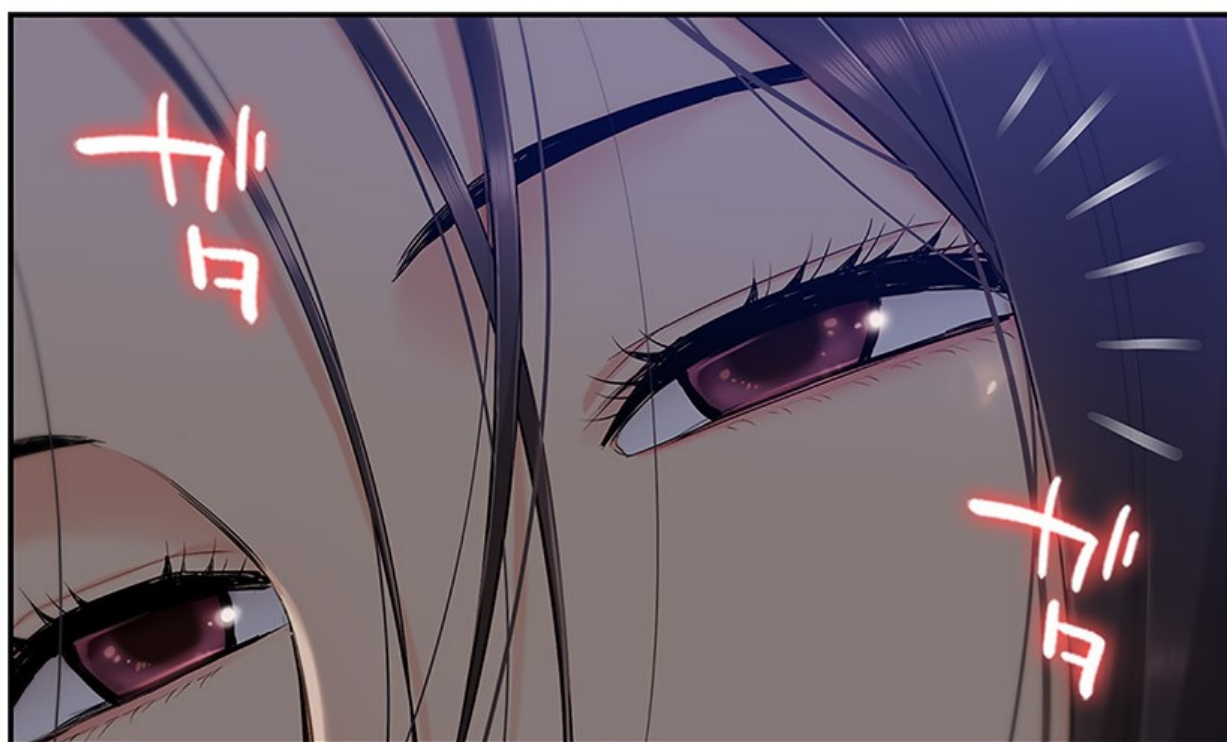
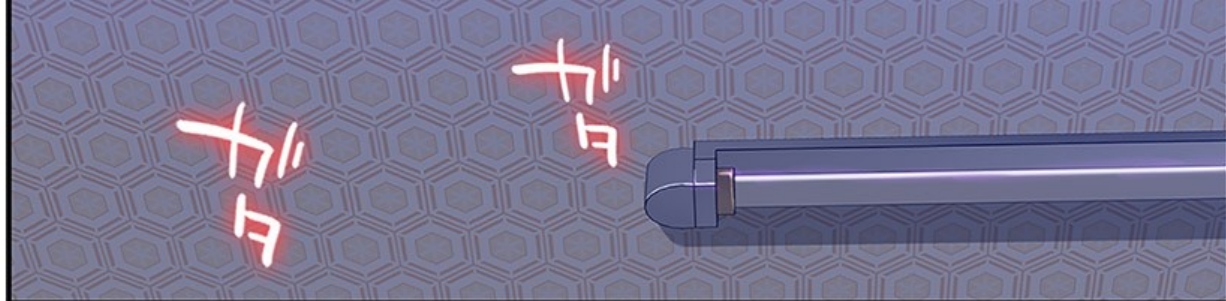


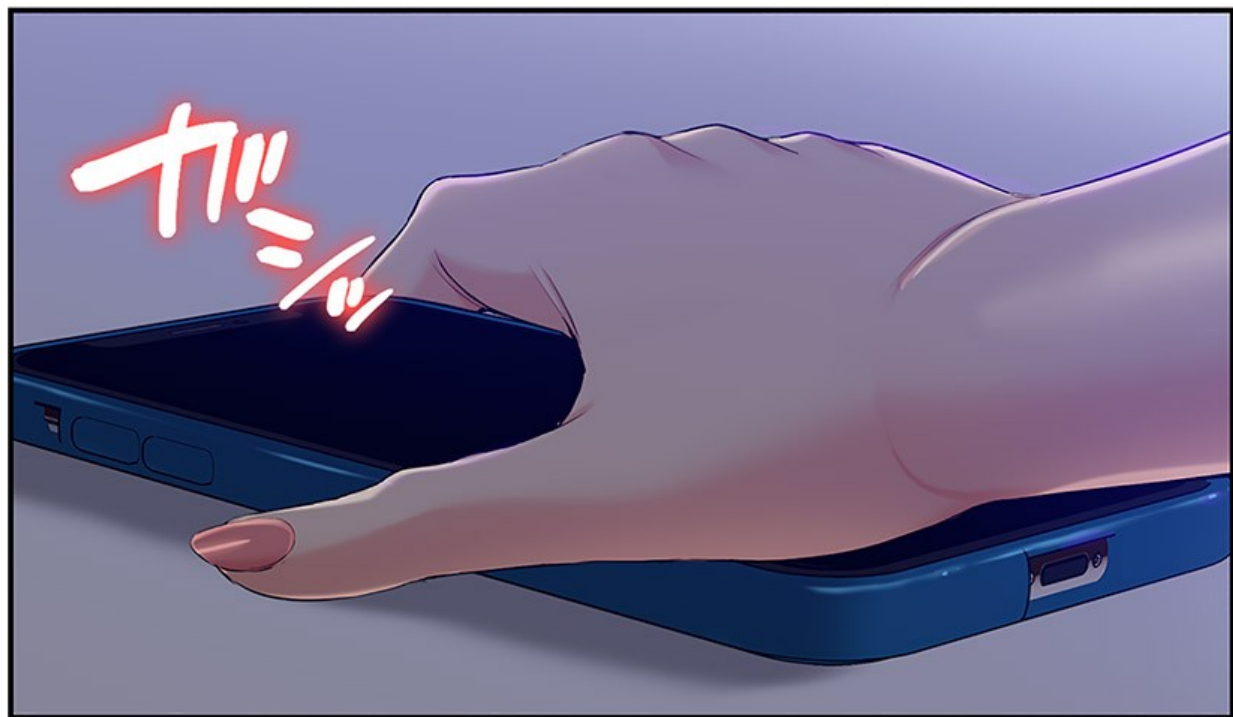
















桃色サンドイッチ 【合本版】 1

著者 SSAEM

発行 Rush!

表紙デザイン CoCo.Design

この物語はフィクションです。登場する人物・団体・名称等は架空であり、実在のものとは関係ありません。
本作品の全部あるいは一部を無料で複製・転載・配信・送信したり、ホームページ上に転載することを禁止します。
本作品の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
また、有償・無償にかかわらず本作品を第三者に譲渡することはできません。